EPSON

VP-5200

取扱説明書

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

BPS0046-00

EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT 、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

© セイコーエプソン株式会社　2008

取扱説明書の種類と使い方

スタートアップガイド
セットアップの方法および本機を使用する上で必要となる主な情報と困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

取扱説明書（PDF マニュアル：本書）
本機を使用する上で必要となるすべての情報と困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。
それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注 意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい操作を示しています。

ポイント　補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語 *　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.50 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® Windows®2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows NT3.50、Windows NT3.51、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98/NT4.0」のように Windows の表記を省略することがあります。Windows NT3.50 と Windows NT3.51 の両方を表記する場合、Windows NT3.5x と表記することがあります。

PC-98 系の表記について

本書中では、EPSON PC シリーズ、PC-9801 シリーズ /PC-9821 シリーズを総称して「PC-98 系」と表記します。

給紙方法の呼称について

本書で説明する給紙方法とプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	プリンタドライバの表記
単票紙を用紙ガイドから手差し給紙する	手差し
連続紙をリアプッシュトラクタから給紙する	プッシュトラクタ（前） プッシュトラクタ（後）
単票紙をカットシートフィーダから給紙する	カットシートフィーダ

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書および製品添付の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触ることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

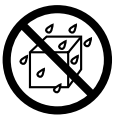
この記号は、アース接続して使用することを示しています。

この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。

安全上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに［電源］スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜いて、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。
お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。



異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに［電源］スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜き、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

通風口など開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

取扱説明書で指示されている以外の分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。

⚠警告

電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま使用しない
- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電や火災の原因となります。電源ケーブルのアースを必ず次のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650mm 以上地中に埋めた物
- 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合やアースが施されていない場合は、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。
発熱による火災や感電のおそれがあります。定格電圧 100V のコンセントに単独で差し込んでください。

⚠警告

表示されている電源（AC100V、15A）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
（本機の定格電流は 100V/1.6A です）

添付されている電源ケーブル以外の電源ケーブルは使用しないでください。
感電や火災の原因となります。

添付されている電源ケーブルを他の機器で使用しないでください。
感電や火災の原因となります。

破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。
- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源ケーブルが破損したら、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。

⚠注意

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の危険があります。

他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。
落下によって、そばにいる人がけがをする危険があります。

本機の上に乗ったり、重い物を置かないでください。
特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをする危険があります。

本機の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
次のような場所には設置しないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
- じゅうたんや布団の上
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない

壁際に設置する場合は、壁から 10cm 以上のすき間をあけてください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

リボンカートリッジは､子供の手の届かない場所に保管してください。

インクが皮膚についてしまったり、目や口に入ったときは以下の処理をしいてください。

- 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置するとめの充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常があるときは、速やか医師に相談してください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。

本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。

本機を移動する場合は、[電源] スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

インターフェイスケーブルやオプション製品を装着するときは、必ず本機の [電源] スイッチをオフにして､電源ケーブルを抜いてから行ってください。
感電の原因となることがあります。

⚠注意
印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをすることがあります。
使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。 高温になっているため、火傷のおそれがあります。
本製品は重いので、開梱や移動する場合 1 人で運ばないでください。 必ず 2 人以上で運んでください。
本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。

もくじ

取扱説明書の種類と使い方 3
本書中のマーク、画面、表記について 3
安全にお使いいただくために 5
安全上のご注意 6
もくじ 12

本機の紹介

本機の特長 19
各部の名称と働き 21
正面 21
背面 22
内部 23
操作パネル 25

プリンタの準備

プリンタの設置 29
設置上のご注意 29
設置スペースに関するご注意 30
取り扱い上のご注意 31
付属品の取り付け 32
リボンカートリッジの取り付け 32
用紙ガイド（上）の取り付け 35
紙送りノブの取り付け 36
電源との接続 37
動作の確認 38
コンピュータとの接続 42
環境ごとのセットアップ方法 44
Windows 環境 44
Macintosh 環境 44
DOS 環境 45

Windows からの印刷

Windows でのセットアップ 47
システム条件の確認 47
プリンタソフトウェアのインストール 49
印刷手順 54
プリンタドライバの設定 57
プリンタドライバの設定方法 57
プリンタドライバの設定項目 59
用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法 67

印刷の中止方法 70
EPSON プリンタウィンドウ !2 71
対応機種 71
初期設定を変更する場合 72
EPSON プリンタウィンドウ !2 をお使いになる前に（Windows95/98/Me） 72
EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには 73
EPSON プリンタウィンドウ !2 の操作手順 74
プリンタの詳細をみるには 79
環境を設定するには 81
監視アイコンと簡易表示について 82
EPSON プリンタウィンドウ !3 83
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは 83
EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境 84
モニタの設定 85
プリンタの状態を確認するには 88
共有プリンタを監視できない場合は 89
用紙登録ユーティリティ 90
用紙登録ユーティリティとは 90
印刷までの流れ 90
用紙の登録または変更をするには 91
用紙を選択するには 94
プリンタを共有するには 98
プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me） 99
プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP/Vista） 102
クライアントの設定 105
プリンタ接続先の変更 121
プリンタソフトウェアの削除 124
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 124
Windows 3.1/NT3.5x 126
Windows XP（64bit）/Vista 128
EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除 129

使用可能な用紙と給排紙

使用可能な用紙 132
連続紙（連続複写紙） 132
連続ラベル紙 139
単票紙（単票複写紙） 141
プレプリント紙 144
ハガキ 146
封筒 147
保存するときは 148
アジャストレバーの設定 149
微小送り 150

給紙経路の設定方法 **153**
連続紙のセット **154**
操作上のご注意 154
連続紙のセット 154
連続ラベル紙の排紙 161
ティアオフ機能 162
単票紙のセット **165**
操作上のご注意 165
単票紙のセット 165
複写紙、郵便ハガキ、紙ホチキス紙、封筒、ラベル紙のセット **170**
複写紙のセット 170
郵便ハガキのセット 170
紙ホチキス紙のセット 170
封筒のセット 171
ラベル紙のセット 171
連続紙と単票紙の切り替え **172**
単票紙から連続紙への切り替え 172
連続紙から単票紙への切り替え 172

プリンタ設定値の変更

プリンタ設定の方法 **175**
操作パネルで設定する 175
EPSON Remote! で設定する 175
プリンタドライバで設定する 175
操作パネルからの設定 **176**
設定項目 176
設定値を変更する 178
リモート設定機能での設定変更 179
16 進ダンプ印刷 **181**

オプションと消耗品

オプションと消耗品の紹介 **183**
パラレルインターフェイスケーブル 183
インターフェイスカード 183
Macintosh 接続用オプション 184
カットシートフィーダ 184
リボンカートリッジ 184
リボンパック 185
インターフェイスカード **186**
インターフェイスカードの取り付け 186
VPIF3 シリアルインターフェイスカードについて 188
カットシートフィーダ **189**

使用できる用紙の種類 189
カットシートフィーダの取り付け 190
カットシートフィーダの使い方 192
単票紙から連続紙への切り替え 195
リボンカートリッジの交換 196
リボンパックの交換 198
通信販売のご案内 202

困ったときは

用紙が詰まったときは 204
連続紙の場合 204
単票紙の場合 205
プリンタ内に用紙が残った場合 205
カットシートフィーダ使用時の場合 207
用紙詰まりの予防 207
ランプが点灯しない 208
ランプが点灯していても印刷できない 209
リボンカートリッジの取り付けを確認しましょう 209
プリンタとコンピュータの接続を確認しましょう 209
プリンタドライバが正しくインストールされているか確認しましょう 210
プッシュトラクタ、カットシートフィーダから給紙しない 211
エラーが発生していないか確認しましょう（プリンタ側） 211
エラーが発生していないか確認しましょう 212
紙送りがうまくいかない 215
排紙が正常にできない 217
印刷結果が画面表示と異なる 218
印刷される文字が画面表示と異なる 218
印刷位置（結果）が画面表示と異なる 219
罫線がずれる 221
設定と異なる印刷をする 221
印刷開始位置がずれる 221
印刷品質がよくない 222
印刷ムラがある・汚い 222
印刷が薄い 223
プリンタドライバの使い方が分からない 224
用紙サイズの設定の仕方が分からない 224
インストールの仕方が分からない 224
プリンタドライバの入手方法、ダウンロード方法 224
EPSON プリンタウィンドウ !3 でのトラブル 225
通信エラーが発生する 225
EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除（アンインストール）できない 226
EPSON プリンタウィンドウ !3 で共有プリンタを監視できない 226
オプションのカットシートフィーダでうまく紙送りできない 229

給紙・排紙スイッチを押しても用紙が給紙されない....229
コンピュータから印刷命令を送ってもプラテンが回らず、用紙が給紙されない....229
プラテン * は回るが、給紙されずにブザーが鳴って
用紙チェックランプが点灯する....229
一度に 2 枚以上の用紙が送られる....230
用紙が曲がって送られる....230
1 枚紙の手差しができない....230
用紙選択を単票紙 /CSF にしたが、連続紙が送られてしまった....230
オプションのインターフェイスカードを使用するとうまく印刷されない....231
印刷ができない、印刷がおかしい....231
その他のトラブル....232
印刷中に印刷速度が遅くなった、途中で止まった....232
結露について....232
漏洩電流について....232
操作パネルに "E"（エラー表示）と表示される....232
どうしても解決しないときは....233

付録

プリンタのお手入れ....236
プリンタの運搬....237
プリンタの仕様....240
基本仕様....240
文字仕様....241
用紙仕様....242
電気関係仕様....245
総合仕様....245
インターフェイス仕様....246
初期化....250
コントロールコード表....251
英数カナ文字コード表....256
カタカナコード表....256
拡張グラフィックスコード表....256
国際文字....257
漢字コード表....258
漢字コード表....258
旧 JIS との違いについて....264
PC-98 系コンピュータでお使いになる場合....269
ハードコピー....269
リスト出力....269
PC-PR201H との違い....269
EPSON Remote! について....270
DOS 版または NetWare 版 EPSON Remote!....270
DOS で EPSON Remote! を使う....271

システム条件 271
インストール 271
スタートアップ・設定ユーティリティの使いかた 273
簡易設定ユーティリティの使いかた 275
NetWare で EPSON Remote! を使う 277
システム条件 277
サーバへのインストール 279
クライアントへのインストール 280
設定ユーティリティの使い方 281
簡易設定ユーティリティの使いかた 285

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内 288
「MyEPSON」 288
インターネット 288
エプソンインフォメーションセンター 289
ショールーム 289
パソコンスクール 289
マニュアルデータのダウンロードサービス 289
保守サービスのご案内 289
最新のプリンタドライバの入手方法 292
索引 293

本機の紹介

● 本機の特長..... 19
● 各部の名称と働き 21

本機の特長

本機は、双方向通信機能を備えた 24 ピン漢字プリンタです。主な特長は以下の通りです。

●各種用紙に対応

連続紙や単票紙をはじめ、複写紙、ハガキ、ラベル、紙ホチキス紙、封筒などさまざまな用紙が使用できます。カットシートフィーダ（オプション）を取り付けると、単票紙の連続印刷ができます。

●コピー能力の強化

用紙ガイド（前）から単票紙、フロントプッシュトラクタから連続紙を給紙する場合、オリジナル＋7 枚コピーの複写ができます。
用紙ガイド（上）またはオプションのカットシートフィーダから単票紙、リアプッシュトラクタから連続紙を給紙する場合、オリジナル＋5 枚コピーの複写ができます。

●マルチウェイローディング機構

連続紙をセットしたままの状態で単票紙が使用できます。

●便利な給紙機構

連続紙をプリンタの手前側と後ろ側の両方から給紙できます。

●各種ネットワークに対応

オプションのインターフェイスカードを装着することにより、各種プロトコルに対応したネットワークプリンタとしてお使いいただけます。

●インターフェイス自動選択機能

インターフェイス自動選択機能により、オプションのインターフェイスカードを装着したときに、標準のインターフェイスと同時に接続することができます。データを受信したインターフェイスをプリンタが自動的に判断して使用するインターフェイスを切り替えます。

●自動紙厚調整機能

給紙するときに、用紙の厚さに応じて自動的に紙厚調整（ヘッドギャップ調整）を行ないます。

● ESC/P スーパー機能

ESC/P スーパー機能により、エプソン 24 ドット漢字プリンタ用アプリケーションソフトに加えて、NEC プリンタ PC-PR シリーズ用のアプリケーションソフトも使用できます。

●便利なユーティリティソフト

◇EPSONプリンタウィンドウ !2/EPSONプリンタウィンドウ !3
Windows 環境においてプリンタの状態をモニタすることができます。
◇用紙登録ユーティリティ
印刷条件を設定して用紙情報を登録します。
Windows 環境から呼び出すことができます。
◇パネル設定ユーティリティソフト EPSON Remote!
DOS 環境、および NetWare 環境においてコンピュータからプリンタの各種設定を変更することができます。

●専用プリンタドライバ

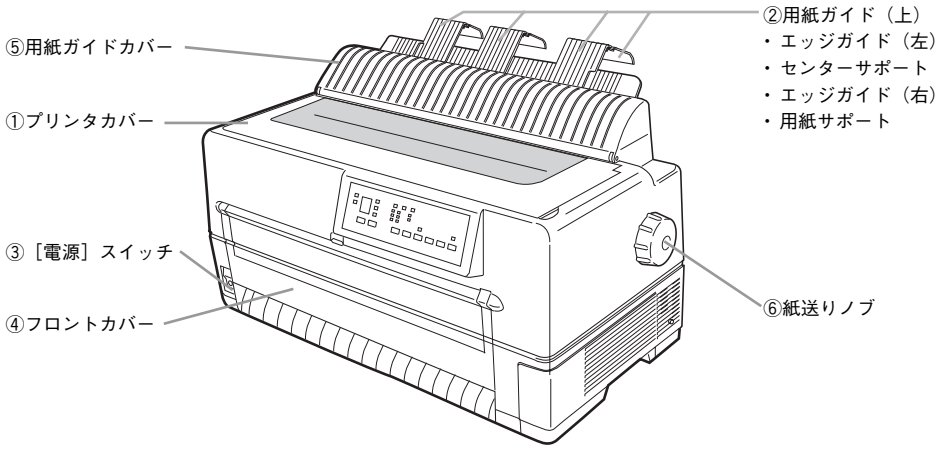
プリンタの機能をフルに活かす Windows 専用プリンタドライバを添付しています。

●各種コンピュータに対応

98 系、DOS/V 系コンピュータに接続、対応します。また、アップルコンピュータ社の Macintosh シリーズに接続するためのオプションも用意しています。

各部の名称と働き

正面



①プリンタカバー
リボンカートリッジの交換をするとき、詰まった用紙を取り除くときなどに開けます。通常は閉じておきます。

②用紙ガイド（上）
単票紙を上から給紙するときに使用します。

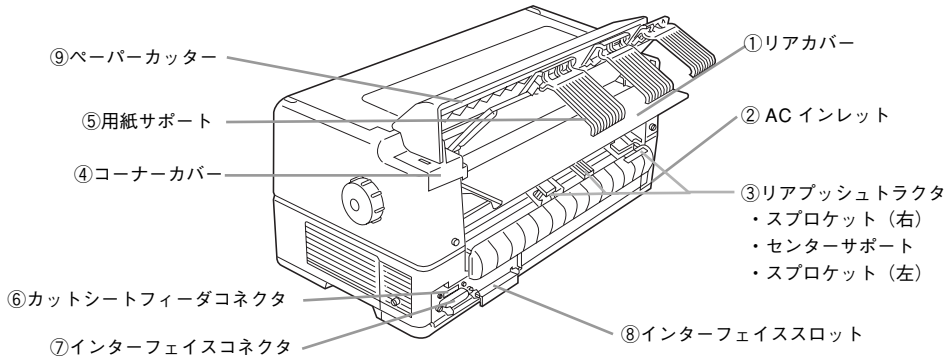
③［電源］スイッチ
プリンタの電源をオン / オフします。

④フロントカバー
連続紙をフロントプッシュトラクタにセットするときや用紙がプリンタ内に詰まったときに開けます。

⑤用紙ガイドカバー
排紙される用紙を保護します。

⑥紙送りノブ
用紙がプリンタ内に詰まったときなど、用紙を手動で送り出す場合に使用します。電源オン時には回さないでください。

背面



①リアカバー
連続紙をリアプッシュトラクタにセットするときに開けます。

② AC インレット
電源ケーブルを接続します。

③リアプッシュトラクタ
連続紙を給紙するときに使用します。

④コーナーカバー
オプションのカットシートフィーダを取り付けるときに外します。

⑤用紙サポート
連続紙を支えます。使用する用紙の幅に合わせて用紙サポートの位置を調整します。

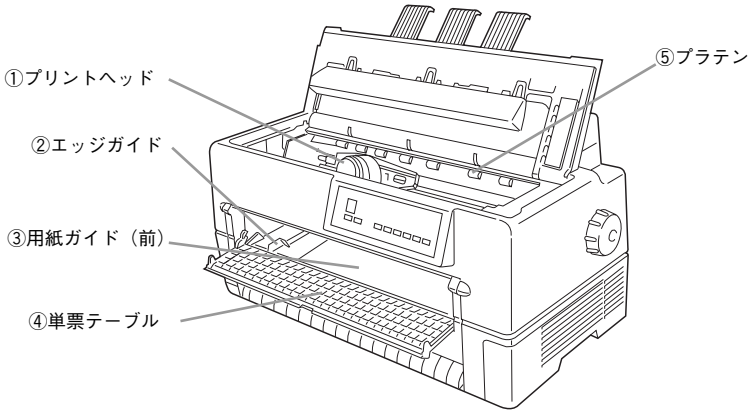
⑥カットシートフィーダコネクタ
オプションのカットシートフィーダのケーブルを接続します。

⑦インターフェイスコネクタ
コンピュータからのインターフェイスケーブルを接続します。

⑧インターフェイススロット
オプションのインターフェイスカードを取り付けます。

⑨ペーパーカッター
連続紙を切り離すときに使用します。

内部



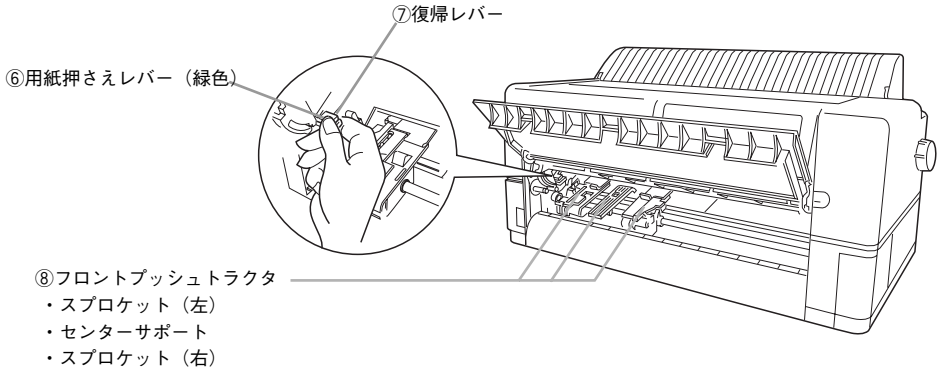
①プリントヘッド
印刷をする部分です。
精密部品ですのでネジを緩めたり分解しないでください。

②エッジガイド
用紙の幅に合わせてセットします。

③用紙ガイド（前）
単票紙を前から給紙するときに使用します。

④単票テーブル
単票用紙を支えます。

⑤プラテン
印刷している用紙を支えて送り出します。



⑥用紙押さえレバー（緑色）

プリンタ内に詰まった用紙を取り除くときに押し下げます。

⑦復帰レバー

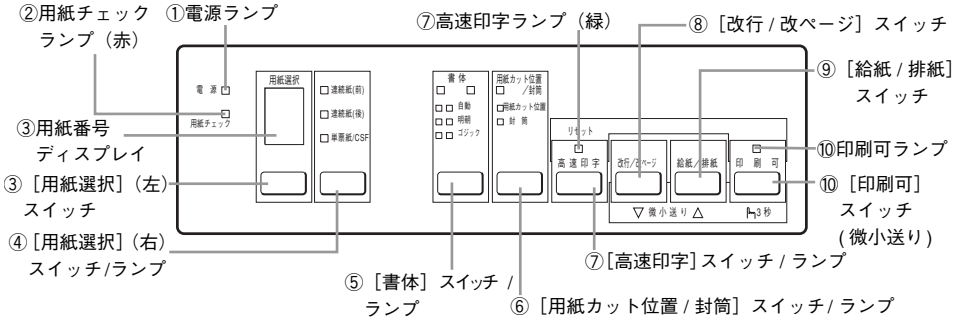
プリンタ内に詰まった用紙を取り除いた後、下から押し上げてロックします。

⑧フロントプッシュトラクタ

前から連続紙を給紙するときに使用します。

操作パネル

操作パネル上のランプにより、プリンタの状態を知ることができます。また、スイッチ操作により各種機能の設定や実行ができます。



①電源ランプ

動作の条件	表示
［電源］スイッチがオン	点灯
［電源］スイッチがオフ	消灯

②用紙チェックランプ（赤）

動作の条件	表示
給紙時の用紙なし	点灯
用紙詰まり	点滅

③［用紙選択］（左）スイッチと用紙番号ディスプレイ

設定値	表示	概要
用紙番号 0 ～ 8	0 ～ 8	0（初期設定値）：用紙登録ユーティリティで登録されていない用紙を使用するときに選択します。 1 ～ 8：用紙登録ユーティリティで登録された用紙を使用するときに選択します。

用紙登録ユーティリティから登録された用紙情報の番号を表示します。初期設定では「0」を表示します。
登録された用紙番号に対応する用紙を選択することができます。
用紙登録ユーティリティの詳細については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 90 ページ「用紙登録ユーティリティ」

④［用紙選択］（右）スイッチと連続紙（前）、連続紙（後）、単票紙 /CSF ランプ

ランプ表示	概要
連続紙（前）ランプ点灯	フロントプッシュトラクタにセットされている連続紙を給紙するときに押します。
連続紙（後）ランプ点灯	リアプッシュトラクタにセットされている連続紙を給紙するときに押します。
単票紙 /CSF ランプ点灯	単票紙を使用するときに押します。用紙ガイド（前）、用紙ガイド（上）またはオプションのカットシートフィーダから給紙します。

⑤［書体］スイッチと書体ランプ

設定値	概要
■□自動	お使いのアプリケーションソフトがプリンタの内蔵書体を直接選択できるときは選択した書体で印刷します。アプリケーションソフトから選択できないときは漢字は明朝体、英数カナ文字はロー マンで印刷します。
□■明朝	漢字は明朝体、英数カナ文字はローマンで印刷します。
□□ゴシック	漢字はゴシック体、英数カナ文字はサンセリフで印刷します。

ポイント

書体の設定は、プリンタの内蔵書体で印刷する場合のみ有効です。オペレーティングシステムやアプリケーションソフトで書体（TrueType フォントなど）を指定できるときは、このスイッチの設定よりソフトウエアの設定が優先されます。

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン（英数カナ文字）

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ（英数カナ文字）

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

⑥［用紙カット位置 / 封筒］スイッチと用紙カット位置 / 封筒ランプ

連続紙のとき：［用紙カット位置］スイッチとして働きます。
単票紙のとき：［封筒］スイッチとして働きます。

ランプの表示	概要
消灯	ティアオフ機能で連続紙のミシン目が用紙カット位置以外にあります。［用紙カット位置］スイッチを押すと、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送ります。
点滅	ティアオフ機能で連続紙のミシン目が用紙カット位置にあります。
点灯	単票紙の場合は、［封筒］スイッチとして動作します。封筒を使用するときに押してください。

⑦［高速印字］スイッチと高速印字ランプ（緑）

ランプの表示	概要
消灯	通常の速度で印字します。
点灯	文字パターンのドットを間引きして、通常より高速に印字＊します。

＊：Windows ドライバから印刷する場合は、高速印字の設定は無効となります。

⑧［改行 / 改ページ］スイッチ

スイッチを短く押すと改行します。
スイッチを押し続けると、連続紙の場合は改ページし、単票紙の場合は排紙します。

⑨［給紙 / 排紙］スイッチ

用紙の種類	概要
連続紙	プッシュトラクタ（フロント、リア）に用紙をセットした状態でスイッチを押すと、給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、トラクタ位置へ排紙します。
単票紙	印刷位置に給紙されていない状態でスイッチを押すと、用紙ガイド（上）またはカットシートフィーダ（オプション）にセットされた用紙を給紙します。 印刷位置に給紙された状態でスイッチを押すと排紙します。 用紙ガイド（前）から給紙する場合は、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動給紙されます。

⑩［印刷可］スイッチと印刷可ランプ

機能	表示	スイッチの動作
印刷可スイッチ	点灯	印刷可能な状態です。スイッチを短く（3 秒未満）押すと印刷できない状態になります。
	消灯	印刷できない状態です。スイッチを短く（3 秒未満）押すと印刷可能な状態になります。印刷の途中でスイッチを押すと印刷が中断します。印刷を再開するには、もう一度スイッチを押します。
微小送りモードスイッチ	点滅	「ピッ」というブザーが鳴るまで 3 秒以上押すと、ランプが点滅し、微小送りモードになります。 用紙を上に移動させるときは［給紙 / 排紙］スイッチを押します。 用紙を下に移動させるときは[改行/改ページ]スイッチを押します。 ☞ 本書 150 ページ「微小送り」 微小送り モードを終了させるには、［印刷可］スイッチを短く押します。
リセットスイッチ	ー	［印刷可］スイッチを押したまま［高速印字］スイッチを 2 秒以上押します。［高速印字］スイッチは［印刷可］スイッチを押してから 3 秒以内に押してください。 ☞ 本書 250 ページ「初期化」

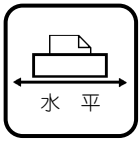
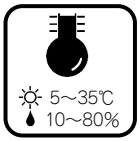
プリンタの準備

● プリンタの設置 29
● 付属品の取り付け 32
● 動作の確認 38
● コンピュータとの接続 42
● 環境ごとのセットアップ方法 44

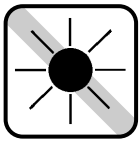
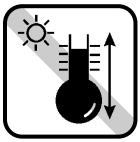
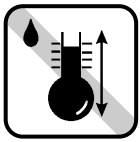
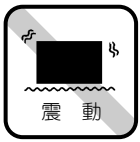
プリンタの設置

設置上のご注意

本機は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
		

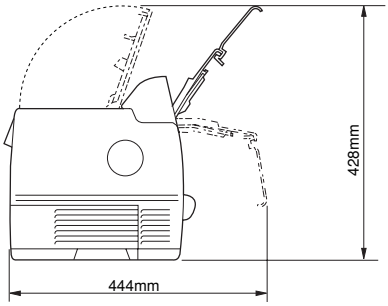
本機は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

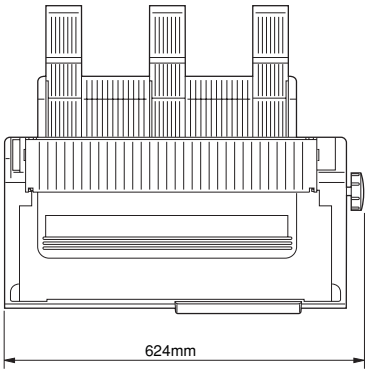
直射日光の当たる場所	ホコリや塵の多い場所	温度変化の激しい場所	湿度変化の激しい場所
			
火気のある場所	**水に濡れやすい場所**	**揮発性物質のある場所**	**冷暖房機具に近い場所**
震動のある場所	**加湿器に近い場所**		
			

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

設置スペースに関するご注意

- 本機を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ底面より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本機の外形寸法は次の通りです。





取り扱い上のご注意

本機は以下の点に注意して取り扱ってください。正しい取り扱いをしないと、動作不良や印字不良、プリンタの故障の原因となります。

プリンタ本体について

- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中はプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に［電源］スイッチをオフにしないでください。
- プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低５秒待ってからオンにしてください。
- 手動でアジャストレバーを設定した場合、用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、［電源］スイッチをオフにしてから用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直してください。

リボンカートリッジについて

- リボンカートリッジは、ていねいに扱ってください。
- リボンカートリッジの取り付けや交換の際は、プリンタの電源をオフにしてください。
- インクリボンがたるんだ状態で印刷しないでください。
- インクリボンがたるんでいる場合はリボンカートリッジのツマミを回してたるみを取ってください。

用紙について

- 連続紙（連続複写紙）は、用紙の表面に、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちのない用紙を使用してください。
- 連続紙は、印字領域内に穴などの段差がないものを使用してください。
- 連続複写紙は、［両側点のり綴じ（千鳥綴じ）］、［両側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）］、［片側点のり綴じ（千鳥綴じ）+ 片側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）］の用紙を使用してください。［棒のり綴じ］、［金属ホチキス綴じ］の複写紙は使用しないでください。
- 単票複写紙は、天のり綴じの用紙を使用してください。
- 単票複写紙の綴じののり付けは、用紙一端面全面にあるものを使用してください。
- 単票複写紙ののり付け部が波打ったり硬くなったりしていないものを使用してください。
- 厚紙や特殊紙に印刷する場合は、印字領域に注意してください。ソフトウェアで印字領域を設定する際は、必ず印字可能領域内で印刷するように設定してください。

付属品の取り付け

付属品などを取り付けてプリンタをセットアップします。付属品の取り付けは、プリンタの［電源］スイッチがオフになっていることを確認してから行ってください。

リボンカートリッジの取り付け

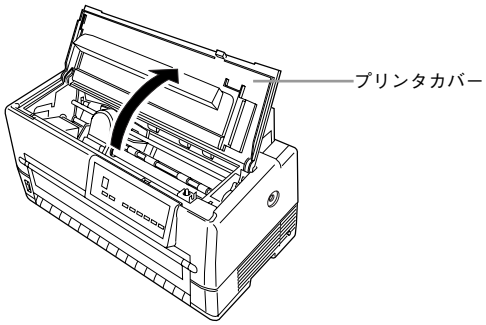
注 意

- リボンカートリッジを取り付ける際にインクが手に付着する場合があります。手を汚さないように、リボンカートリッジ付属の手袋をしてください。
- プリンタの［電源］スイッチがオンの状態で作業を行うと故障の原因になります。必ず［電源］スイッチをオフにして行ってください。

1 **［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。**

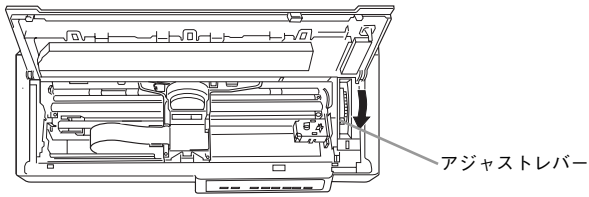
［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

2 **プリンタカバーを開きます。**

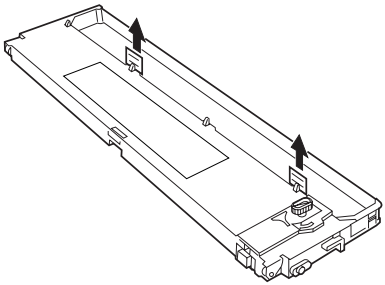


3 **アジャストレバーをセットします。**

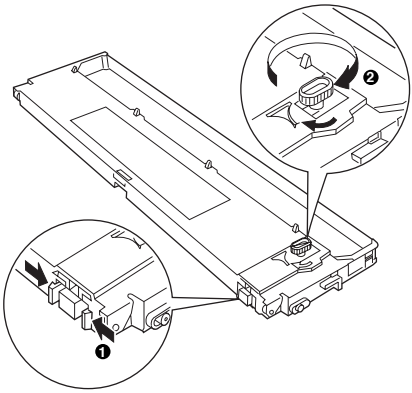
アジャストレバーを手前に倒し、D の位置に合わせます。



4 リボンカートリッジのリボン留め具を取り外します。



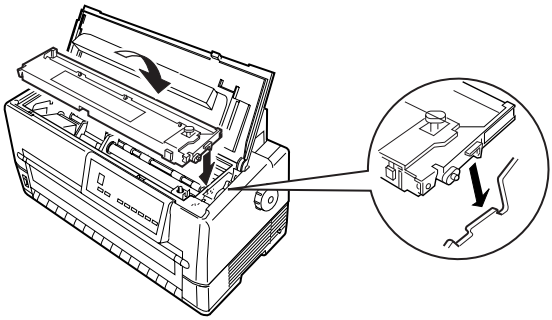
5 ツメを矢印の方向に押し込んでロックを解除し①、ツマミを矢印の方向（時計回り）に回して②、リボンが送られることを確認します。



6 リボンカートリッジをプリンタに取り付けます。

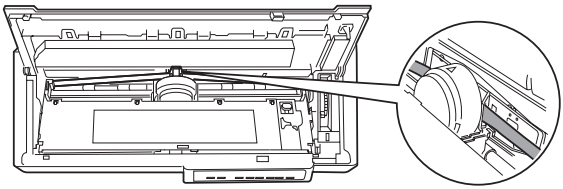
プリンタ両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。

リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。



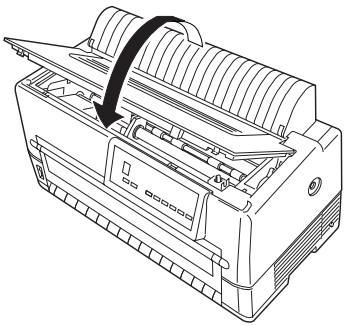
7 **インクリボンをプリントヘッドに取り付けます。**

- プリントヘッドの両側にあるリボンガイドにインクリボンをかけます。
- リボンカートリッジのツマミを時計回りに回してリボンのたるみを取ります。
  リボンが自由に動くのを確認してください。



8 **プリンタカバーを閉じます。**

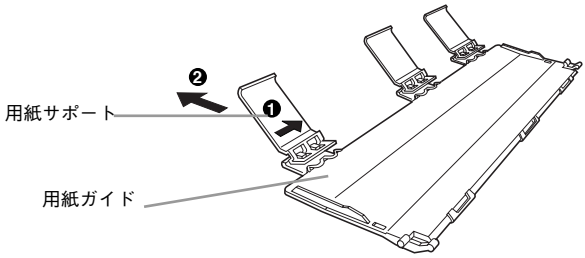
プリンタカバーを閉じ、カチッと音がするまで押し込みます。



用紙ガイド（上）の取り付け

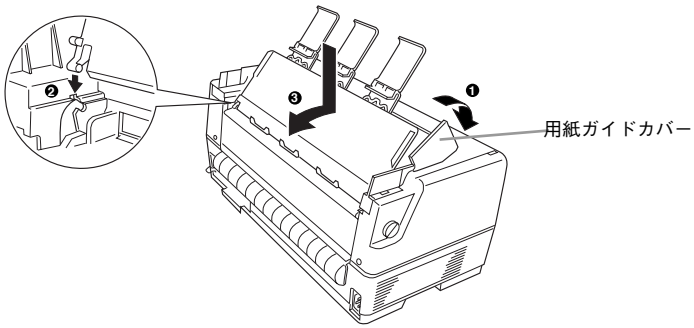
1 **用紙ガイド（上）を組み立てます。**

用紙サポートをずらしてフックにかけ、強く引いて用紙ガイド（上）にはめ込みます。

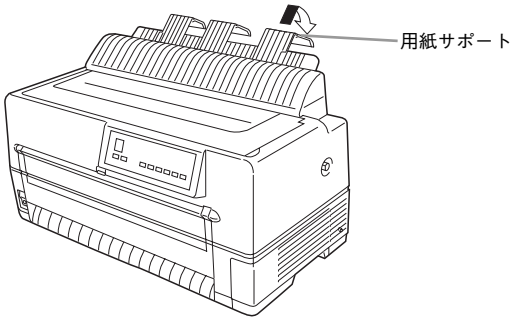


2 **用紙ガイド（上）をプリンタに取り付けます。**

- 用紙ガイドカバーを前へ倒します。
- 用紙ガイド（上）を傾けて持ち、ガイド溝（左右）に差し込みます。
- 用紙ガイド（上）を後ろへ傾けます。

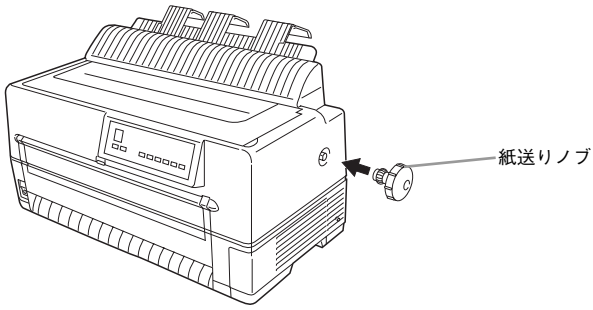


3 **用紙サポートを倒します。**



紙送りノブの取り付け

1 プリンタ本体の右横の穴にある軸と紙送りノブの穴を合わせ、紙送りノブを奥まで押し込みます。



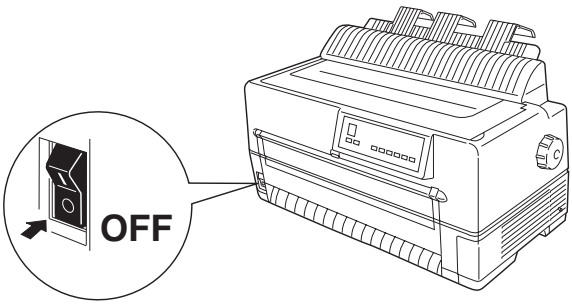
注 意

紙送りノブは、プリンタ内部に詰まった用紙を取り除くために使います。[電源]スイッチがオンのときは、絶対に紙送りノブを使用して紙送りしないでください。

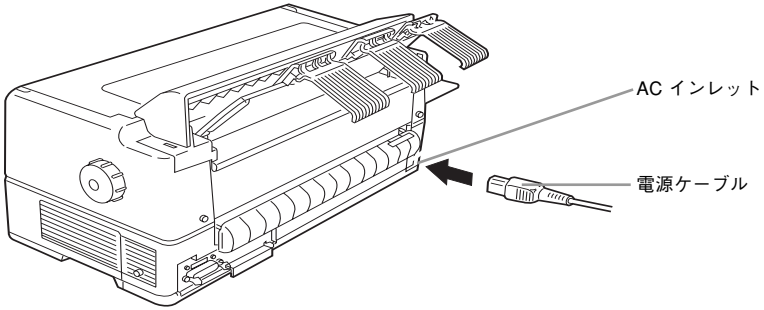
電源との接続

⚠警告
AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。感電、火災、故障の原因となります。 以下のページを参照して、正しくお取り扱いください。 ☞本書 5 ページ「安全にお使いいただくために」

1 ［電源］スイッチがオフ（○）になっていることを確認します。



2 電源ケーブルをプリンタ背面の AC インレットに接続します。



3 AC100V のコンセントに電源ケーブルのプラグを正しく差し込みます。

注 意

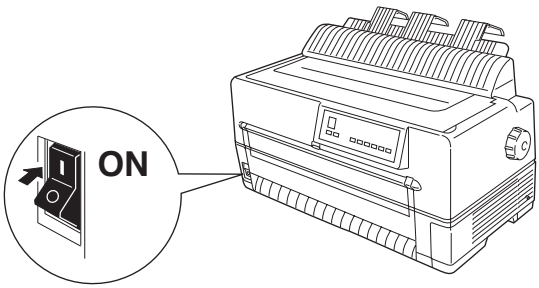
- プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オフ / オンの間隔が短かすぎると、プリンタの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷中に［電源］スイッチをオフにしないでください。

次に、プリンタに異常がないか、動作の確認をします。

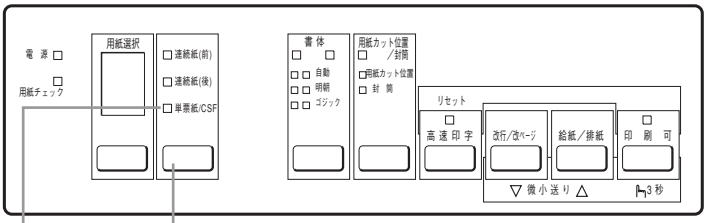
動作の確認

付属品の取り付けが終わったら、B4 横長サイズ以上の単票紙を使用してプリンタの動作や印刷の状態を確認します。本機は、プリンタが正常に動作するかを確認するための印字パターンをプリンタ内部に持っています。以下の手順で印字パターンの印刷ができれば、本機は正常に機能しています。動作の確認は、コンピュータと接続しない状態で行います。

1 **［電源］スイッチをオンにします。**



2 **［用紙選択］（右）スイッチを押して「単票紙 /CSF」に設定します。**



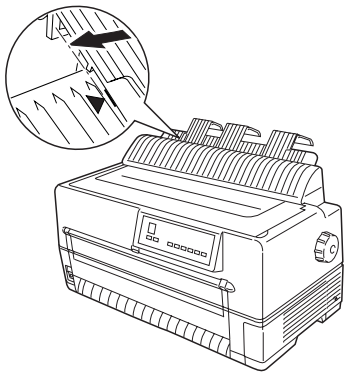
単票紙 /CSF　　［用紙選択］（右）スイッチ

3 **［電源］スイッチをオフにします。**

> **注 意**
>
> プリンタの電源スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オン / オフの間隔が短かすぎるとプリンタの電源部が故障する恐れがあります。

4 **エッジガイドを調整します。**

エッジガイド（左）を用紙ガイドの▶|マークに合わせて、エッジガイド（右）を使用する用紙の幅に合わせます。



5 **［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］どちらかのスイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**

［改行 / 改ページ］：英数カナ文字モードになります。

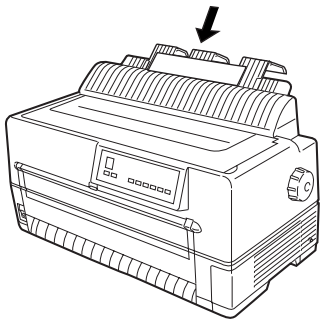
［給紙 / 排紙］：漢字モードになります。

電源ランプが点灯したら、［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］スイッチを放してください。

用紙チェックランプが点灯します。

6 **単票紙を手差し給紙します。**

エッジガイドに沿って、単票紙の先端が突き当たるまで差し込み、［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

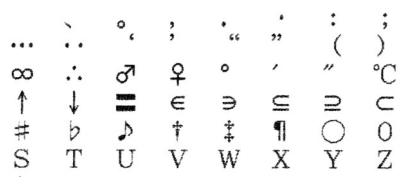


7 **［印刷可］スイッチを押して印刷を実行します。**

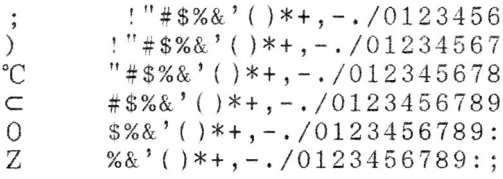
⚠注意
印刷中はプリンタカバーを開けないでください。カバーを開けると印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じます。

印刷結果の例は次のようになります（一部抜粋してあります）。

（漢字モード）



（英数カナ文字モード）



```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

ポイント

- 印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。
- 単票紙の場合で 1 枚目の印刷が終了し、続いて 2 枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットして［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

8 **印刷を終了します。**

［印刷可］スイッチを押すまで繰り返します。
［印刷可］スイッチを押して印刷を中止します。

ポイント

プリンタ内に用紙が残っているときは、必ず［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を排紙してください。

9 **［電源］スイッチをオフにします。**

注 意

プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オン / オフの間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障する恐れがあります。

⑩ 印刷の状態を確認します。

⑦ の印刷結果のように印刷されていれば、プリンタは正常に機能しています。

ポイント

- 用紙ガイド（前）から単票紙を給紙する場合は、動作確認の実行後に用紙を給紙するだけで、印刷を開始します。
- 付属品を取り付けた後、印刷できないなどのトラブルが発生した場合は、この動作確認を行いプリンタの状態を確認してください。
  プリンタが正常に機能している場合は、インターフェイスケーブルやコンピュータの状態を確認してください。
- 手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しないときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

次に、コンピュータと接続します。

コンピュータとの接続

本機は、パラレルインターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続することができます。
接続ケーブルは、お使いのコンピュータや接続環境によって異なるため、本機には同梱されていません。以下の説明を参照してご利用の環境に合ったケーブルをお買い求めください。

> 注意
> 推奨ケーブル以外のケーブルを使用すると正常に印刷できない場合があります。

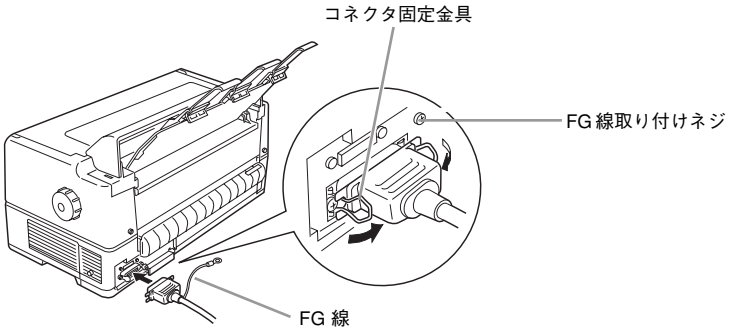
（2008 年 3 月現在）

ケーブル	機種	メーカー	シリーズ	ケーブル名	備考
パラレルインターフェイスケーブル	DOS/V 系	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	
		NEC	PC-98NX シリーズ		

> ポイント
> 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

1 **［電源］スイッチをオフにします。**
プリンタの［電源］スイッチとコンピュータの［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。

2 **インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。**
インターフェイスケーブルをプリンタのインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に倒して固定します。



3 **FG 線を接続します。**
インターフェイスケーブルにFG 線（グランド線）が付いているときは、コネクタの横にあるFG 線取り付けネジを使って接続します。

4 **もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。**
以上でコンピュータとの接続は終了です。コンピュータ側の接続については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

次に、ご利用の環境に応じてコンピュータの準備をします。

環境ごとのセットアップ方法

プリンタをコンピュータに接続しただけではプリンタを正しく使用することはできません。コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムやアプリケーションソフト側で使用するプリンタを設定し、プリンタをコンピュータに認識させる必要があります。

Windows 環境

Windows 3.1/95/98/Me/NT3.5x/NT4.0/2000/XP(64bit)/Vistaで使用する場合は、本機に同梱のEPSONプリンタソフトウェア CD-ROMに収録されている Windows 用プリンタドライバをインストールしてください。
インストール方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 47 ページ「Windows でのセットアップ」
Windows XP(32bit) をお使いの場合は、OS 標準搭載されているプリンタドライバをインストールしてお使いください。
印刷の条件は、お使いのアプリケーションソフトあるいはプリンタドライバで設定します。
☞ 本書 54 ページ「印刷手順」

ポイント

Windows での使用方法について詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書 46 ページ「Windows からの印刷」

Macintosh 環境

本機をMacintosh に接続して使用するには､Macintosh 接続用オプションが必要です。オプションには、エプソン製プリンタ用のプリンタドライバが付属しています。

（2008 年 1 月現在 ）

オプション名	使用するドライバまたはプリンタ
PRIFNW7	AT-24ESC/P

詳しくは以下のページを参照してください。
☞ 本書 184 ページ「Macintosh 接続用オプション」
Mac OS Xは、クラシック環境のみの対応です。詳細はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）を参照してください。

DOS 環境

DOS 環境でお使いの場合、プリンタドライバなどのソフトウェアを別途インストールする必要はありません。お使いの DOS アプリケーションソフト上でプリンタ名を選択して印刷を実行します。印刷の条件は、アプリケーションソフト上、またはパネル設定から設定します。

☞ 本書 174 ページ「プリンタ設定値の変更」

国内ソフトウェアでの設定

次の表の中の複数のプリンタが設定画面に表示されるときは、優先順位の高いプリンタを選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	VP-5200/5100/5000
2	VP-1800/1700/1047
3	VP-4100/4000
4	ESC/P24-J84
5	VP-1000
その他	ESC/P24-J83

ポイント

表中のプリンタ名を選択しても正しく印刷できないときは、プリンタ設定値の［ESC/P スーパー］を［OFF］に設定してください。

☞本書 178 ページ「設定値を変更する」

ソフトウェア上に前ページの表のプリンタ名がないときには、次の表から選択します。

優先順位	プリンタ名
1	VP-135K (PC)
2	VP-130K (PC II)
3	VP-130K (PC)
4	PC-PR201H

ポイント

- 表中の 4 機種の中からプリンタを選択したときは、プリンタ設定値の［ESC/P スーパー］を［ON］に設定してください。
  ☞本書 178 ページ「設定値を変更する」
- 用紙の給紙位置はソフトウェアで選択したプリンタによって異なります。

Windows からの印刷

● Windows でのセットアップ 47
● 印刷手順 54
● プリンタドライバの設定 57
● 印刷の中止方法 70
● EPSON プリンタウィンドウ !2 71
● EPSON プリンタウィンドウ !3 83
● 用紙登録ユーティリティ 90
● 用紙の登録または変更をするには 91
● プリンタを共有するには 98
● プリンタ接続先の変更 121
● プリンタソフトウェアの削除 124

Windows でのセットアップ

ここでは本機に添付のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタドライバ、EPSONプリンタウィンドウ!2（プリンタ監視ユーティリティ）、EPSONプリンタウィンドウ!3（Windows XP（64bit)/Vistaのみ）のインストール手順について説明します。

- EPSON プリンタウィンドウ !2 は、Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP（32bit）でご使用いただけます。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 は、Windows XP（64bit）/Vistaでご使用いただけます。

システム条件の確認

プリンタドライバの動作条件

対象 OS および空きハードディスクの最低条件は以下の通りです。

対象 OS*	Windows 3.1/95/98/Me/NT3.5x/NT4.0/2000/XP/Vista
空きハードディスク	Windows 3.1：10MB 以上 Windows NT3.5x：20MB 以上 Windows 95/98/Me/NT4.0/2000：50MB 以上 Windows XP/Vista は、OSで指定する空きハードディスク

*：各 OS の必要条件を満たしていること。
Windows 3.1/95/98/Me/NT3.5x/NT4.0/2000/XP（64bit）/Vistaでお使いの場合は、同梱の CD-ROM に収録されているプリンタドライバをインストールしてください。Windows XP(32bit）をお使いの場合は、OS に標準搭載されているプリンタドライバをインストールしてください。

本機は ECP モード、EPP モードには対応しておりません。お使いのコンピュータが ECP モードになっている場合は、BIOS の設定をノーマルモードまたはスタンダードモードに変更してください。変更方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作条件

EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON プリンタウィンドウ !3 はプリンタの状態を監視するユーティリティです。EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からインストールすることができます。

対象 OS	EPSON プリンタウィンドウ!2	Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP（32bit）
	EPSON プリンタウィンドウ!3	Windows XP（64bit）/Vista
監視可能なプリンタの接続形態	パラレル接続でのローカルプリンタ/Windows 共有プリンタ*	

*：Windows 95/98/Me 環境で共有プリンタを監視する場合、サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。

ポイント

- お使いのコンピュータが双方向通信機能をサポートしていない場合、EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できません。
- Windows NT3.51 用の EPSON プリンタウィンドウ !2 は、ローカルプリンタの監視はできません。
- NEC の PC-9821 シリーズをお使いの場合、Windows NT4.0/2000 でのローカルプリンタの監視はできません。
- PRIF13 をお使いの場合、EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できません。

用紙登録ユーティリティ

用紙登録ユーティリティは、頻繁に使用する用紙サイズや給紙方法などをあらかじめプリンタに登録することのできるユーティリティです。

ポイント

EPSON プリンタウィンドウ !3 では、用紙登録ユーティリティは使用できません。

☞本書 90 ページ「用紙登録ユーティリティ」

プリンタソフトウェアのインストール

本機を使用するために必要な次のソフトウェアをインストールします。

- プリンタドライバ
- EPSON プリンタウィンドウ !2
  (Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP（32bit）の場合)
- EPSON プリンタウィンドウ !3
  (Windows XP（64bit）/Vista の場合)

ポイント

- Windows NT3.5x/NT4.0/2000/XP/Vista 環境でソフトウェアをインストールする場合は、コンピュータの管理者アカウント（Administrators グループ）のユーザーでログオンする必要があります。
- Windows XP（64bit）ではプリンタを検出すると、自動的に OS 標準添付のプリンタドライバである［EPSON VP-5200］がインストールされますが、本製品同梱のプリンタドライバは［EPSON VP-5200 ESC/P］となります。プリンタドライバのプロパティ画面を開くときや、印刷時には［EPSON VP-5200 ESC/P］を選択してください。
  Windows XP（64bit）の仕様上、OS 標準添付のプリンタドライバである［EPSON VP-5200］は削除せずにそのままの状態で使用してください。
- Windows XP (32bit) をお使いの場合は、OS に標準添付されているプリンタドライバをインストールしてから、本製品同梱の CD-ROM に収録されている EPSON プリンタウィンドウ !2 をインストールしてください。［カスタムインストール］で［EPSON プリンタウィンドウ !2］を選択してインストールします。

1 プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

2 コンピュータの電源をオンにして、Windows を起動します。

ポイント

- Windows 起動時に次のような画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

＜例＞ Windows 98 の場合

- Windows NT4.0/2000/XP/Vista の場合、管理者権限（Administrators）のあるユーザーでログオンする必要があります。

3 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

4 ［おすすめインストール］をクリックします。

ポイント

- 4 の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。
- **プリンタドライバのインストール**
  Windows 3.1/NT3.51 をお使いの場合は、［プログラムマネージャ］の［アイコン］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択し、表示されたダイアログに CD-ROM をセットしたドライブ名と実行コマンド [setup.exe] を半角文字で入力し、［OK］ボタンをクリックします。
  <入力例 >D ドライブに CD-ROM をセットしたとき
  d:¥setup.exe
- **EPSON プリンタウィンドウ !2 のインストール**
  Windows NT3.51 をお使いの場合は、［プログラムマネージャ］の［アイコン］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択し、表示されたダイアログに CD-ROM をセットしたドライブ名と実行コマンド［epw2¥setup.exe］を半角文字で入力し、[OK] ボタンをクリックします。
  <入力例 >D ドライブに CD-ROM をセットしたとき
  d:¥epw2¥setup.exe

5 インストールするソフトウェアを確認して、［インストール］ボタンをクリックします。

ポイント

- Windows 2000/XP(64bit)/Vista をお使いの場合は、インストールの途中で［デジタル署名が見つかりませんでした］というダイアログまたは［Windows ロゴ テスト］などのダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］ボタンをクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本製品に添付のプリンタソフトウェアであれば問題なくお使いいただけます。
- オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM（または FD）を要求する画面が表示された場合は、画面に従って以下の手順でインストールを進めてください。

①オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM（または FD）をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞ Windows 98 Second Edition の場合

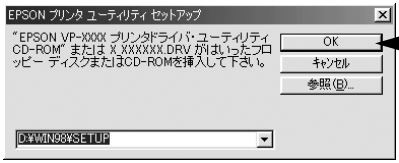
②以下の画面が表示されたら、セットした CD-ROM（または FD）のドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞

＜入力例＞ CD-ROM が D ドライブの場合

OS	入力例
Windows 95	D:¥WIN95
Windows 98	D:¥WIN98
Windows NT 4.0	D:¥I386

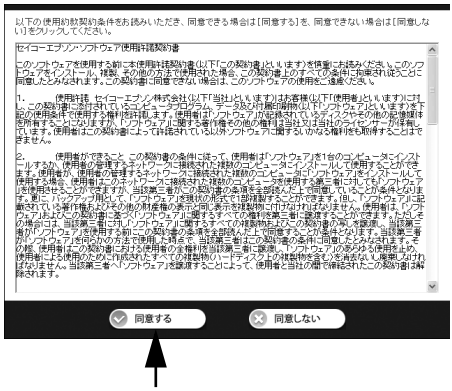
③ CD-ROM をセットした場合、オペレーティングシステムの CD-ROM を取り出し、再び「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットして、［OK］ボタンをクリックします。



6 以下の画面が表示されたら、内容を確認して [同意する] ボタンをクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。

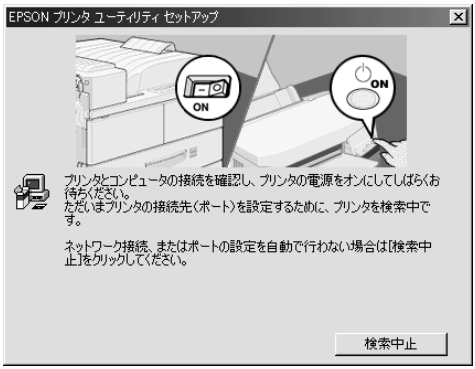
[同意しない] ボタンをクリックすると、インストール作業を終了します。



Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0 をお使いの場合は、8 へお進みください。

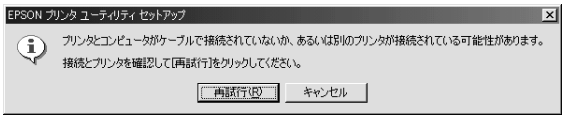
7 以下の画面が表示されたら、プリンタの電源をオンにします。

プリンタの接続先の設定を行います。以下の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。



ポイント

❼ の画面の表示後、約 3 分経過しても、プリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できない場合は、以下のような画面が表示されます。

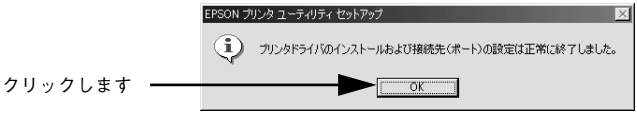


次の点を確認し、[再試行] ボタンをクリックしてください。

- プリンタの電源がオンになっているか
- 推奨ケーブルが正しく接続されているか

❽ 以下のような画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

表示される画面はご利用の環境によって異なります。
再起動を促すメッセージが表示された場合は、Windows を再起動してください。

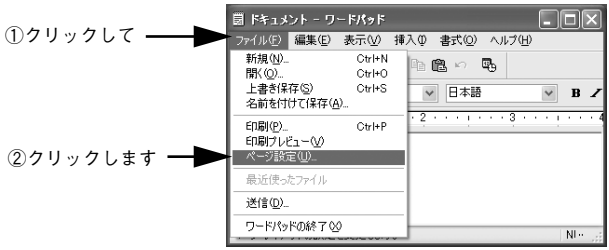


以上でプリンタソフトウェアのセットアップは終了です。
Windows での印刷についての詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 54 ページ「印刷手順」

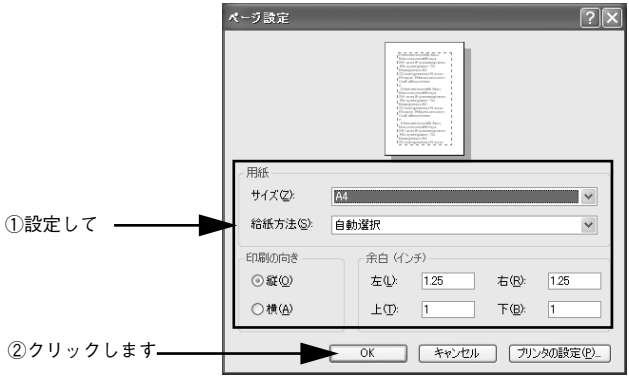
印刷手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、ここでは基本的な印刷手順を説明します。

1 **アプリケーションソフトを起動し、[ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。**



2 **用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、[OK] ボタンをクリックします。**



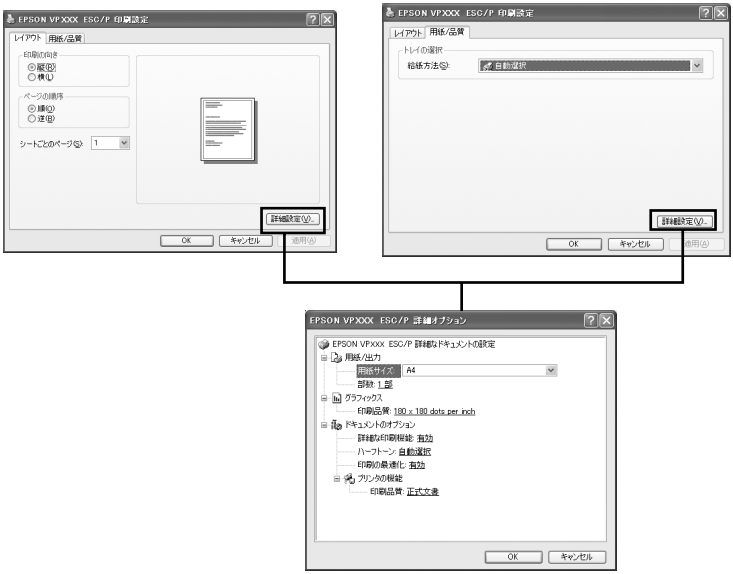
3 **データを作成したら、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。**

4 出力したいプリンタが選択されていることを確認し、[プロパティ]（または［詳細設定]）をクリックします。

5 各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。

表示される画面はご利用の環境によって異なります。

☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの設定項目」



ポイント

［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

6 **［印刷］ボタンをクリックします。**

印刷データがプリンタに送られ、印刷が始まります。

プリンタドライバの設定

ポイント

Windows 3.1/NT3.5x のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

プリンタドライバの設定方法

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

＜例＞ Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞ Windows 98 で［プリンタ］フォルダから開いた場合

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、この方法で設定します。プリンタドライバを開く方法は、アプリケーションソフトによって異なります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。基本的な方法は、［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させ、［プロパティ］ボタンをクリックします。

［スタート］メニューからの開き方

Windows の［スタート］メニューからプリンタドライバのプロパティを開きます。ここでの設定はアプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よく使う値を設定しておくと便利です。ここでは、代表的な方法を説明します。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］フォルダを開きます。**

- **Windows Vista の場合**
  ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。
- **Windows XP の場合**
  Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**
  ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **本機のアイコンを右クリックしてから、表示されたメニューで Windows 95/98/Me の場合は［プロパティ］を、Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］を、Windows 2000/XP/Vista の場合は［印刷設定］を選択します。**

ポイント

- Windows 2000/XP/Vista で［印刷設定］を変更するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。
- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/Vista のプリンタドライバ設定項目の詳細については、以下のページを参照してください。
  ☞本書 59 ページ「プリンタドライバの設定項目」
- Windows 3.1/NT3.5x のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
- Windows NT4.0/2000/XP/Vista の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］をクリックすると表示されます。
- Windows NT4.0/2000/XP/Vista で［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（PowerUsers）以上の権限が必要です。

プリンタドライバの設定項目

印刷を実行する前に、給紙方法、用紙サイズなどプリンタ固有の機能をプリンタドライバで設定します。

> ポイント
>
> Windows 3.1/NT3.5x のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

用紙サイズ、給紙方法の設定

用紙サイズや給紙方法の設定は、以下の画面で行います。

Windows 95/98/Me

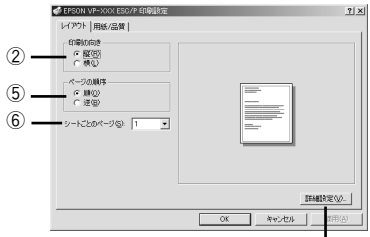
［用紙］ダイアログ

Windows NT4.0

［ページ設定］ダイアログ

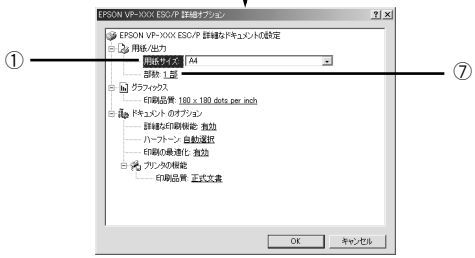
Windows 2000/XP/Vista

［レイアウト］ダイアログ



［用紙 / 品質］ダイアログ

［詳細オプション］ダイアログ　　クリックして表示します

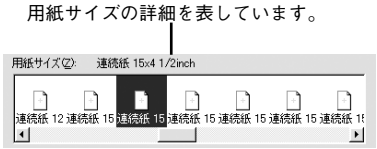


Windows XP（64bit）/Vista

［拡張設定］ダイアログ

① 用紙サイズ

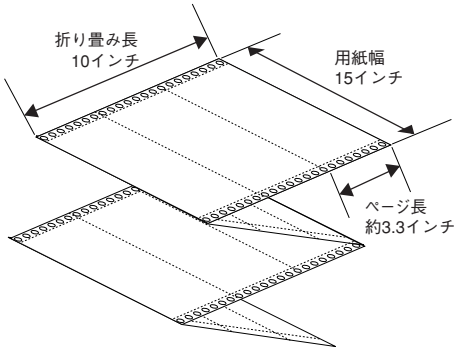
アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。作成した文書サイズとプリンタドライバ上の用紙サイズは、必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷されることがあります。



用紙サイズにないサイズは、ユーザー定義サイズとして登録することができます。
☞ 本書 67 ページ「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」

ポイント

- 「連続紙 15 × 10inch（3 等分）」とは、以下の状態のことを指します。



- 上記の選択肢は「ページ長が約 3.3 インチ」であることを示しますので、用紙の折り畳み長や、折り畳み枚数の単位が異なっても設定できます。
- 「連続紙 15 × 3 2/3inch」などの帯分数は、「3 ＋ 2/3 インチ」のページ長であることを示します。
- 印刷したい連続紙の用紙サイズ（用紙幅）が登録されていない場合は、用紙長が同じものを選択してください。
- 4 インチ未満で折り畳まれた連続紙を使用すると紙送り精度に影響します。連続紙のページ長が 4 インチ未満の場合は、複数ページ毎に折り畳まれ、折り畳み長が 4 インチ以上の連続紙を使用してください。

② 印刷の向き
印刷する方向を縦・横のどちらかをクリックして選択します。
使用するアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

③ 給紙方法
用紙の給紙方法（装置）を選択します。給紙方法一覧から、選択する給紙方法をクリックします。

手差し	単票紙をプリンタの用紙ガイドから手差し給紙する場合に選択します。
プッシュトラクタ（前） プッシュトラクタ（後）	プッシュトラクタを使用して連続紙を給紙する場合に選択します。
カットシートフィーダ	単票紙をオプションのカットシートフィーダから給紙する場合に選択します。
自動選択 （Windows NT4.0/2000/XP/Vistaのみ）	［プリンタ］フォルダでのプリンタドライバで設定されている給紙方法に従います。

ポイント

Windows NT4.0/2000/XP/Vista の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］をクリックすると表示されます。

④余白の編集
用紙の余白設定を行えます。ただし、本機では変更せずそのままの設定でお使いください。

⑤ ページの順序（Windows 2000/XP/Vista のみ）
印刷するページの順序を選択します。

順	最初のページから順番に印刷します。
逆	最後のページから順番に印刷します。

⑥ シートごとのページ（Windows 2000/XP/Vista のみ）
1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを指定します。たとえば、1 を指定すると、1 枚の用紙に 1 ページが印刷され、2 を指定すると 1 枚の用紙に 2 ページ分が並べて印刷されます。
Windows Vista では［境界線を引く］をチェックすると、ページとページの間に境界線を印刷できます。

⑦ 部数（Windows 2000/XP/Vista のみ）
印刷する部数を指定します。2 部以上印刷するときは、部単位で印刷するかどうかを指定できます。部単位で印刷する場合は、1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。部単位で印刷しない場合は、ページごとに部数分ずつ印刷します。

⑧ 印刷位置のオフセット（Windows XP（64bit）/Vista のみ）

印刷開始位置を設定します。通常は、お使いのアプリケーションソフトのマージン設定（余白の設定）で調整してください。アプリケーションソフトで設定できないときなどはこの機能をお使いください。

オフセットによって印字領域からはみ出したデータは印刷されません。

横	横方向の印刷開始位置を指定します。マイナス値は左方向、プラス値は右方向にオフセットします。 設定可能範囲は -2.54cm（-1.00inch）から 2.54cm（1.00inch）です。
縦	縦方向の印刷開始位置を指定します。マイナス値は上方向、プラス値は下方向にオフセットします。 設定可能範囲は -2.54cm（-1.00inch）から 2.54cm（1.00inch）です。
単位	上記の入力値の単位を cm または inch のどちらかに選択できます。

入力値をプリンタドライバをインストールした直後の状態に戻すときは［初期値に戻す］をクリックします。

グラフィックス、印刷品質の設定

グラフィックイメージの印刷に関する設定は、以下の画面で行います。

Windows 95/98/Me

［グラフィックス］ダイアログ

［デバイスオプション］ダイアログ

Windows NT4.0

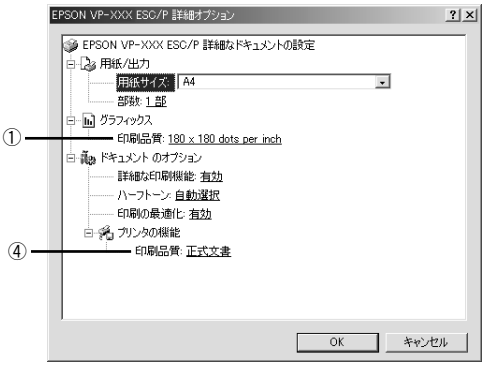
［ページ設定］ダイアログ

［詳細］ダイアログ

Windows 2000/XP/Vista

［用紙 / 品質］ダイアログ

［詳細オプション］ダイアログ



① 解像度または印刷品質

グラフィックイメージの出力解像度（細かさ）を選択します。
解像度は、水平解像度×垂直解像度で示しています。解像度は dpi* で表し、数字が大きくなるほど解像度は高くなります。
一般に解像度が高い方が高品質のグラフィックを印刷できますが、印刷時間は長くなります。

* dpi（Dots Per Inch）：1 インチ当たりのドット数

② ディザリング（Windows 95/98/Me のみ）

グラフィックイメージの細かさを設定します。ディザリング処理をすることで、グレースケールや中間色を疑似的に表現できます。
ここでの設定は、白黒印刷の場合のみ反映されます。

なし	ディザリング処理をしません。グレースケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。
粗く	粗いディザパターンイメージを用いて処理します。粗くして印刷した紙をコピーすると、中間色がつぶれて真っ黒になってしまいますので、コピーを取る場合はディザリングは［粗く］にしないことをお勧めします。
細かく	細かいディザパターンイメージを用いて処理します。
ラインアート	黒、白、グレー階調の間にくっきりとした境目があるグラフィックスを印刷するときに適しています。
誤差拡散法	写真のような無段階に階調（色調）が変化する画像に適した処理です。細かい微妙な部分まで表現できるようになります。

③ 濃度（Windows 95/98/Me のみ）

グラフィックスの明暗を増減するときに使用します。印刷を薄くするときは［明］の方向へ、印刷を濃くするときは［暗］の方向へスクロールバーのツマミをドラックするか、ツマミの左右をクリックします。

④ 印刷品質

［正式文書］または［ドラフト］のどちらかを選択します。
［ドラフト］よりも［正式文書］の方が表現力のある高品質な印刷結果になりますが、印刷時間は長くなります。
ドラフトを選択するときは操作パネルの［高速印字］ランプを点灯させる必要があります。

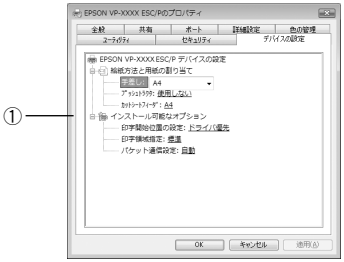
インストール可能なオプション（Windows XP（64bit）/Vista）

この画面は、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］のプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］（または［管理者として実行］-［プロパティ］）を選択して表示させます。

☞ 本書 57 ページ「［スタート］メニューからの開き方」

Windows XP（64bit）/Vista

［デバイスの設定］ダイアログ



① インストール可能なオプション

すべての印刷に共通な各種設定ができます。

印字開始位置の設定	ドライバ優先	それぞれの用紙ごとにプリンタドライバで設定されている位置から印刷します。 プリンタの操作パネルから設定した印字開始位置は無効になります。 通常はこの設定で使用します。
	プリンタ優先	プリンタの操作パネルで設定した位置から印刷します。プリンタドライバで設定されている印字開始位置は無効になります。 プリンタの設定値で印刷したいときに選択します。
印字領域指定	標準	EPSON インパクトプリンタの一般的な印字領域にて印刷します。 通常はこの設定で使用します。
	最大	プリンタで印刷できる最大の印字領域に印刷します。用紙の種類によっては［標準］と変わらないことがあります。
パケット通信設定	自動	プリンタのパケット通信設定が［自動］のときに選択します。
	オフ	プリンタのパケット通信設定が［オフ］のときに選択します。

ポイント

［パケット通信設定］は、通常、変更する必要はありません。プリンタのパケット通信設定を変更したときのみ、その設定と合わせてください。設定が異なると、正常に印刷されないことがあります。

用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

Windows XP（64bit）/Vista の場合

1 **プリンタドライバの［ユーザー定義用紙］画面で用紙情報を入力します。**

用紙名	登録したい用紙の名称を入力します。31 文字まで入力できます。 プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙名やすでにユーザー定義用紙として登録済みの用紙名は登録できません。
単位	［用紙サイズ］、［余白］の値の単位を選択します。
用紙サイズ	［用紙］の表示欄で選択されている用紙の大きさが表示されます。新しく登録したい用紙の大きさを設定します。 入力できる範囲は 2.54cm(1.00inch) から、本機で印刷できる最大用紙サイズまでです。
余白	［用紙］の表示欄で選択されている用紙の余白が表示されます。新しく登録したい用紙の余白を設定します。 ［右余白］と［左余白］の合計が用紙の幅未満になるように設定します。 ［上余白］と［下余白］の合計が用紙の高さ未満になるように設定します。

2 **［用紙の保存］をクリックします。**

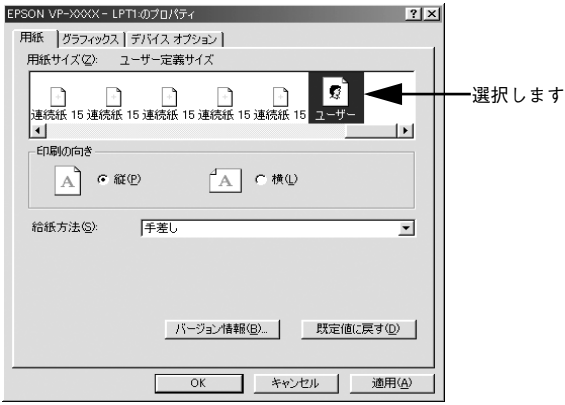
任意の用紙サイズが登録され、［用紙］欄に追加されます。以降は、「用紙サイズ」リストから選択できるようになります。

3 **［OK］をクリックします。**

任意の用紙サイズが登録され、［用紙］欄に追加されます。以降は、「用紙サイズ」リストから選択できるようになります。

Windows 95/98/Me の場合

1. プリンタドライバの［用紙］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。



2. 登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［OK］ボタンをクリックします。
数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。

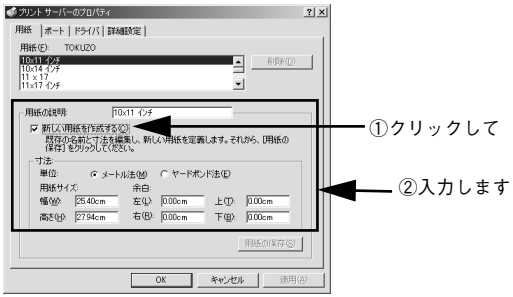
Windows NT4.0/2000/XP (32bit) の場合

1. ［プリンタ］（または［プリンタとFAX］）フォルダ内の本機のアイコンをクリックしてから［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］を選択します。

2 **［新しい用紙を作成する］チェックボックスをチェックしてから、以下の項目を設定します。**

用紙の説明：テキストボックスに登録する用紙の名称を入力します。ここで入力した名称がユーザー定義の用紙サイズの名称になり、プリンタドライバの［用紙サイズ］一覧に表示されます。

寸法：　　単位と用紙サイズを設定します。

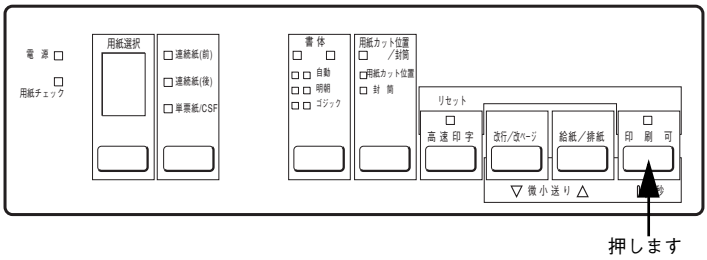


3 **入力が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。**

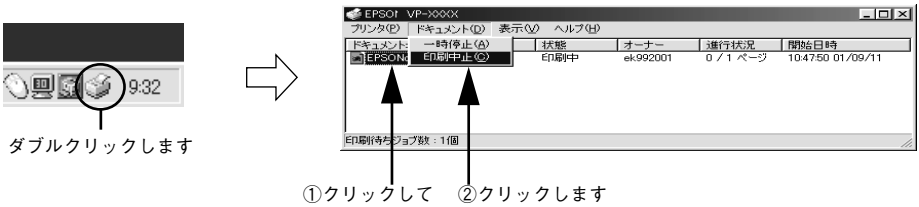
ポイント	Windows XP(64bit)/Vistaでも上記の手順でユーザー定義用紙サイズを登録できます。

印刷の中止方法

1 **プリンタの［印刷可］スイッチを押します。**
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。



2 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**
削除する印刷データをクリックして［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。



EPSON プリンタウィンドウ !2

対応機種

DOS/V（IBM PC-AT 互換機）（双方向通信機能 * のある機種）

*：お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが双方向通信機能に対応しているか否かは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。

EPSON プリンタウィンドウ !2 は、コンピュータに標準装備されているパラレルインターフェイスの双方向通信機能をサポートし、下記の対象 OS が動作する DOS/V（IBM PC-AT 互換機）であれば使用できます。

ポイント

- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキーなど）を、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。
- PRIF13をお使いの場合は、EPSON プリンタウィンドウ!2 は使用できません。
- EPSON プリンタウィンドウ !2 に関する最新情報が EPSON フォルダの「EPSON プリンタウィンドウ !2 Readme」に記載されています。クリックして開き、必ず内容を確認してください。
- Windows NT3.51 用の EPSON プリンタウィンドウ !2 は、ローカルプリンタの監視はできません。
- NEC の PC-9821 シリーズをお使いの場合、Windows NT4.0/2000 でのローカルプリンタは監視できません。

対象 OS

Windows 95/98/Me/NT3.51*/NT4.0/2000/XP(32bit)
※各 OS の必要条件を満たしていること。

*：ローカルプリンタは監視できません。

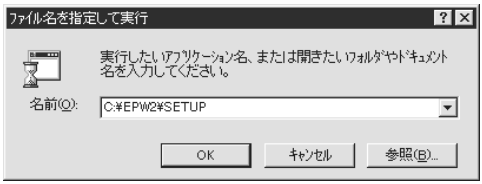
プリンタポート

コンピュータに直接プリンタを接続する場合、プリンタの接続ポートは、「LPT1」を使用してください。

初期設定を変更する場合

インストール時に設定した情報を変更する場合は以下の手順に従ってください。

1 **「ファイル名を指定して実行」画面を開き、EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしたドライブ名およびディレクトリ名と実行コマンドを半角文字で入力し、［OK］ボタンをクリックします。**



EPSON プリンタウィンドウ !2 を C ドライブにインストールした場合
→ C:¥EPW2¥SETUP

> ポイント
>
> 「EPW2」以外のディレクトリに EPSON プリンタウィンドウ !2 をインストールした場合は、「EPW2」の代わりにインストールしたディレクトリ名を入力してください。
> C ドライブにインストールした場合
> C:¥ インストールしたディレクトリ名 ¥SETUP

2 **この後は画面の指示に従って、設定を変更します。**

EPSON プリンタウィンドウ !2 をお使いになる前に（Windows95/98/Me）

Windows95/98/Me をご使用の場合、EPSON プリンタウィンドウ !2 を使用する前に Windows95/98/Me の設定を確認する必要があります。

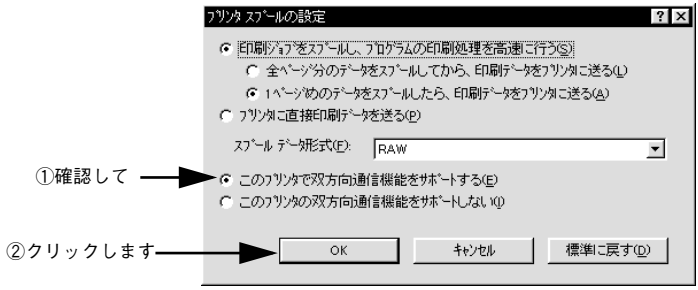
1 **［スタート］ ボタンをクリックし、［設定］にマウスカーソルをあわせ、［プリンタ］をクリックします。**
「プリンタ」フォルダが表示されます。

2 **設定するプリンタのアイコンをクリックし、［ファイル］メニュー内の［プロパティ］をクリックします。**
「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 **［詳細］タブをクリックし、［スプールの設定］ボタンをクリックします。**
「プリンタスプールの設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 **「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。**

「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていない場合は、クリックして選択します。これで Windows95/98/Me の設定は終了です。



EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには

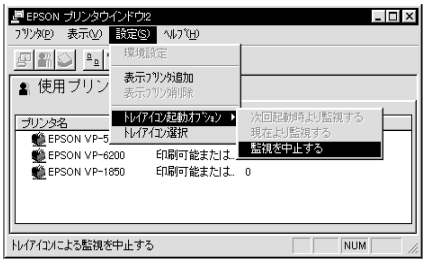
EPSON プリンタウィンドウ !2 は、監視アイコンによって監視設定したプリンタに対して常時監視を行います。プリンタの監視を停止するには以下の手順に従ってください。

1 **タスクバーの右端にあるプリンタの形をした「監視」アイコンをダブルクリックします。**

ポイント

監視アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックし「監視を中止する」をクリックすると、監視アイコンを停止します。

2 **［設定］メニューをクリックし、「監視アイコン起動オプション」をポイントし、「監視を中止する」をクリックします。**



3 ［プリンタ］メニューをクリックし「閉じる」をクリックします。

ポイント

監視を中止した後で、再度監視を行う場合は「次回起動時より監視する」または「現在より監視する」をクリックします。監視を停止するとタスクバーの監視アイコンが消去されますので、再起動する場合は「操作手順」の手順に従ってスタートメニューから起動してください。

EPSON プリンタウィンドウ !2 の操作手順

ここでは「EPSON プリンタウィンドウ !2」の基本的な操作の手順を説明しています。

ポイント

プリンタドライバのプロパティシートにおいてプリンタの印刷先を変更した場合は「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」の手順に従って停止させた後、再起動してください。

1 プリンタの電源スイッチをオンにし、タスクバーの右端にある［監視アイコン］をダブルクリックします。

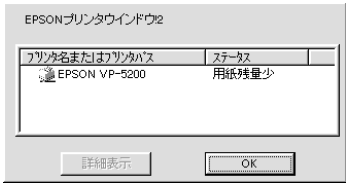
ポイント

EPSON プリンタウィンドウ !2 はスタートメニューからも起動できます。［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］-［EPSON］にカーソルを合わせます。［EPSON プリンタウィンドウ !2］をクリックします。

2 **目的のプリンタをクリックし選択します。**

表示された画面は「プリンター覧」ウィンドウです。ここでは設定されたプリンタの状態が表示されます。

ポイント



環境設定の監視アイコン設定で「モニタする」をチェックすると、設定した条件時に「簡易表示」が表示されるようになります。この「簡易表示」からプリンタの詳細を確認することができます。

☞本書 81 ページ「環境を設定するには」

プリンター覧ウィンドウ

設定されたプリンタの状態を表示しています。カラーアイコンを使用していますので、色の変化によりプリンタの状態が一目で分かります。

①メニューバー

プリンタ（P）：　「プリンター覧」ウィンドウの中から選択したプリンタの「プリンタ詳細」、「ジョブ管理」、「用紙選択」のウィンドウを開きます。

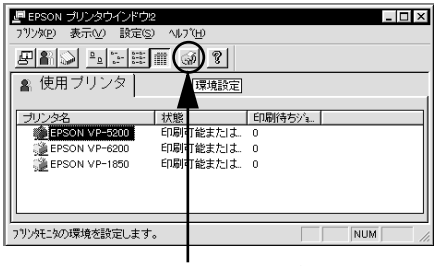
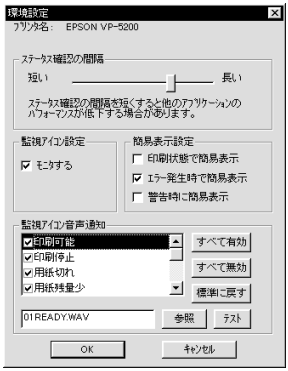
表示（V）：　「プリンター覧ウィンドウ」の表示方法を設定します。「最新の情報に更新」をクリックすると、プリンタの最新の状態をチェックし、表示します。

設定（S）：　「環境設定」「表示プリンタの追加」「表示プリンタの削除」など動作環境の設定をします。また、監視アイコンの登録等もここで設定します。

ヘルプ：　EPSONプリンタウィンドウ!2に関する説明を表示します。

②ツールバー

アイコンをクリックすることで各機能が実行されます。アイコンの上にポインタを移動させると、そのアイコン機能が表示されます。

プリンタの詳細をみるには	環境を設定するには
「プリンタ詳細」アイコン をクリックします	「環境設定」アイコン をクリックします。
 クリックします	 クリックします
プリンタの詳細な状態を確認後［OK］ボタンをクリックします。	環境設定後［OK］ボタンをクリックします。
ステータス詳細：79 ページ参照	環境設定：81 ページ参照
	
消耗品情報：79 ページ参照	
プリンタ情報：80 ページ参照	

ポイント

コンピュータに負担をかけるため、必要のない時は画面を閉じてください。プリンタドライバのプロパティシートにおいてプリンタの印刷先を変更した場合は EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止させたあと、再起動してください。

☞本書 73 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」

③プリンタ情報

登録されているプリンタ名、状態、印刷待ちの件数を表示します。監視するプリンタが複数ある場合は、各ボタンをクリックするとプリンタの表示順が変わります。

プリンタ名：　コンピュータにインストールされているプリンタの一覧を表示します。

状態：　コンピュータにインストールされているプリンタの状態を表示します。

印刷待ちジョブ数：　プリンタの印刷待ちの件数を表示します。

プリンタアイコン：　プリンタの状態を色で表示します。

緑：印刷可能です。
黄：印刷可能ですが、プリンタになんらかの処置をとらないと印刷不可能になることがあります。
赤：印刷不可能です。プリンタに異常があります。
灰：プリンタが監視できない状態です。

ポイント

通常接続しないプリンタは不必要にコンピュータに負担をかけるため、「設定」メニューの「表示プリンタ削除」で削除してください。このとき、プリンタドライバは削除されません。

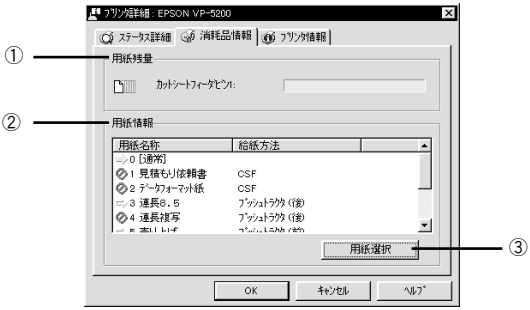
プリンタの詳細をみるには

ステータス詳細シート

「ステータス詳細」シートでは、選択したプリンタの状態をチェックすることができます。またプリンタに問題のある時はその対処方法も表示されます。

消耗品情報シート

「消耗品情報」シートでは、プリンタに登録されている用紙情報が表示されます。



①用紙残量：　オプションのカットシートフィーダにセットされている用紙残量の目安を表示します。

②用紙情報：　「用紙登録ユーティリティ」から登録された用紙の情報を表示します。

③用紙選択ボタン：　このボタンをクリックすると［用紙選択］ダイアログボックスが表示されます。

プリンタ情報シート

「プリンタ情報」シートでは、選択したプリンタの機能やオプション情報を表示します。

情報リスト：
プリンタの情報、プリントサーバの情報など確認できる情報の一覧を表示します。ローカル接続の場合表示される情報はありません。

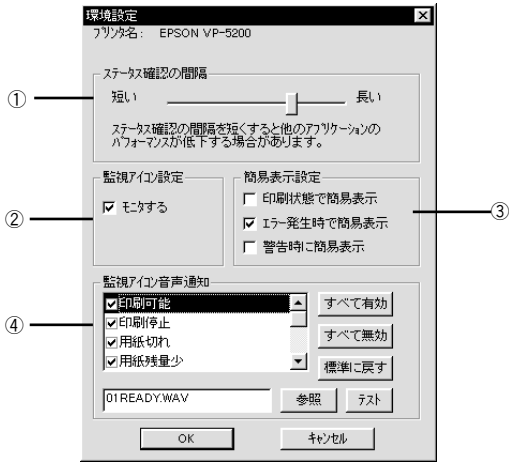
詳細ウィンドウ：
情報リストで選択された情報の詳細を表示します。

ポイント

ローカル接続の場合、画面が変わるのに少し時間がかかる場合があります。

環境を設定するには

ここではEPSONプリンタウィンドウ!2上における各プリンタの動作環境を設定します。



①ステータス確認の間隔：　コンピュータがプリンタの状態をチェックする間隔を設定します。（最短設定2秒：初期 10秒：最長設定60秒）

②監視アイコン設定：　「モニタする」をチェックすると、選択したプリンタの監視がはじまります。監視アイコンを停止している場合は選択できませんのでご注意ください。

③簡易表示設定：　監視アイコンから簡易表示を表示する場合の条件を設定します。簡易表示については以下のページをご覧ください。
☞82ページ「監視アイコンと簡易表示について」

④監視アイコン音声通知：　プリンタの状態の□チェックボックスをクリックしてチェック印をつけると「簡易表示」が表示される時に音声で通知する機能が有効になります。

ポイント

- お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。
- プリンタの監視を停止している場合には、監視アイコン・簡易表示の設定はできません。「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」の手順を参照して、［設定］メニューをクリックし、「監視アイコン起動オプション」で「現在より監視する」をクリックします。
☞本書73ページ「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」

監視アイコンと簡易表示について

環境設定の監視アイコン設定で「モニタする」をチェックすると、選択したプリンタの監視が開始されます。監視が開始されるとタスクバー上の監視アイコンの色が選択したプリンタの状況に応じて変化し、「簡易表示」が表示されます。

監視アイコン

選択したプリンタの状況に応じてアイコンの色が変化します。

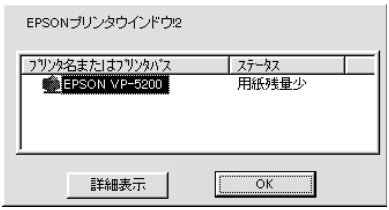
緑ー　印刷可能です。
黄ー　印刷可能ですが、プリンタになんらかの処置をとらないと印刷不可能になることがあります。
赤ー　印刷不可能です。

ポイント

- 監視アイコンを停止している場合は、監視アイコンと簡易表示機能はご利用になれません。「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」の手順で［現在より監視する］を選択し、環境設定の「監視アイコン設定」で「モニタする」をチェックしてください。
- 監視アイコンをポイントしてマウスの右ボタンをクリックすると、監視アイコンの設定ができます。
  「手前に表示する」:「簡易表示」を開いているウィンドウの一番手前に表示します。
  「監視を停止する」:監視アイコンの監視を中止します。

簡易表示

環境設定で設定した条件時のみ「簡易表示」がトレイアイコン上部に表示されます。プリンタ名をクリックし、詳細表示　ボタンをクリックすると、「ステータス詳細シート」が開きます。



EPSON プリンタウィンドウ !3

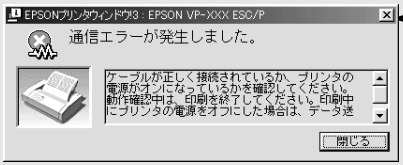
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。

プリンタの状態を表示します

［プリンタ詳細］ウィンドウ

プリンタの状態をコンピュータのモニタ上で知ることができます。



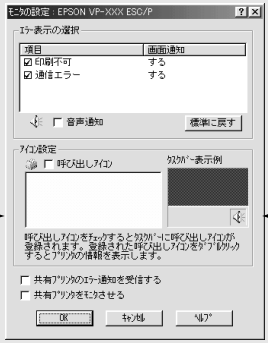
EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

- ［ユーティリティ］ダイアログから
- タスクバーの呼び出しアイコンから

動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3の動作環境を設定することができます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境

対応機種

DOS/V（IBM PC-AT 互換機）（双方向通信機能 * のある機種）

*: お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが双方向通信機能に対応しているか否かは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、コンピュータに標準装備されているパラレルインターフェイスの双方向通信機能をサポートし、下記の対象 OS が動作する DOS/V（IBM PC-AT 互換機）であれば使用できます。お使いのコンピュータの機種によりプリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。

ポイント

- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキーなど）を、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。
- PRIF13 をお使いの場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できません。

対象 OS

Windows XP（64bit）/Vista
※各 OS の必要条件を満たしていること。

プリンタポート

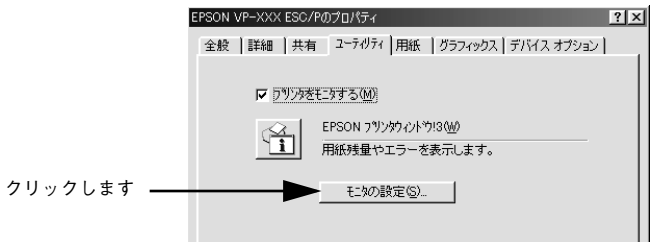
コンピュータに直接プリンタを接続する場合、プリンタの接続ポートは、「LPT1」を使用してください。

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタさせるかなどを設定します。
［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

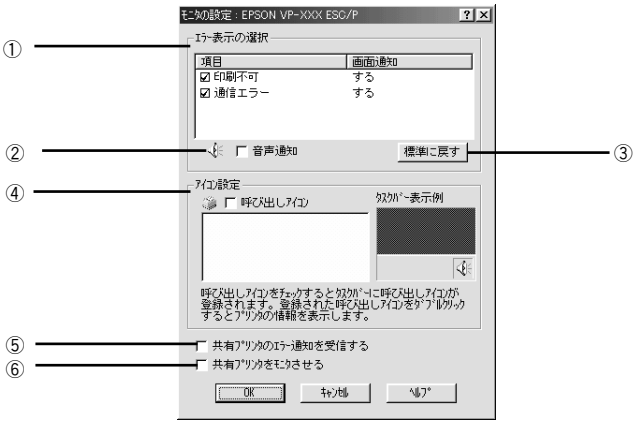
［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックしてプリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］タブの［モニタの設定］ボタンをクリックします。



［方法 2］

［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、タスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、右クリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ



① エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを通知するかを選択します。通知が必要な項目にチェックを付けます。チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウでお知らせします。

② 音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

> ポイント
>
> お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ ［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④ アイコン設定

［呼び出しアイコン］にチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

> ポイント
>
> タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると［モニタの設定］ダイアログおよび［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。

⑤ 共有プリンタのエラー通知を受信する

ネットワーク上のほかのコンピュータにローカル接続された共有プリンタを利用している場合に、エラーを通知するかどうか選択できます。

⑥ 共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

☞ 本書 98 ページ「プリンタを共有するには」

Windows Vista で［共有プリンタをモニタさせる］の設定を変更するときは、以下の手順で［モニタの設定］画面を開き、変更してください。

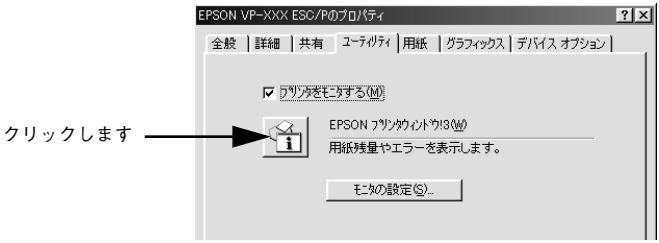
1. **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。**
2. **［プリンタ］で本機のアイコンを右クリックし、［管理者として実行］-［プロパティ］の順にクリックします。**
3. **プログラムの実行を許可する確認画面で［続行］をクリックします。**
4. **［ユーティリティ］タブをクリックし、［モニタの設定］をクリックします。**

プリンタの状態を確認するには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確認するために、次のいずれかの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開きます。

［方法 1］

［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックしてプリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］タブの［EPSON プリンタウィンドウ !3］アイコンをクリックします。

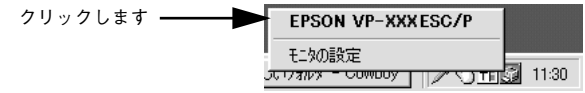


ポイント

［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダからプロパティダイアログを開いてください。アプリケーションソフトのメニューからでは、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動できません。

［方法 2］

タスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、右クリックして、メニューからお使いのプリンタ名をクリックします。



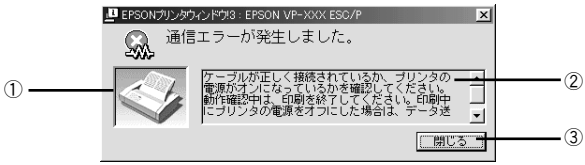
ポイント

初期設定では、呼び出しアイコンは設定されていません。以下のページを参照して呼び出しアイコンを設定してください。

☞本書 85 ページ「モニタの設定」

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの状態を表示します。



① プリンタ
プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② メッセージ
プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況と解決策をメッセージでお知らせします。

③ ［閉じる］
ウィンドウを閉じます。

共有プリンタを監視できない場合は

以下の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタが共有設定されていて、EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］がチェックされていること。

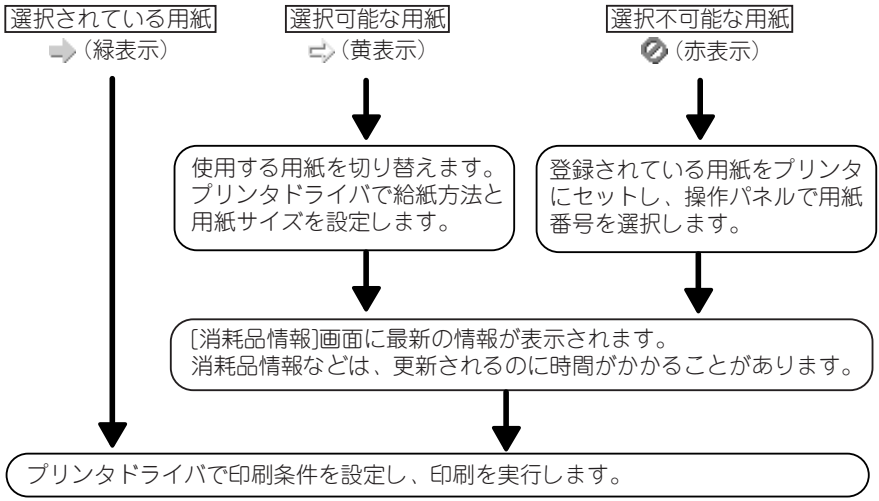
用紙登録ユーティリティ

用紙登録ユーティリティとは

いろいろな定形紙や連続複写紙伝票や専用紙などの使用する用紙サイズ・給紙方法などを登録することができます。登録された用紙情報は、プリンタのメモリに記憶され、EPSON プリンタウィンドウ !2 で読み出すことができます。プリンタを共有する環境でも、印刷の直前に選択している用紙を確認することにより、誤って別の用紙へ印刷することを防ぐことができます。

> ポイント
>
> Windows XP (64bit) /Vista の場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 では、用紙登録ユーティリティは使用できません。

印刷までの流れ



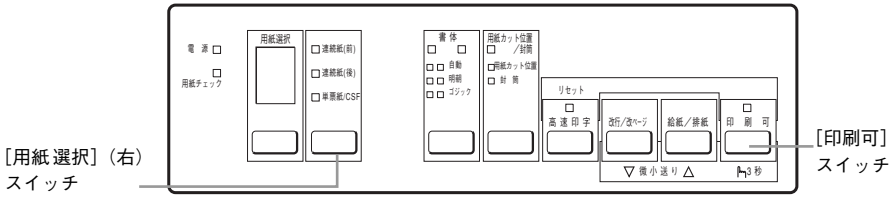
用紙の登録または変更をするには

用紙を登録します。

- 最大 8 種類の用紙を登録することができます。
- 用紙を一度登録しておけば、EPSON プリンタウィンドウ !2 で用紙の状態が確認できます。

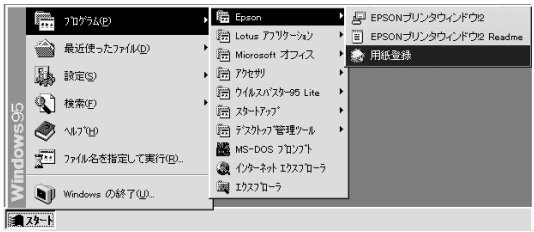
1 **プリンタの操作パネルの［用紙選択］（右）スイッチを押して用紙番号を「0」にし、［印刷可］スイッチを押します。**

用紙が給紙されている場合は用紙を排紙してからこの操作を行います。



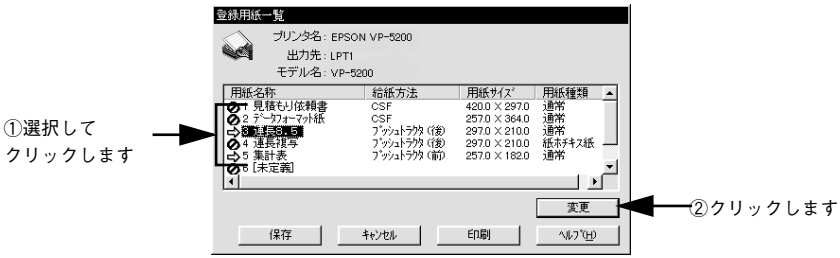
2 **用紙登録ユーティリティを起動します。**

［スタート］－［プログラム］－［EPSON］－［用紙登録］の順にクリックします。



3 **用紙登録するプリンタをクリックし、［用紙登録］ボタンをクリックします。**

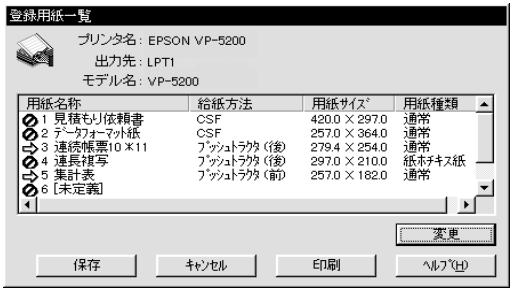
4 未定義または変更したい用紙の名称をクリックし、［変更］ボタンをクリックします。



5 各項目を入力後 、［OK］ボタンをクリックします。

項目	内容
①名称	用紙名称を全角 10 文字以内（半角 20 文字）で入力します。
②給紙方法	給紙方法を選択します。給紙方法は機種により異なります。
③用紙サイズ	用紙サイズを設定します。A4 等の単票紙は 定型サイズ ボタンをクリックし、その中から選択してください。これ以外のサイズの紙、連続紙は寸法を半角文字で入力します。入力する用紙サイズ（寸法）は、プリンタドライバで設定可能な用紙サイズを入力してください。
④インチボタン	寸法単位を「インチ」と「mm」で切替えます。
⑤用紙種類	特殊紙のモードを設定します。通常の用紙では「通常」を選択します。
⑥用紙状況選択	プリンタに用紙がセットされているかどうかを選択します。同一の給紙方法に異なる用紙を登録する場合は最後に「設置済」を指定した用紙が有効になります。
⑦複写	複写紙への印字の濃さを設定します。ただし、本機では使用しません。

6 ［保存］ボタンをクリックします。



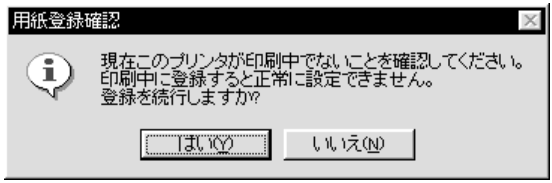
（黄色）一設置済を選択した選択可能な用紙です。

（赤）一設置済を選択していない用紙です。

ポイント

- ［印刷］ボタンをクリックすると、表示されている用紙 No.、用紙名称、給紙方法が　印刷できます。用紙登録中の場合は、用紙登録を完了させ、再度「用紙登録」を起動し印刷してください。
- 登録した用紙の一覧表をプリンタの付近に掲示しておくと用紙情報を確認するのに便利です。

7 設定するプリンタが印刷中でないことを確認し、［はい］ボタンをクリックします。



ポイント

下の画面が表示された場合は、［OK］ボタンをクリックし、用紙登録ユーティリティを再起動して、設定し直してください。

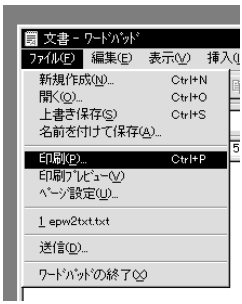
用紙を選択するには

ここでは、Windows （Windows 3.1/NT3.5 1除く）に添付のワードパッドを例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 **ワードパッドを起動します。**

Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］（または［すべてのプログラム］）にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ、［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。

2 **［ファイル］の［印刷］をクリックします。**

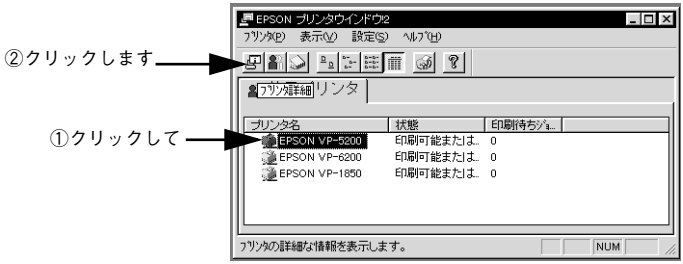


3 **タスクバーにあるEPSONプリンタウィンドウ!2 の呼び出しアイコンをダブルクリックして、EPSON プリンタウィンドウ !2 を起動します。**

監視を中止している場合は、スタートメニューの EPSON フォルダから起動してください。

4 **使用するプリンタをクリックし、「プリンタ詳細」 アイコンをクリックします。**

プリンタに異常があるときは「プリンタ詳細」のステータス詳細シートのメッセージに従って対処してください。

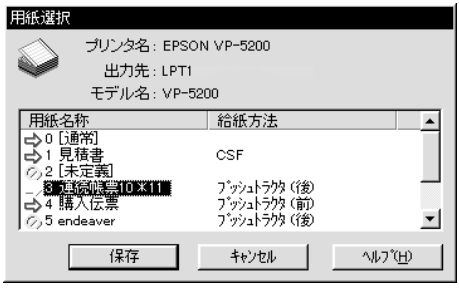


5 **［消耗品情報］タブをクリックし、用紙の選択状況を確認してから、［用紙選択］ボタンをクリックします。**

使用する用紙が選択されている（矢印が緑）ときは 9 へ進みます。

6 **EPSONプリンタウィンドウ!2でお使いのプリンタが印刷可能(アイコンの色が緑)状態であることを確認してから、使用する用紙名称をクリックし、[保存]ボタンをクリックします。**

プリンタの操作パネル上の［用紙選択］(左)スイッチを押して用紙番号を選択することもできます。



緑　選択されている用紙

黄色　選択可能な用紙

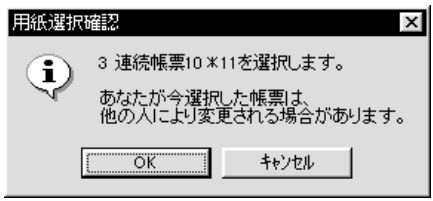
選択不可能な用紙

ポイント

選択不可能な用紙（赤色表示）はプリンタに用紙がセットされていません。用紙を選択するには次の手順に従ってください。

	給紙方法	給紙方法
	・CSF ・プッシュトラクタ（前） ・プッシュトラクタ（後）	・用紙ガイド（前） ・用紙ガイド（上）
手順1	プリンタ内に別の用紙が残っている場合は排紙します。	
手順2	使用する用紙をプリンタにセットします。	
手順3	プリンタの操作パネルの［用紙選択］(左)スイッチを押して用紙番号を使用する用紙に合わせます。	
手順4	［印刷可］スイッチを押します。	
	ステップ8へ進みます	

7 **［OK］ボタンをクリックします。**



8 **［消耗品情報］タブで用紙が選択されていること（矢印の色は緑）を確認します。**
画面が最新の状態に変わるまでに少し時間がかかります。

ポイント

用紙選択したプリンタが印刷不可能状態（アイコンの色は赤）のときには、用紙が正しく選択されていない可能性があります。［ステータス詳細］タブでプリンタの状態を確認します。

9 **印刷画面の［印刷］ボタンをクリックします。**
設定の終了後、印刷を開始するまでの間に、他のユーザーによって設定が変更される場合があります。プリンタでセットされている用紙を確認後アプリケーションソフトから印刷を実行してください。

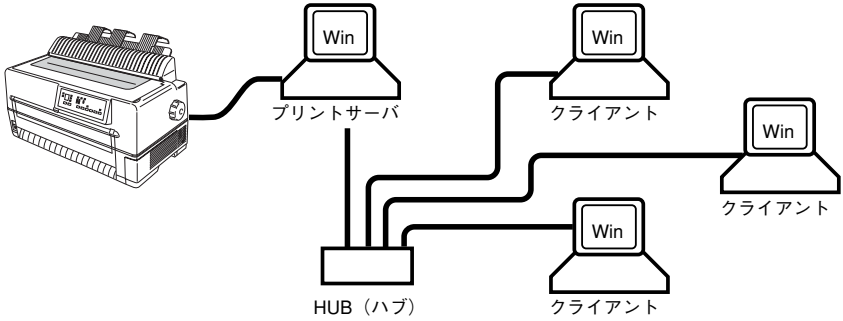
ポイント

EPSON プリンタウィンドウ !2 で用紙を切り替えた後は、印刷を実行する前にドライバの用紙サイズが使用する用紙と一致していることを確認してください。ドライバの設定が異なっている場合は正しい値に設定してください。

プリンタを共有するには

Windows（Windows 3.1/NT3.5x を除く）の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。



プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受ける クライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。
☞ 本書 99 ページ「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
☞ 本書 102 ページ「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP/Vista）」

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 105 ページ「クライアントの設定」

ポイント

- プリンタ共有の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントとなるコンピュータが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。また、プリンタを使用するコンピュータにプリンタドライバがインストールされている場合と、インストールされていない場合によって設定方法が異なります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。
- 共有プリンタに印刷を実行して通信エラーが発生する場合は、[ユーティリティ] ダイアログで［プリンタをモニタする］のチェックマークを外します。この場合、EPSON プリンタウィンドウ！3 は使用できません。

プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）

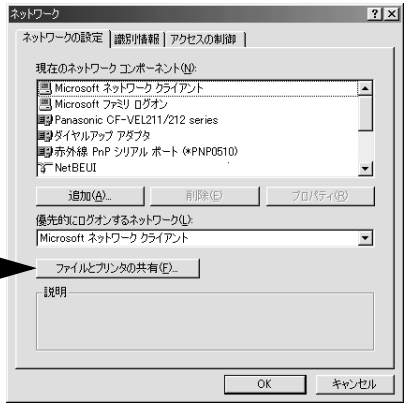
Windows 95/98/Me でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

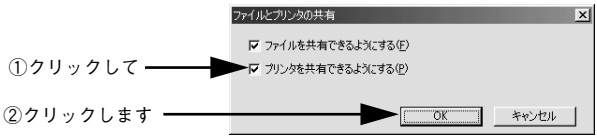
ダブルクリックします

3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

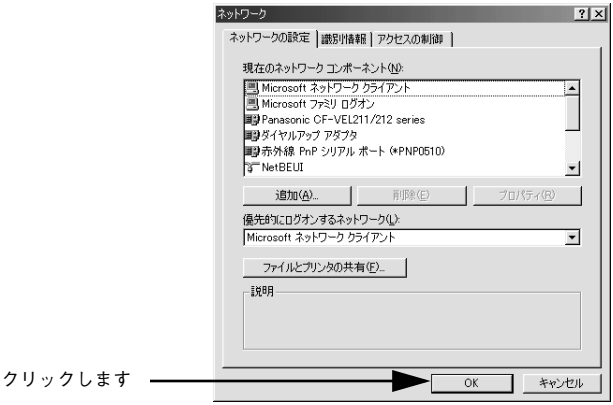


クリックします

4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。



5 ［OK］ボタンをクリックします。



ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 お使いのプリンタのアイコンをクリックして、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

> **ポイント**
> エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。次に、各クライアント側で設定してください。
☞ 本書 105 ページ「クライアントの設定」

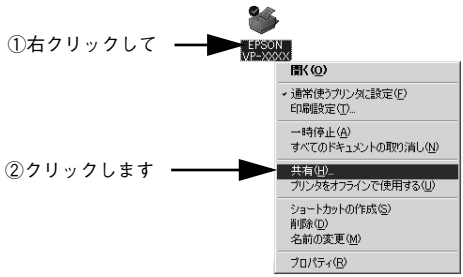
プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP/Vista）

Windows NT4.0/2000/XP/Vista のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。**

- **Windows Vista の場合**
  ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。
- **Windows XP の場合**
  Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
- **Windows 2000/NT4.0 の場合**
  ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

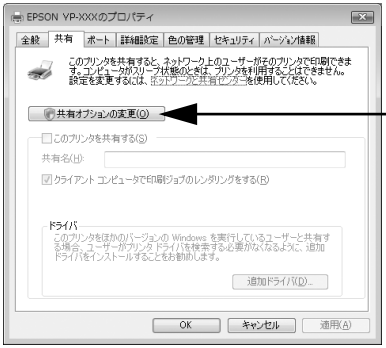
2 **お使いの機種のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。**



ポイント

- Windows XP で以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

- Windows Vista では、[共有] タブの [共有オプションの変更] をクリックし、[共有名] を入力できるようにしてください。



3 [共有する] / [このプリンタを共有する] を選択して、[共有名] を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

ポイント

- Windows Vista では、管理者権限のあるユーザーでログインし、プリンタ共有を設定してください。
- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。
- [代替ドライバ] / [ほかのバージョンのWindows のドライバ] は選択しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。次に、各クライアント側で設定してください。
☞ 本書 105 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

> 注意
> クライアントにプリンタドライバがインストールされていないときは、プリンタドライバをインストールしてからクライアントの設定を行ってください。

> ポイント
> Windows NT4.0/ 2000/XP/Vista の場合、管理者権限のあるユーザー（Administrators）でログオンする必要があります。

クライアントにインストールされているプリンタドライバのプロパティからプリンタの接続先をサーバのプリンタに変更します。「印刷先のポート」でネットワーク上のパスを指定したポートを追加し、そのポートに変更します。

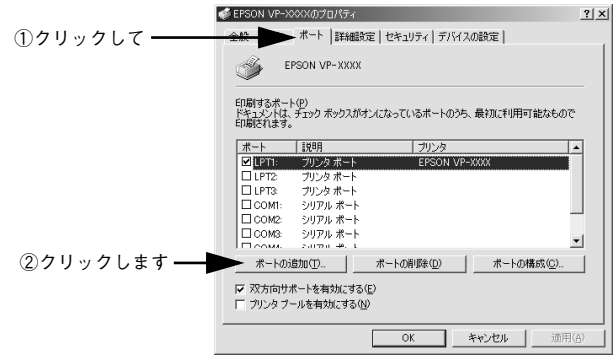
Windows NT4.0/2000/XP/Vista クライアントでの設定

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。**

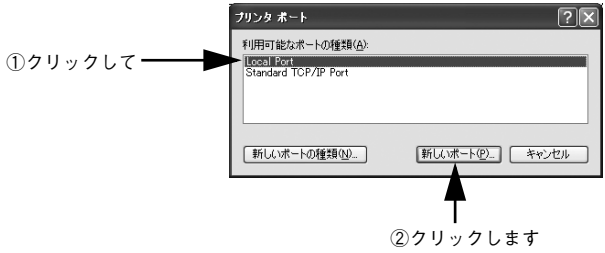
- Windows Vista の場合
  ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows NT4.0/2000 の場合
  ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows XP Professional の場合
  ［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合
  ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 **設定を変更するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］をクリックします。



4 ［プリンタポート］画面が表示されたら、[Local Port] を選択して［新しいポート］をクリックします。



5 ポート名を以下のように入力して [OK] をクリックします。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

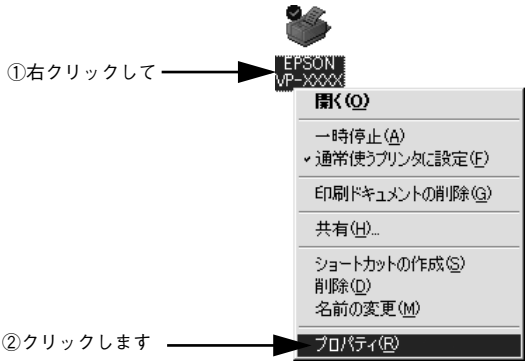
6 ［プリンタポート］画面に戻りますので［閉じる］をクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］をクリックします。

Windows 95/98/Me クライアントでの設定

1 Windows の［スタート］メニューから［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

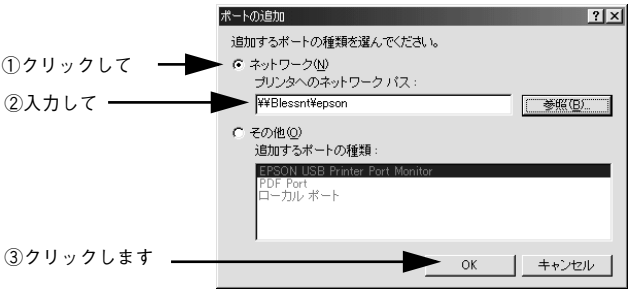
2 設定を変更するプリンタのアイコンを右クリックし、プロパティをクリックします。



3 [詳細] タブをクリックして [ポートの追加] をクリックします。

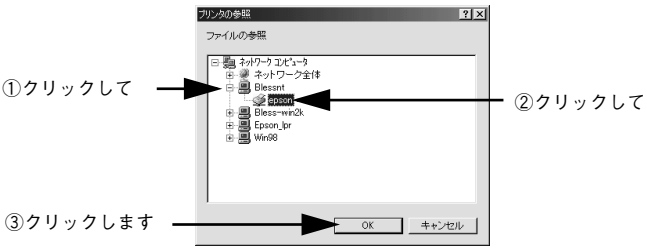
4 [ネットワーク] をクリックし、[プリンタへのネットワークパス] を以下のように入力して [OK] をクリックします。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

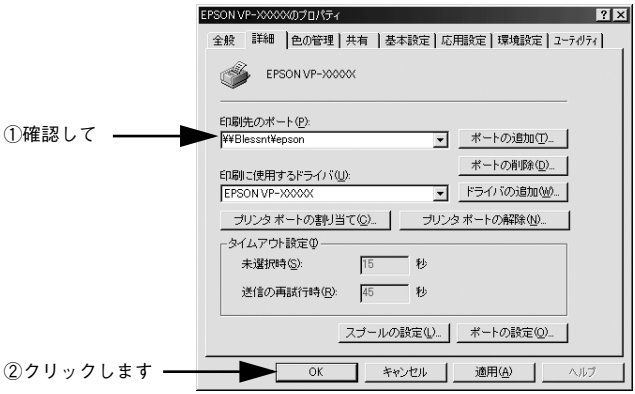


ポイント

ネットワークプリンタへのパスが分からないときは、[参照] をクリックして、目的のプリンタを探すことができます。



5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］をクリックします。



ポイント

サーバーとクライアントが同じ OS および同じアーキテクチャ（32bit と 32bit、64bit と 64bit）の場合は、以下の手順でも設定できます。

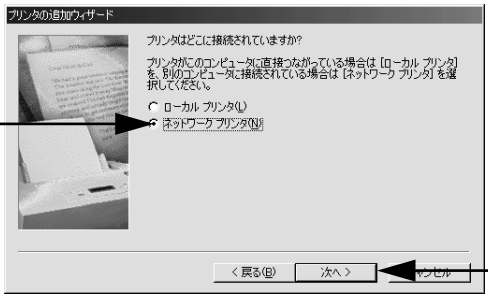
Windows 95/98/Me クライアントでの設定

Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

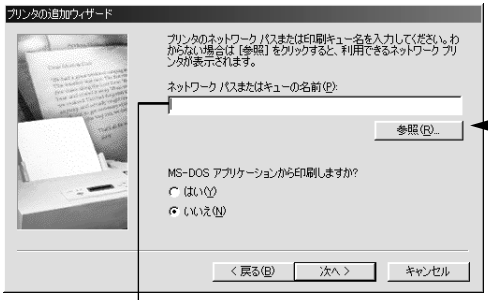
1 Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。



4 ［参照］ボタンをクリックします。
ご利用のネットワーク構成図が表示されます。



入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

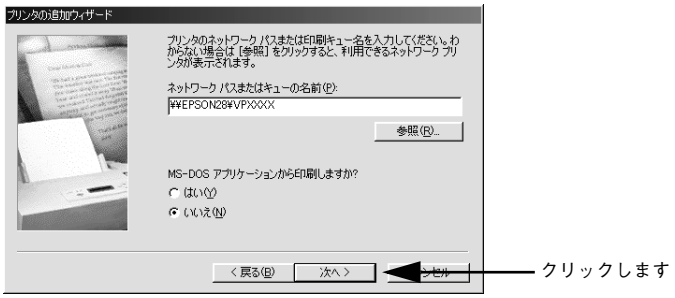
5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞

ポイント

プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。



ポイント

すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

7 サーバのプリンタドライバがクライアントにコピー（インストール）されます。

以上で終了です。

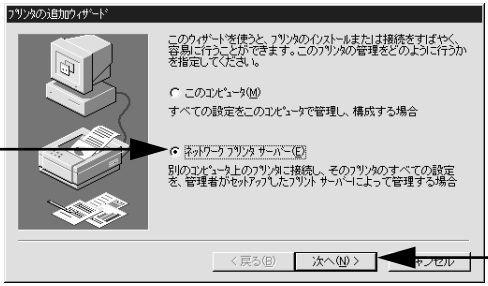
Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

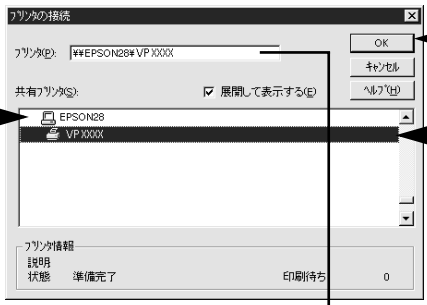
3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。



①クリックして

②クリックします

4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。



①プリンタを接続しているコンピュータ（またはサーバ）をダブルクリックして

②プリンタをクリックして

③クリックします

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

ポイント

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

5 サーバのプリンタドライバがクライアントにコピー（インストール）されます。

以上で終了です。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。**

- **Windows 2000 の場合**
  ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。
- **Windows XP の場合**
  Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとFAX］の順にクリックします。

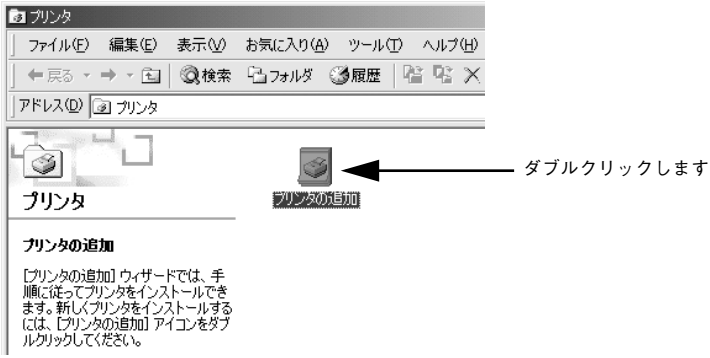
ポイント

Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。

2 プリンタの追加ウィザードを起動します。

- Windows 2000 の場合

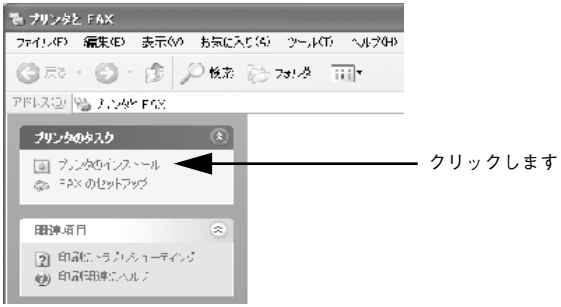
① [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。



② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。

- Windows XP の場合

① [プリンタのタスク] の [プリンタのインストール] をクリックします。

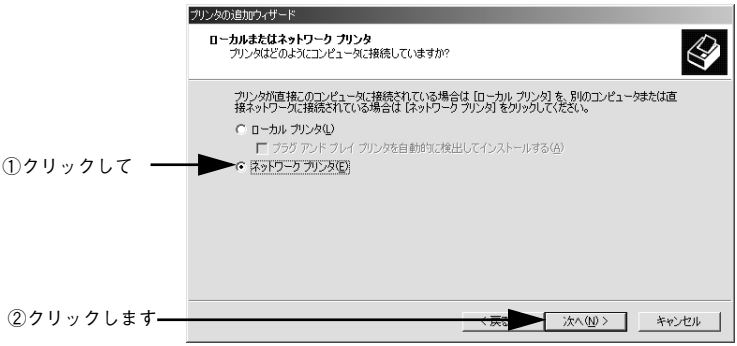


② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。

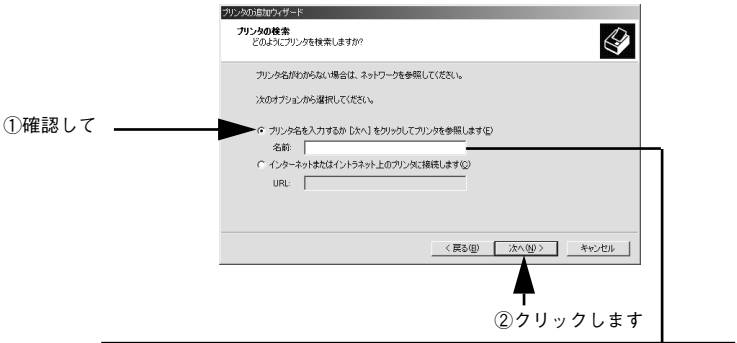
3 使用する共有プリンタを探します。

- Windows 2000 の場合

① [ネットワークプリンタ] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



② [プリンタ名を入力するか [次へ] をクリックしてプリンタを参照します] が選択されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。



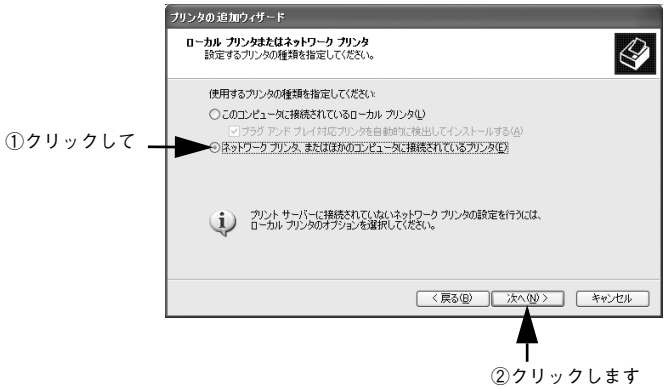
入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

ポイント

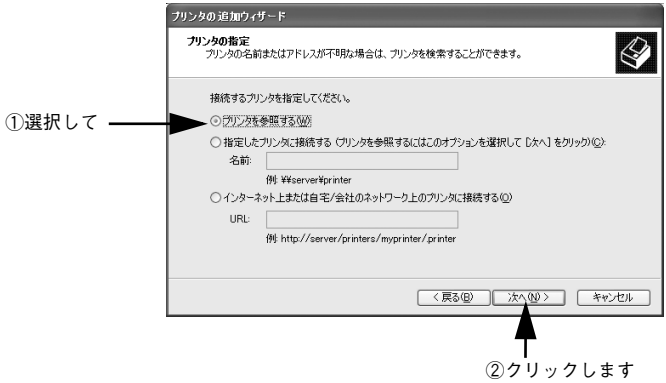
ネットワーク上のプリンタの場所がわかっている場合は［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

- Windows XP の場合

① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



② [プリンタを参照する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

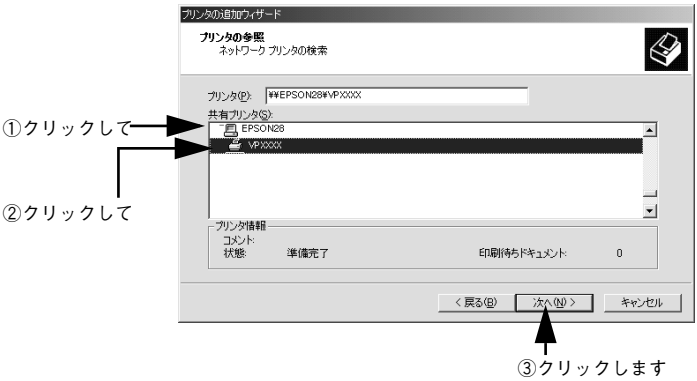


ポイント

ネットワーク上のプリンタの場所がわかっている場合は、[指定したプリンタに接続する] をクリックして [名前] ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 2000



ポイント

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

5 サーバのプリンタドライバがクライアントにコピー（インストール）されます。

以上で終了です。

Windows Vista クライアントでの設定

1. ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックして［プリンタ］を開きます。

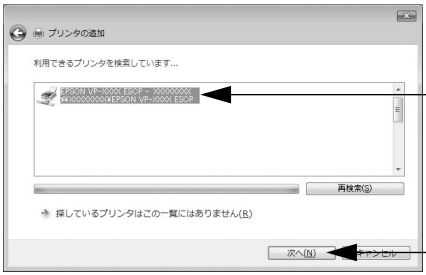
2. ［プリンタのインストール］をクリックします。

クリックします

3. ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。

クリックします

4. 共有プリンタが自動的に接続されます。共有プリンタのアイコンをクリックし、［次へ］をクリックします。

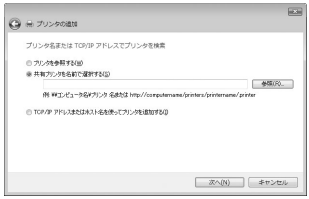


①クリックして

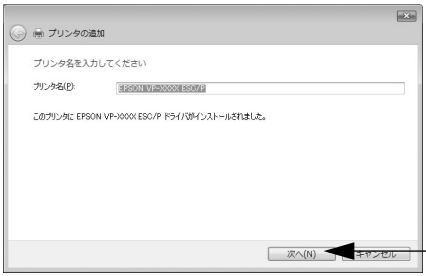
②クリックします

ポイント

共有プリンタが検索されないときは、[探しているプリンタはこの一覧にありません] をクリックします。以下の画面が表示されますので、手動で指定してください。

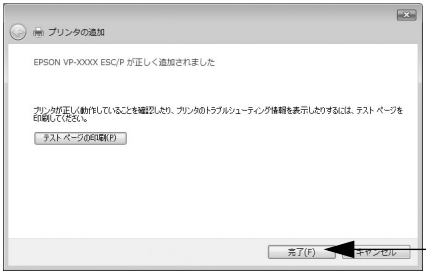


5 共有プリンタ名を確認し、[次へ] をクリックします。



クリックします

6 [完了] をクリックします。



クリックします

以上で終了です。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。パラレルケーブルで接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

> ポイント
>
> プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能を確認してください。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。**

- **Windows Vista の場合**
  ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。
- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**
  ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。
- **Windows XP の場合**
  Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 **設定を変更するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして設定を変更します。

変更後［OK］ボタンをクリックすると設定は終了です。

＜ Windows 95/98/Me ＞

＜Windows NT4.0/2000/XP ＞

> **ポイント**
>
> ここで説明する以外の項目については、通常設定変更の必要はありません。

① 印刷先のポート

プリンタを接続したポート (インターフェイス) を選択します。表示されるポートの種類は、ご利用のコンピュータによって異なります。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのポートに接続した場合は、LPT1 の設定でご使用ください。

PRN	EPSON PC シリーズ/NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRNが表示されない場合はLPT1 を選択します。
LPT	通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の LPT1 を選択します。
EPT	EPSON プリンタでは使用しません。
EPUSBx	Windows 98/Me 環境の USB ポートです。 EPSON USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます。（最後の x には数字が表示されます）。本機では使用しません。
USBx	Windows 2000/XP/Vista 環境の USB ポートです。（最後の x には数字が表示されます）。本機では使用しません。
FILE	印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。
¥¥ サーバ名¥プリンタ名など	ネットワーク上のパスを指定したポートです。パスによって指定されたネットワークプリンタに出力します。 ② ［ポートの追加］ボタンから新しく登録することができます。

② ［ポートの追加］
新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。
新しいネットワークパスの登録は以下の手順で行います。

Windows 2000/XP/Vista の場合

1. ［ポートの追加］をクリックします。
2. ［プリンタポート］画面が表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］をクリックします。
3. ポート名を以下のように入力して［OK］をクリックします。
   ¥¥ 目的のプリンタを接続しているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名
4. ［プリンタポート］画面に戻りますので［閉じる］をクリックします。

Windows 95/98/Me/NT4.0 の場合

1. ［ポートの追加］をクリックします。
2. ［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワークパス］を以下のように入力して［OK］をクリックします。
   ¥¥ 目的のプリンタを接続しているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

ポイント
ネットワークプリンタへのパスが分からないときは、［参照］をクリックして、目的のプリンタを探すことができます。

③ ［ポートの削除］
ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

プリンタソフトウェアの削除

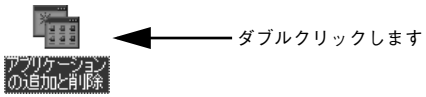
プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

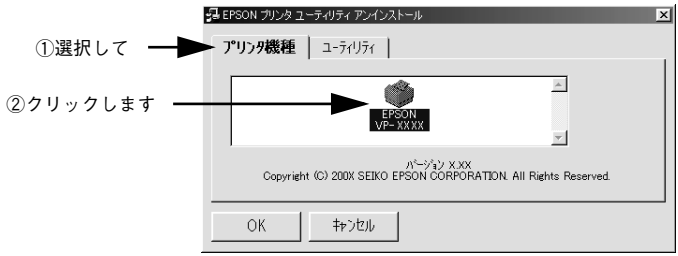
2. **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**
［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。

3. **［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。**
［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。



4. **［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックしてから［追加と削除］ボタンをクリックします。**

5 お使いの機種のアイコンを選択し、お使いの機種のアイコンを選択します。

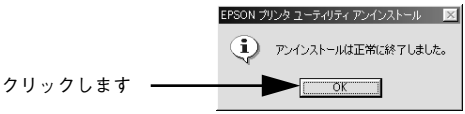


6 プリンタドライバの削除確認のメッセージで、[はい] ボタンをクリックします。
プリンタドライバの削除が始まります。

ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを [通常使うプリンタ] として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを [通常使うプリンタ] に設定します。メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

7 終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
以上でプリンタソフトウェアの削除（アンインストール）は終了です。



ポイント

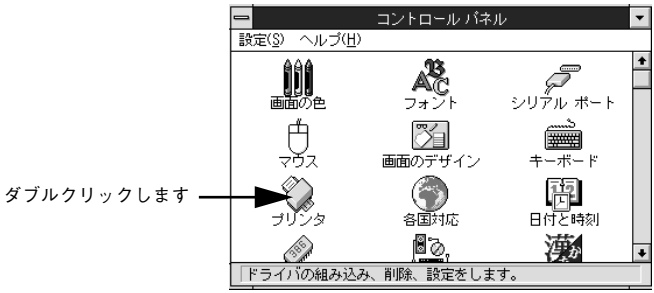
プリンタソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

Windows 3.1/NT3.5x

1. 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

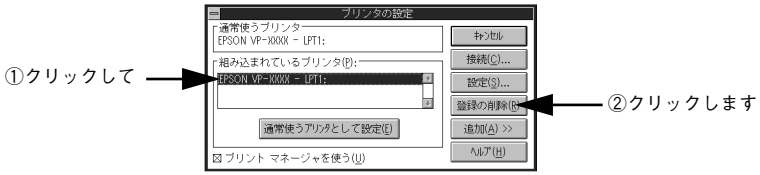
2. ［メイン］グループの［コントロールパネル］をダブルクリックして開きます。

3. ［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

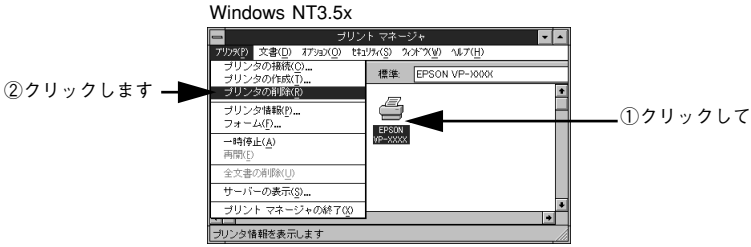


4. お使いの機種を選択して、プリンタを削除します。
Windows 3.1 をお使いの場合は、［登録の削除］ボタンをクリックします。
Windows NT3.5x をお使いの場合は、［プリンタの削除］ボタンをクリックします。

Windows 3.1



Windows NT3.5x



5. プリンタドライバの削除確認のメッセージで、［はい］ボタンをクリックします。
以上でプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ!2 の削除

「EPSON プリンタウィンドウ!2」を削除する場合は次の手順に従ってください。

> ポイント
>
> 他のソフトウェア（ウイルス検知プログラム等）が起動している場合は、各ソフトウェア取扱説明書を参照して停止させてから削除を行ってください。

1. 「EPSONプリンタウィンドウ!2を停止するには」に従ってEPSONプリンタウィンドウ!2を停止させます。
☞ 本書 73 ページ「EPSON プリンタウィンドウ!2 を停止するには」

2. ［スタート］ ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。

3. ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4. 「EPSON プリンタウィンドウ !2」をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックします。

この後は画面の指示に従って削除を進めます。

Windows XP（64bit）/Vista

ポイント

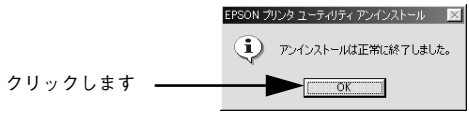
Windows XP（64bit）/Vista 上の EPSON プリンタウィンドウ !3 を、複数のユーザーで使用している環境で、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合は、すべてのユーザー環境において［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから削除してください。
☞本書 86 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

1. 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。
2. Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。
3. コントロールパネルで、Winodows XP の場合は［プログラムの追加と削除］、Windows Vista の場合は［プログラムのアンインストール］をクリックします。
4. 削除するソフトウェアを選択して削除します。
   - Windows XP の場合
     [EPSON プリンタドライバ･ユーティリティ]-[追加と削除]の順にクリックします。
   - Windows Vista の場合
     [EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ] -［アンインストールと変更］の順にクリックします。
5. プリンタドライバの削除確認のメッセージで、［はい］ボタンをクリックします。
   プリンタドライバの削除が始まります。

ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

6 終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



以上でプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。

> ポイント
> プリンタソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

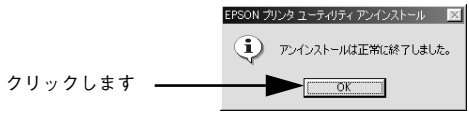
128 ページ手順 4 から続けて以下の手順を行ってください。

5 [プリンタ機種] タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

6 [ユーティリティ] タブをクリックし、[EPSON プリンタウィンドウ !3(VP-5200 用)] にチェックマークが付いていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。

7 削除確認のメッセージで、［はい］ボタンをクリックします。
削除が始まります。

8 終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



以上で終了です。

使用可能な用紙と給排紙

● 使用可能な用紙 132
● アジャストレバーの設定 149
● 微小送り 150
● 給紙経路の設定方法 153
● 連続紙のセット 154
● 単票紙のセット 165
● 複写紙、郵便ハガキ、紙ホチキス紙、
封筒、ラベル紙のセット 170
● 連続紙と単票紙の切り替え 172

使用可能な用紙

本機では一般的な連続紙や単票紙のほかに、複写紙、郵便ハガキ、封筒、ラベル紙などの用紙も使用できます。説明をよくお読みいただき正しい用紙をお使いください。

ポイント

給紙ミスや紙詰まりを防止するために以下のページを参照してください。
☞本書 207 ページ「用紙詰まりの予防」

連続紙（連続複写紙）

- 連続紙はフロントプッシュトラクタあるいはリアプッシュトラクタから給紙します。
- 上質紙*、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙、裏カーボン紙）を使用してください。
- フロントプッシュトラクタから給紙する場合、最大 8 枚（オリジナル＋7 枚）まで、リアプッシュトラクタから給紙する場合、最大 6 枚（オリジナル＋5 枚）の複写紙を使用することができます。
- スプロケット穴は真円形のものを使用してください。
- 再生紙は一般室温環境（温度 15 ～ 25℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- 連続紙をセットする手順については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

* 上質紙：上質紙や事務用普通紙（複写紙などで使用するもの）を総称して表記します。

注 意

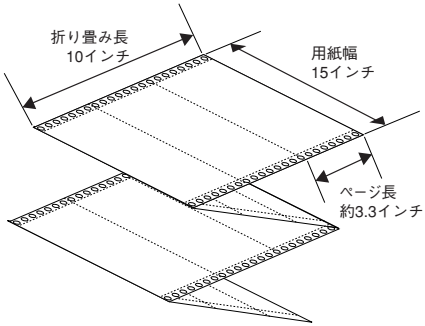
- 用紙の表面に、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちのない連続紙を使用してください。
- 印字領域内に穴などの段差がないものを使用してください。

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙
用紙幅	101.6 ～ 406.4mm｛4 ～ 16 インチ｝	
用紙折り畳み長	101.6mm 以上｛4 インチ以上｝	
用紙厚	0.06 ～0.1mm	0.12 ～0.65mm（前から給紙） 0.12 ～0.42mm（後ろから給紙）
用紙重量	40 ～ 70kg	34 ～70kg（1 枚当たり）
コピー枚数	—	フロントプッシュトラクタ：最大8 枚（オリジナル+7 枚） リアプッシュトラクタ: 最大6枚（オリジナル+5 枚）

ポイント

ページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）101.6mm｛4 インチ｝未満で使用する場合、用紙の折りたたみ長は 101.6mm｛4 インチ｝以上の用紙をお使いください。

図にはページ長 3 .3 インチ、折りたたみ長 10 インチの連続紙の例を示します。Windows ドライバでは「連続紙 15 × 10 inch（3 等分）」と表記される連続紙を選択してください。



用紙詳細

用紙の種類	枚数	連量（kg）*1	前から給紙	後ろから給紙	備考
1 枚紙	1	40,45,55,70	○	○	
ノンカーボン紙 *2	2	34,43,55,(70)	○	○	（ ）内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能
	3	34,43,(55,70)	○	○	
	4	34,(43,55,70)	○	○	
	5	34,(43,55)	○	○	
	[6]	34,(43,55)	○	○	
	[7]	34,(43,55)	○	—	
	[8]	34,(43,55)	○	—	
裏カーボン紙 *2	2	34,43,55,(70)	○	○	（ ）内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能
	3	34,43,(55,70)	○	○	
	4	34,(43,55,70)	○	○	
	5	34,(43,55)	○	○	
	[6]	34,(43,55)	○	○	
	[7]	34,(43,55)	○	—	
	[8]	34,(43,55)	○	—	
中カーボン紙 *3	2	34,43,(55,70)	○	○	
	3	34,(43,55,70)	○	○	
	[4]	34,(43,55)	○	—	

表中の○印は、前から給紙および後ろから給紙で使用できる連続紙を示します。
前から給紙ではフロントプッシュトラクタに、後ろから給紙ではリアプッシュトラクタに連続紙をセットします。

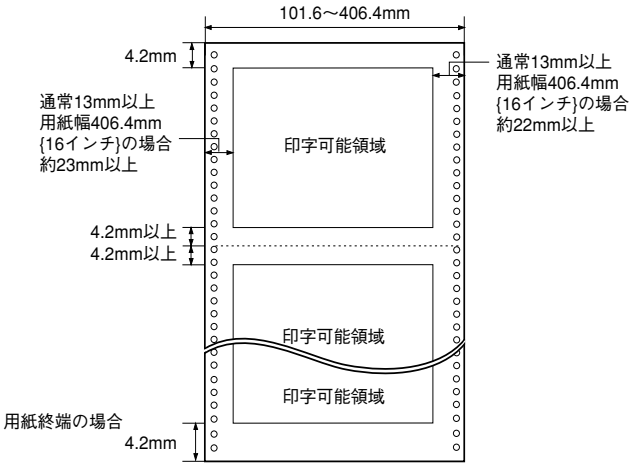
*1：連量は四六判（788 × 1091mm²）の用紙 1000 枚の重量を kg で表したものです。

*2：ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量はメーカーによって異なるため、表の数値にいちばん近い連量の用紙を選んでください。また［ ］で示す枚数の用紙は、サンプルによって使用可能であることを確認してから使用してください。

*3：中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙も用紙 1 枚として含めるため、でき上がり枚数は最大 4 枚までとなります。

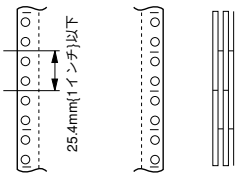
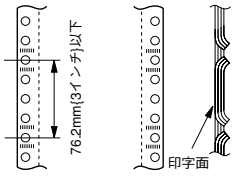
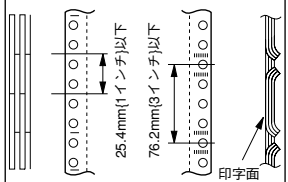
印字領域

以下の領域に印刷することができます。



連続複写紙の綴じ方

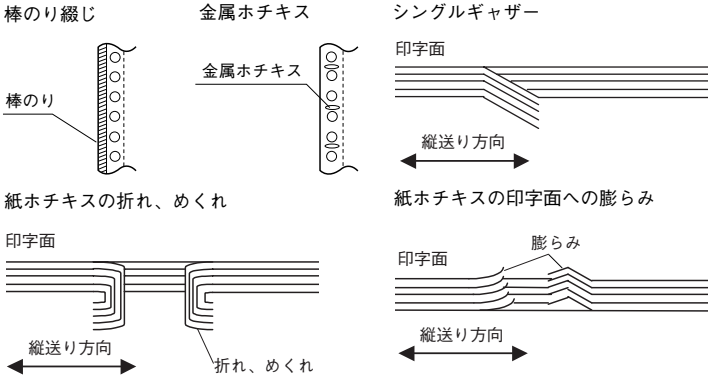
複写紙を使用する場合は、必ず以下の綴じ方の連続紙を使用してください。本機で最も推奨する綴じ方は両側点のり綴じ（千鳥綴じ）です。

名称	両側点のり綴じ（千鳥綴じ）	両側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）	片側点のり綴じ（千鳥）＋片側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）
綴じ方			

注 意

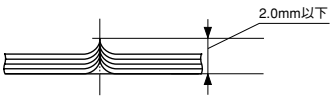
次の綴じ方をしている用紙や、折れ、めくれ、印字面への膨らみのある用紙は使用しないでください。

- 棒のり綴じ
- 金属ホチキス
- 紙ホチキス（シングルギャザー）
- 片側のみ綴じたもの（片側フリー）
- テープホチキス



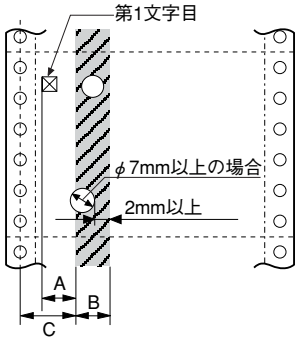
折り畳み部分のふくらみ

連続紙の折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、2.0mm 以下のものを使用してください。



綴じ穴の開け方

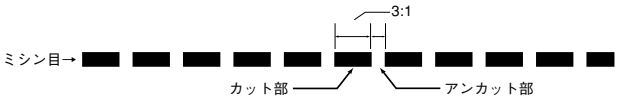
綴じ穴を開ける場合は次の基準に従ってください。
綴じ穴が斜線部の中に収まるときの穴の寸法は φ7mm 以下。
綴じ穴（穴寸法 φ7mm 以上）が斜線部にかかるときの斜線の残り幅は 2mm 以上。



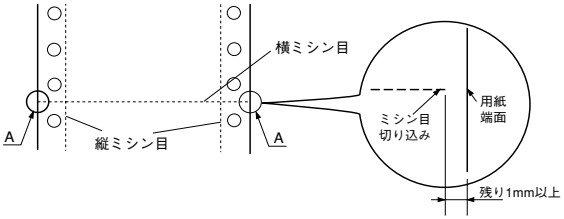
	A	B	C
フロント	30mm	10mm	—
リア	—	9mm	15.5mm

ミシン目の入れ方

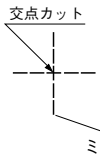
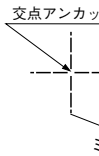
- ミシン目のカット、アンカットの比率は約 3:1 としてください。



- 横ミシン目の両端部 A のアンカット寸法は 1mm 以上としてください。

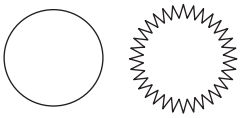


- 縦ミシン目と横ミシン目との交点はカットしないでください。

×：交点カット	○：交点アンカット
	

スプロケット穴の形状

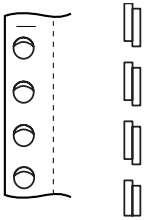
スプロケット穴は真円形のものを使用してください。



スプロケット穴の形状

注 意

スプロケット穴が次のようにずれているものは使用できません。



連続ラベル紙

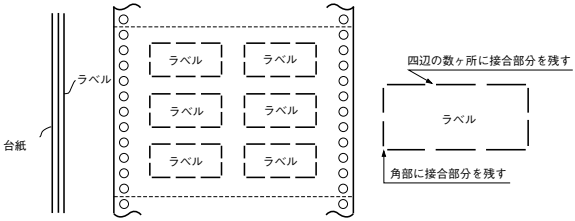
- プリンタ前面のフロントプッシュトラクタから給紙します。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- プリンタ背面からラベル紙を引き抜かないでください。
- 使用しないときは、プリンタから取り外してください。
- 台紙には印字しないでください。
- 自動ティアオフ機能は使用しないでください。
- ラベル紙表面は白色（反射率 60% 以上）で、染み、汚れ、しわ、カールのない上質紙であること。
- 連続ラベル紙については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 171 ページ「ラベル紙のセット」

項目	詳細
品質	上質紙
台紙折り畳み長	101.6mm以上｛4.0 インチ以上｝
用紙厚（台紙を含む）	0.2mm 以下（台紙との段差は 0.12mm 以下）
ラベル重量	45 ～ 70kg

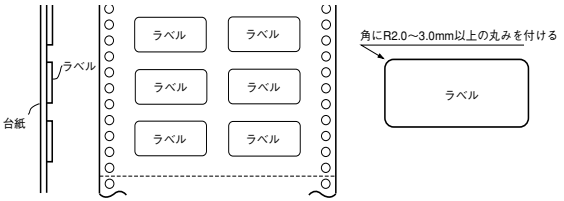
連続ラベル紙の種類

連続ラベル紙にはカストリ* なしの用紙とカストリありの用紙があります。カストリなし用紙を使用することをお勧めします。

- 台紙全体がシールに覆われているラベル紙（カストリなし）

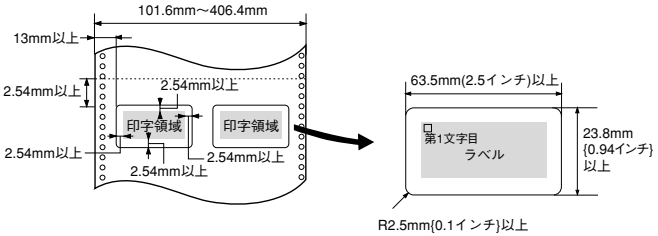


- 台紙全体がシールに覆われていないラベル紙（カストリあり）
ラベルの角にR2.0～3.0mm以上の丸みが付いているラベル紙を使用してください。



* カストリ：ラベル以外の粘着シールをはぎとること。

印字領域と使用可能なラベルサイズ



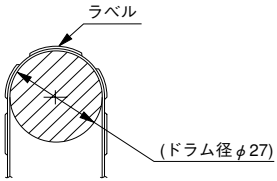
注 意

- ラベル紙を取り外すときは、フロントプッシュトラクタの位置で切り離してから、必ず［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙してください。［給紙 / 排紙］スイッチは使用しないでください。ラベルが台紙からはがれてプリンタ内部に貼り付くことがあります。
- ティアオフ機能は使用しないでください。ラベル紙が後方に送られるときに、ラベルがはがれてプリンタ内部に貼り付くことがあります。
- ラベル紙をプリンタに取り付けたまま放置しないでください。丸まって用紙がつまることがあります。

ポイント

次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径 ：φ27mm
巻付角度 ：180˚
巻付時間 ：24 時間
周囲温度 ：40 ℃
周囲湿度 ：30%



単票紙（単票複写紙）

- 用紙ガイド（上 / 前）、またはカットシートフィーダ（オプション）から給紙します。
- 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙、裏カーボン紙）を使用してください。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- 最大幅 420mm（A3 横相当）の用紙まで使用できます。ただし最大印字桁数は 136 桁（345mm）ですので、左右マージン（余白部）が多くなります。
- 用紙ガイド（前）から給紙する場合、最大 8 枚（オリジナル＋ 7 枚）、用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダ（オプション）から給紙する場合最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）までの複写紙を使用することができます。
- 裏カーボン紙は用紙ガイドまたはカットシートフィーダから給紙してください。
- ミシン目の入った用紙は使用できません。
- 単票紙をセットする手順については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙
用紙幅	92 ～ 420mm（3.6 インチ～ A3 横）（用紙ガイド（前）/（上）） 100 ～ 420mm（3.9 インチ～ A3 横）（カットシートフィーダ（オプション））	
用紙長	90 ～ 420mm（3.5 インチ～ A3 縦）（用紙ガイド（前）/（上）） 100 ～ 364mm（3.9 インチ～ B4 横）（カットシートフィーダ（オプション））	
用紙厚	0.05 ～ 0.1mm（用紙ガイド（前）） 0.06 ～ 0.1mm（用紙ガイド（上）） 0.08 ～ 0.1mm（カットシートフィーダ（オプション））	0.12 ～ 0.65mm（用紙ガイド（前）） 0.12 ～ 0.42mm（用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダ（オプション））
コピー枚数	—	用紙ガイド（前）：最大 8 枚（オリジナル＋ 7 枚） 用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダ（オプション）：最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）
用紙重量	30 ～ 70kg（用紙ガイド（前）） 40 ～ 70kg（用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダ（オプション））	34 ～ 70kg（1 枚当たり）

使用できる定形用紙

用紙サイズ 単位 mm	B4 257X364	B5 182X257	B6 128X182	A3 297X420	A4 210X297	A5 148X210	A6 105X148
用紙ガイド（前）	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長
用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダ（オプション）	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長	縦長, 横長

*：B4 横より幅の広い単票用紙を使用するときは、左のエッジガイドをマークより左に寄せて使用してください。最大印字桁数は 136 桁ですので、用紙によっては左右マージン（余白部分）が多くなります。

用紙詳細

用紙の種類	枚数	連量（kg）*1	前から給紙	上から給紙	備考
1 枚紙	1	[30]	○	—	[30]の用紙幅は254mm{10 インチ} 以下
		40,45,55,70	○	○	
ノンカーボン紙 *2	2	34,43,55,(70)	○	○	（ ）内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能
	3	34,43,(55,70)	○	○	
	4	34,(43,55,70)	○	○	
	5	34,(43,55)	○	○	
	[6]	34,(43,55)	○	○	
	[7]	34,(43,55)	○	—	
	[8]	34,(43,55)	○	—	
裏カーボン紙 *2	2	34,43,55,(70)	○	○	（ ）内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能
	3	34,43,(55,70)	○	○	
	4	34,(43,55,70)	○	○	
	5	34,(43,55)	○	○	
	[6]	34,(43,55)	○	○	
	[7]	34,(43,55)	○	—	
	[8]	34,(43,55)	○	—	

表中の○印は、前から給紙および上から給紙で使用できる単票用紙を示します。
前から給紙では用紙ガイド（前）に、上から給紙では用紙ガイド（上）に単票用紙をセットします。

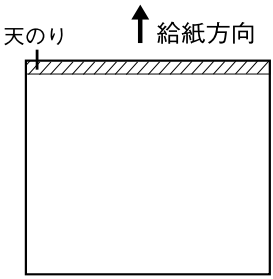
*1：連量は四六判（788 × 1091mm^2）の用紙 1000 枚の重量を kg で表したものです。

*2：ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量はメーカーによって異なるため、表の数値にいちばん近い連量の用紙を選んでください。また［ ］で示す枚数の用紙は、サンプルによって使用可能であることを確認してから使用してください。

単票複写紙の綴じおよび給紙方向

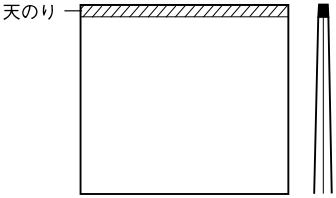
用紙の上端全面がのり付けされた用紙を使用してください。また、給紙方向で指定する方向に給紙してください。

単票複写紙（天のり）



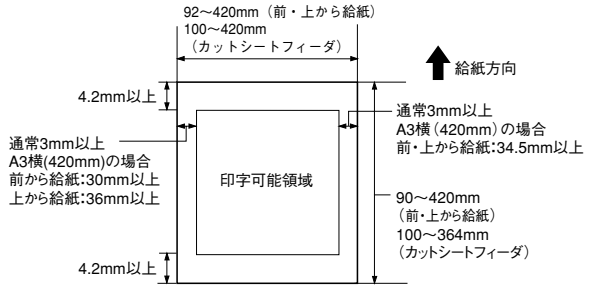
注 意

- 単票複写紙は、天のり綴じの用紙を使用してください。



- 綴じののり付けは、用紙一端面全面にあるものを使用してください。
- のり付け部が波打ったり硬くなったりしていないものを使用してください。

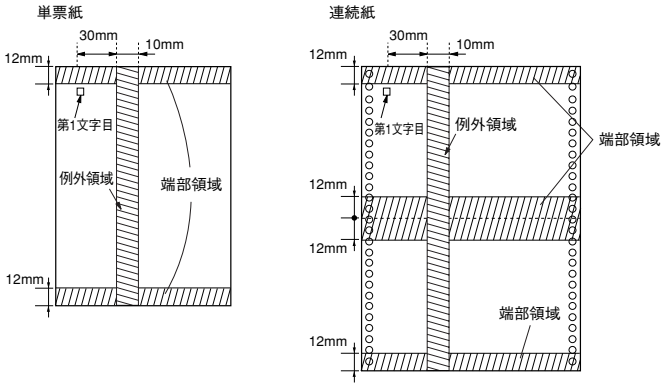
印字領域



プレプリント紙

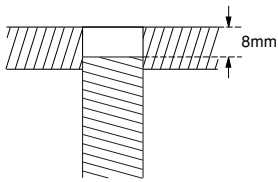
単票紙、単票複写紙、連続紙などの用紙面に、あらかじめ罫線や文字や図形など（規定書式）の印刷を行なうことをプレプリントといいます。
プレプリントでは、光反射率 60% 以下の色（例えば黒）の使用を制限する次の領域があります。詳細は、下図を参照してください。

- 端部領域：用紙（ページ）の上端・下端 12mm の部分（例外領域の幅 10mm を除く）
- 例外領域：用紙中央の幅 10mm の部分

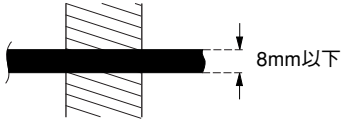


やむを得ず例外領域にかかるプレプリントをするときは、次のようにしてください。

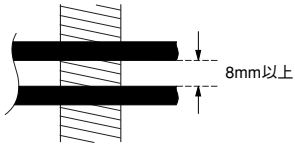
■例外領域の用紙（ページ）の端から 8mm までの部分にはプレプリントしないでください。
ただし、印刷する線の太さが 0.5mm 以下のときは、用紙の端部から 4mm の部分にプレプリントしないでください。



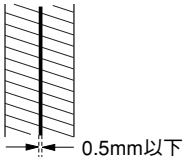
■横線の太さは 8mm 以下にしてください。



■隣合う横線の太さが 0.5 ～8mm のときは、あいだを 8mm 以上あけてください。
ただし、隣合う横線の太さが 0.5mm 以下のときは、あいだを 4mm 以上あけてください。



■縦線の太さは 0.5mm 以下とし、線の数は 1 本のみとしてください。



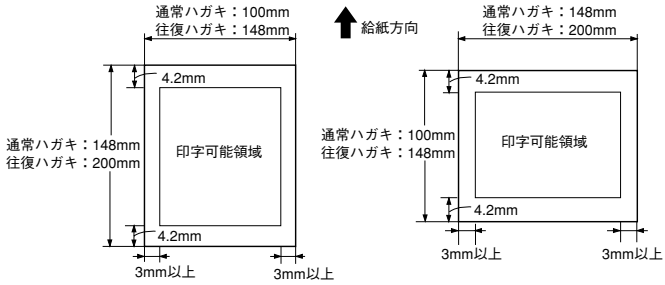
- パンチ穴なども、光反射率 60% 以下の色と同様になりますので、制限領域への穴あけは避けてください。
- プレプリントした用紙をお使いになる前に、サンプルを使ってプリンタでの印刷が可能であることをお確かめください。
- 自動紙幅検知機能がオフの時は、端部領域の制限はなくなり、例外領域の制限のみとなります。この時、用紙幅を越えた印刷をすると、用紙やプリントヘッドやインクリボンを損傷する恐れがあります。アプリケーションソフト上での印刷領域を確かめて、用紙からはみ出した印刷をしないように注意してください。

ハガキ

- 用紙ガイド（前）、またはカットシートフィーダ（オプション）から給紙します。
- 郵便ハガキ（通常ハガキまたは郵便往復ハガキ）を使用してください。
- 郵便往復ハガキは用紙中央に折り目がないものを使ってください。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- はがきをセットする手順は、単票紙と同じです。以下のページを参照してください。
  本書 165 ページ「単票紙のセット」

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ（通常ハガキ）	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.23mm 以下	
用紙重量	165kg 相当	

印字領域



注 意

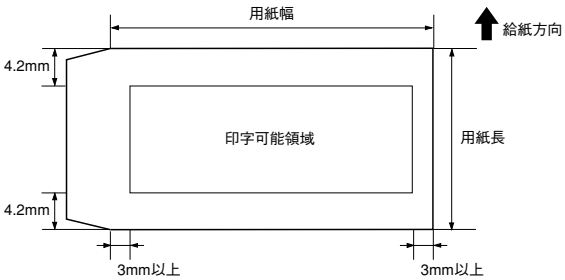
- ハガキに印刷する前に、ハガキサイズの用紙で試し印刷をして、印刷位置を確かめてから実際にハガキへ印刷してください。
- アプリケーションソフトを使用してハガキに印刷するときは、給紙位置の調整が必要です。
- 原則として郵便ハガキを使用してください。私製ハガキは図の寸法に従ったサイズのハガキを使用してください。
- ハガキは染み、ピンホール、汚れ、しわ、反りや毛羽立ちがない上質紙を使用してください。
- 往復ハガキは用紙中央に折り目がないものを使用してください。

封筒

- 用紙ガイド（前）から給紙します。
- 定形の封筒（長形 4 号、長形 3 号、角形 3 号、角形 2 号）を使用してください。
- クラフト紙あるいはケント紙を使ってください。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- 封筒をセットする手順については以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 171 ページ「封筒のセット」

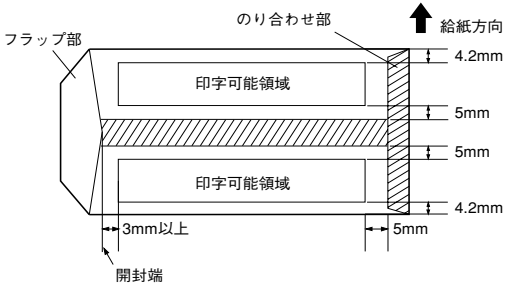
項目	詳細			
品質	クラフト紙、ケント紙			
用紙幅	205mm	235mm	277mm	332mm
用紙長	90mm	120mm	216mm	240mm
用紙厚	0.35mm 以下			
用紙連量	50 ～ 80g/m^2			

印刷領域



注 意

- 切手、シールなどを貼りつけた封筒は使用しないでください。
- フラップ部を広げたまま給紙してください。
- 封筒の裏面での印字可能領域には、制約がありますので注意してください。
- 封筒のり合わせ部（斜線部）の上およびその周辺 5mm 以内への印刷はしないでください。
- 開封端から 3mm の領域には印刷しないでください。
- フラップ部などがのりづけ加工された封筒は使用しないでください。



保存するときは

- 用紙は直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 用紙は常に水平に保管してください。
- 用紙は風通しのよい冷暗所に保管してください。乾燥しすぎた用紙または湿った用紙の給紙は、正しく行われないことがあります。

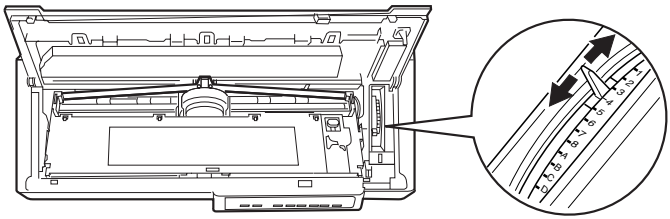
アジャストレバーの設定

通常、自動紙厚調整は［オン］に設定されているためアジャストレバーの設定は不要です。印字が薄かったり印字濃度がばらつく場合には自動紙厚調整を［オフ］に設定し、給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。

1 **プリンタの設定項目［自動紙厚調整］を［OFF］に設定します。**

☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

2 **プリンタカバーを開け、アジャストレバーを調整します。**



用紙の種類・枚数		アジャストレバーの設定値*
1 枚紙		1
複写紙	2 枚	2
	3 枚	3
	4 枚	4
	5 枚	5
	6 枚	6
	7 枚	7
	8 枚	8
ハガキ		4
封筒		2 ～ 8

*：リボンカートリッジを交換するときや詰まった用紙を取り除くときは、アジャストレバーを D にセットしてください。

注 意

- 特殊紙に印刷する場合は、印字領域に注意してください。ソフトウェアで印字領域を設定する際は、必ず印字可能領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印字可能領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- 上記の表は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

微小送り

単票紙や連続紙の用紙カット位置、給紙位置を微調整するときは、微小送り機能を使用します。微小送り機能では、1/180 インチ（0.14mm）単位で前後両方向に用紙を動かすことができます。
調整した給紙位置と用紙カット位置は、給紙装置ごとに独立したプリンタのメモリに記憶されます。［電源］スイッチをオフにしても設定した内容は保持されます。

ポイント

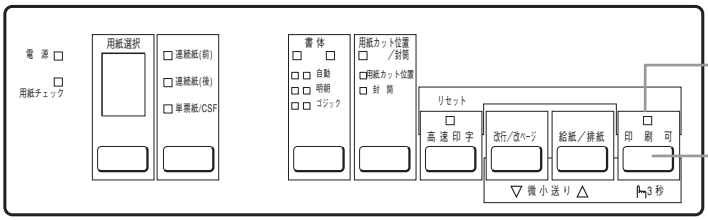
- 印刷結果を見て、微小送りで印刷位置を合わせることもできます。プレプリントされている枠線などに合わせて印刷する場合に便利です。❷ から始めてください。ただし、カットシートフィーダ（オプション）使用時の調整範囲は用紙の上端から 8.5mm（1/3 インチ）までとなります。
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の微調整はできません。
- Windows や Macintosh のプリンタドライバ経由で印刷している場合は、アプリケーションソフトのマージン設定で調整してください。

❶ **給紙位置または用紙カット位置の調整の準備をします。**

- 給紙位置を調整する場合は、用紙を給紙します。
- 用紙カット位置を調整する場合は、自動ティアオフ機能を使用して連続紙のミシン目を用紙カット位置へ送ります。これより上端方向には設定しないでください。

❷ **［印刷可］スイッチを３秒以上押します。**

ブザーが鳴るまで［印刷可］スイッチを押します。［印刷可］スイッチを離すと印刷可ランプが点滅します。



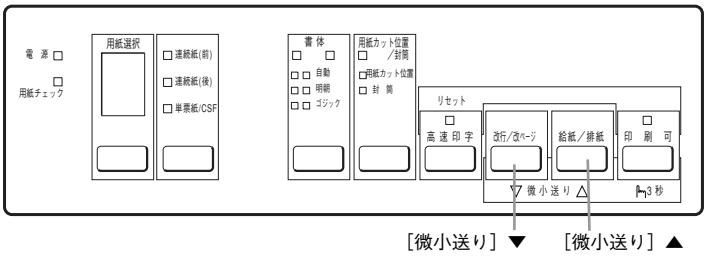
ポイント

印刷可ランプが消灯または点灯しているときは微小送りできません。［印刷可］スイッチを押して、印刷可ランプを点滅させてください。

3 **［微小送り］スイッチを押し、位置を合わせます。**

［▲］スイッチを押すと、排紙側へ進みます。

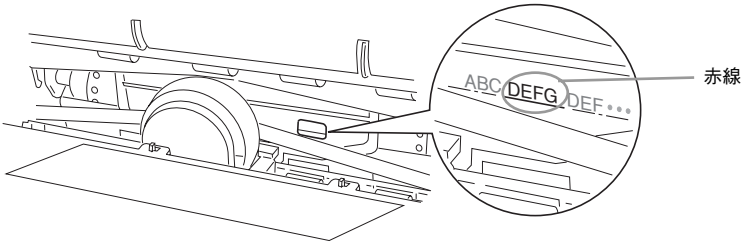
［▼］スイッチを押すと、給紙側へ戻ります。



4 **用紙位置を確認します。**

給紙位置あるいは印刷位置を調整するときは、プリントヘッドの表示（図の赤線）を目安として合わせます。

用紙カット位置を調整するときは、ミシン目をペーパーカッターに合わせてください。



⚠注意

- プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。
- プリンタカバーは印刷前に、必ず閉めてください。

ポイント

- 微調整できる範囲は次の通りです。
  給紙位置：
  4.2 ～ 33.9mm（工場出荷時の基準位置は 8.5mm）
  用紙カット位置：
  ー 25.4 ～十 25.4mm（工場出荷時の基準位置は 0mm）
- 給紙位置または用紙カット位置を微調整するとき、前後どちらの方向に用紙を動かしても、途中でブザーが鳴り一旦停止する位置があります。これは基準位置ですので微調整時の目安としてください。また、前後どちらの方向にも微調整できる限度があります。上限あるいは下限に達するとブザーが鳴り、用紙はそれ以上動かなくなります。
- カットシートフィーダ（オプション）での微調整の場合、用紙上端への紙送り（逆送り）量は 8.5mm までとなります。8.5mm を越えて微調整をするときは、ブザーが鳴ったら用紙を排紙して新たに給紙し、微調整してください。

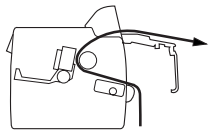
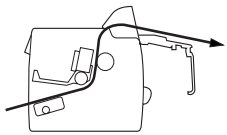
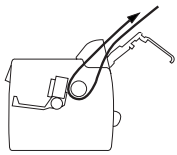
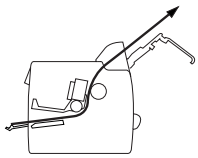
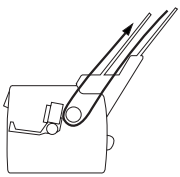
5 **［印刷可］スイッチを押します。**

用紙は給紙位置へ戻ります。微調整した給紙位置および用紙カット位置はプリンタのメモリに記憶されます。［電源］スイッチをオフにしても設定した内容は保持されます。

給紙経路の設定方法

本機は、プリンタの前後、上に給紙装置を備え、マルチウェイローディング機構により連続紙をセットしたままの状態で単票紙を給紙することができます。
操作パネル上のスイッチまたはお使いのコンピュータから設定することにより、連続紙と単票紙を切り替えることができます。

使用する用紙と給紙経路

用紙	給紙経路	操作パネル上の用紙選択	給紙方法
連続紙	後ろから給紙 	連続紙（後）	リアプッシュトラクタから連続紙を給紙します。
	前からの給紙 	連続紙（前）	フロントプッシュトラクタから連続紙を給紙します。
単票紙	上からの給紙 	単票紙 /CSF	用紙ガイド（上）から用紙を手差し給紙します。
	前からの給紙 	単票紙 /CSF	用紙ガイド（前）から用紙を手差し給紙します。
	CSF 	単票紙 /CSF	カットシートフィーダ(オプション)から用紙を自動給紙します。

連続紙のセット

本機は、一般的な連続紙のほかに、連続複写紙、連続ラベル紙を使用することができます。

操作上のご注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、連続紙がプリンタ内に給紙された状態で、トラクタから用紙を外して引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、［給紙 / 排紙］スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオフのとき、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

連続紙のセット

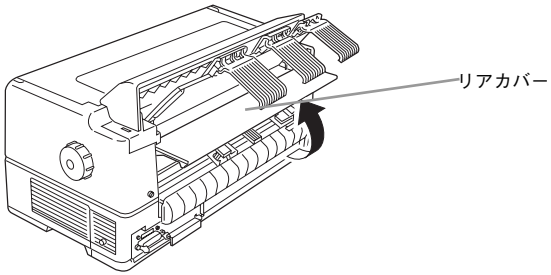
連続紙はフロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタから連続紙を給紙します。

プリンタケーブルやプリンタ台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を配置してください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

後ろからの給紙

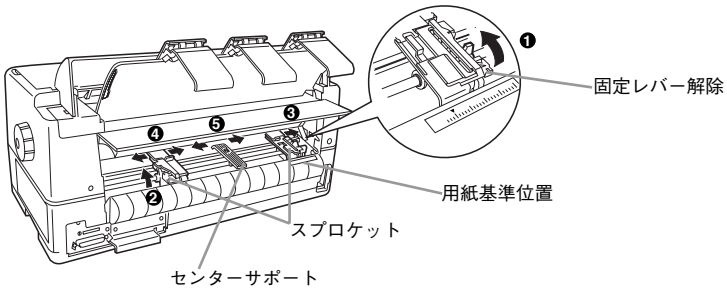
1. **［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。**
   ［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

2. **リアカバーを開けます。**



3 **左右のスプロケットの固定レバーのロックを解除し、スプロケット位置を調整します。**

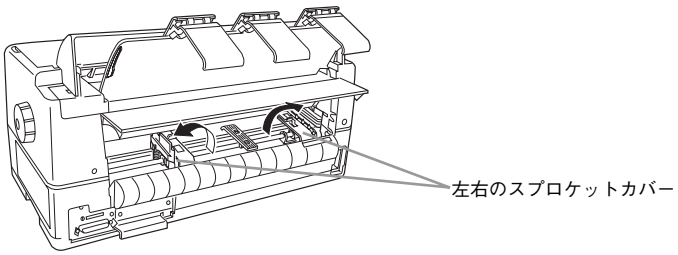
- 左右のスプロケットの固定レバーを矢印の方向に倒して解除します。
- 右側のスプロケットを右端まで移動し、固定レバーをロックします。
- 左側のスプロケットを使用する用紙の幅に合わせます。
- センターサポートを左右のスプロケットの中央に合わせます。



ポイント

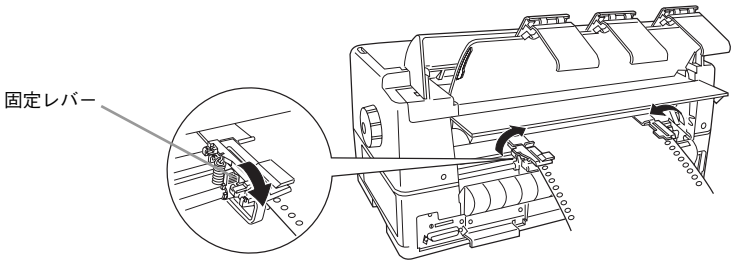
右側のスプロケットの下側にある▼印は、印字開始位置を示します。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合はスプロケットの位置を再調整してください。

4 **左右のスプロケットカバーを開けます。**



5 **用紙をセットし、スプロケットを固定します。**

- 印刷する面を下にして用紙をセットします。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせます。
- 右側のスプロケットのカバーを閉じてから、左側のスプロケットを移動して用紙のたるみを取り除きます。
- 固定レバーを手前に倒してロックします。



注 意

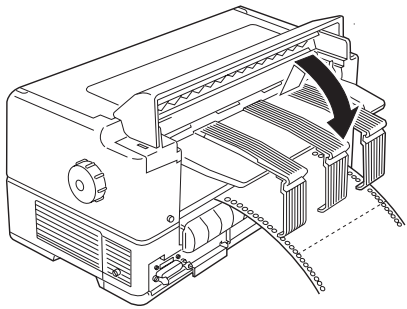
スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。

注 意

用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。

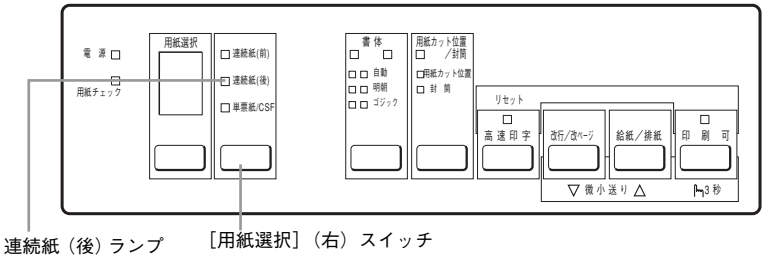
- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
- 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
- ミシン目が切れかかっていないこと

6 **リアカバーを閉じ、用紙ガイド（上）を倒します。**



7 **［電源］スイッチをオンにしてから、［用紙選択］（右）スイッチを押して「連続紙（後）」に設定します。**

連続紙（後）ランプが点灯します。



ポイント

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

8 **［給紙 / 排紙］スイッチを押して給紙します。**

注 意

- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、［電源］スイッチをオフにしてから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。
- プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

9 **［印刷可］スイッチを押します。**

印刷可ランプが点灯し、印刷可能な状態になります。印刷データを受信すると印刷します。

注 意

印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーが開くと、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ、プリンタの［電源］スイッチをオフにし、5 秒以上経過してから再度［電源］スイッチをオンにしてください。

ポイント

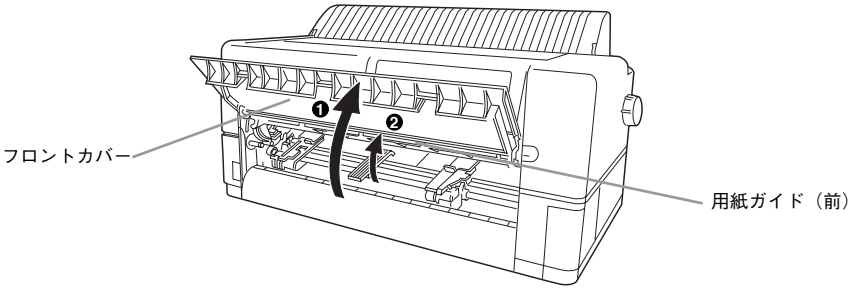
- 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
  ☞本書 178 ページ「設定値を変更する」
- 用紙ガイドのエッジガイドを左右両端へ移動してください。
- 印刷する前に、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
  ☞本書 178 ページ「設定値を変更する」
- ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  ☞本書 162 ページ「ティアオフ機能」

前からの給紙

1 **［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。**

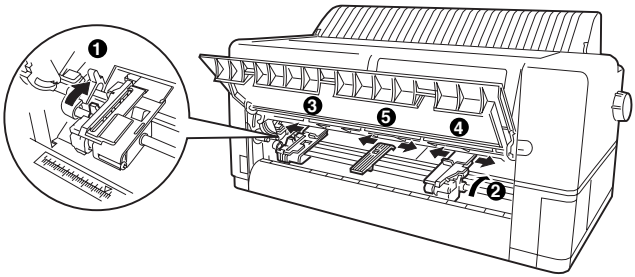
［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

2 **フロントカバーを開けてから用紙ガイド（前）を上げます。**



3 **左右の固定レバーのロックを解除し、スプロケット位置を調整します。**

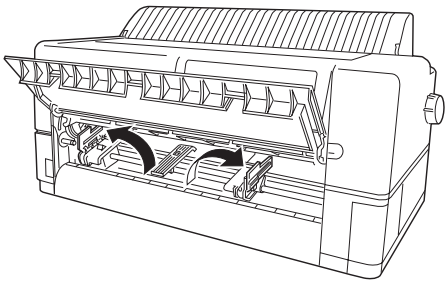
- 左右のスプロケットの固定レバーを矢印の方向に倒して解除します。①②
- 左側のスプロケットを左端まで移動し、固定レバーをロックします。③
- 右側のスプロケットを使用する用紙の幅に合わせます。④
- センターサポートを左右のスプロケットの中央に合わせます。⑤



ポイント

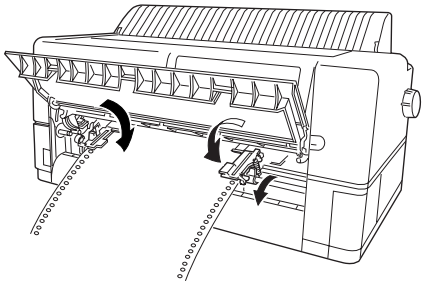
左側のスプロケット下側にある▼印は、印字開始位置を示しています。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、スプロケット位置を再調整してください。

4 左右のスプロケットカバーを開けます。



5 用紙をセットし、スプロケットを固定します。

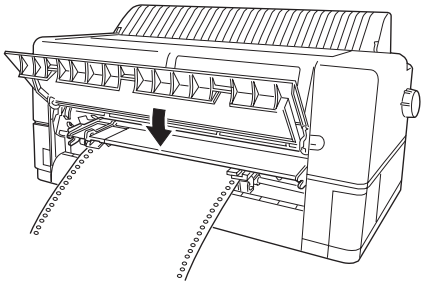
- 印刷する面を上にして用紙をセットします。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせます。
- 左右のスプロケットのカバーを閉じてから、右側のスプロケットを移動して用紙のたるみを取り除きます。
- 固定レバーを手前に倒してロックします。



注 意

- スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。
- 用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。
  - スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
  - 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
  - ミシン目が切れかかっていないこと

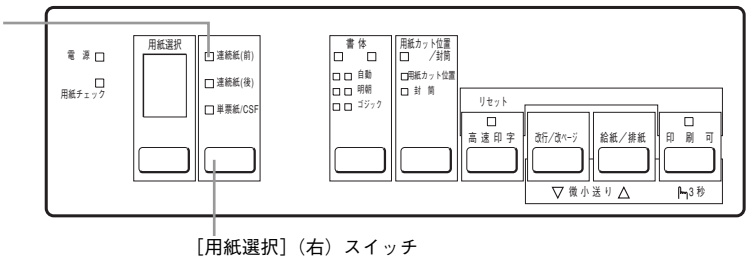
6 **用紙ガイド（前）を下げます。**



7 **フロントカバーを閉じます。**

8 **［電源］スイッチをオンにしてから、［用紙選択］（右）スイッチを押して「連続紙（前）」に設定します。**

連続紙（前）ランプが点灯します。



> **ポイント**
>
> 用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

9 **［給紙／排紙］スイッチを押して給紙します。**

> **注意**
>
> - 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
> - 連続紙が斜めに給紙された場合は、［電源］スイッチをオフにしてから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。
> - プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

10 **［印刷可］スイッチを押します。**

印刷可ランプが点灯し、印刷可能な状態になります。印刷データを受信すると印刷します。

連続ラベル紙の排紙

連続ラベル紙は以下の手順で切り離します。ティアオフ機能（[用紙カット位置 / 封筒] または［給紙 / 排紙 ］スイッチ）は使用しないでください。

［用紙カット位置 / 封筒］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどして連続ラベル紙をフロントカバー側から引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。連続ラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙してください。

排紙方法

1. ［改行 / 改ページ］スイッチを押します。
2. 用紙ガイドカバーより上のミシン目の位置で、連続ラベル紙を切り離します。

プリンタから取り外す方法

1. フロントカバーより手前で、連続ラベル紙を切り離します。
2. ［改行 / 改ページ］スイッチを押して、連続ラベル紙を排紙します。

ティアオフ機能

連続紙を簡単かつ無駄なく切り離したいときは、ティアオフ機能を使います。ティアオフ機能を使うと印刷終了後に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り出すことができます。印刷済みの連続紙はプリンタカバーのペーパーカッターでミシン目を簡単に切り離すことができます。印刷を再開するときは連続紙を印刷開始位置まで戻しますので、連続紙が無駄になりません。

ティアオフ機能には手動ティアオフと自動ティアオフがあります。
手動ティアオフは、印刷終了後に［用紙カット位置 / 封筒］スイッチを押すと、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送ります。
自動ティアオフは、自動ティアオフを［ON］に設定すると、印刷の終了時に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで自動的に送ります。自動ティアオフ機能の初期設定は［OFF］に設定されています。初期設定を変更するときは、以下のページを参照してください。
☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

ラベル紙に印刷するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。

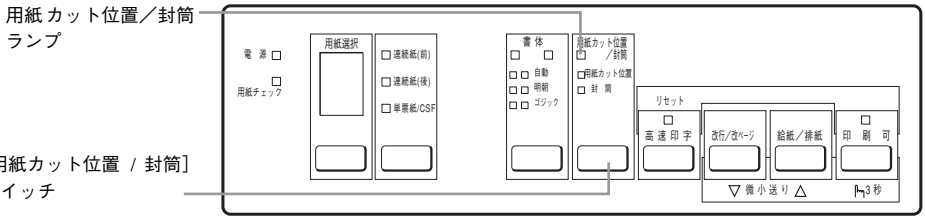
- ティアオフ機能は、設定したページ長（初期設定：11 インチ）を元に連続紙を送ります。使用する連続紙に合わせてプリンタドライバまたはプリンタ設定値のページ長を正しく設定してください。
- Windows で使用する場合は、プリンタドライバのページ長設定が有効となります。使用する連続紙に合ったページ長の用紙を選択してください。

手動ティアオフ

手動操作で連続紙を用紙カット位置に送り、給紙位置へ戻します。

1 印刷が終了し、連続紙が用紙カット位置にないときは［用紙カット位置 / 封筒］スイッチを押します。

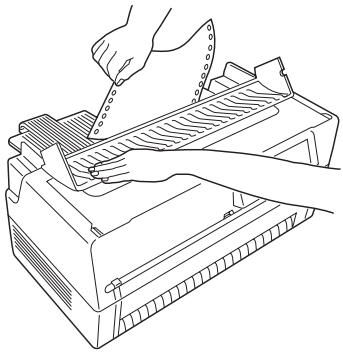
連続紙のミシン目が用紙カット位置まで送られ、用紙カット位置／封筒ランプが点滅します。



> **ポイント**
> ミシン目が用紙カット位置に合わない場合、［印刷可］スイッチを 3 秒以上押してから［微小送り］スイッチを押して調整してください。
> ☞本書 150 ページ「微小送り」

2 連続紙をミシン目で切り離します。

用紙ガイドのペーパーカッターでミシン目を切り離します。



3 ［用紙カット位置 / 封筒］スイッチを押します。

連続紙は印刷開始位置へ戻ります。次の印刷を行います。

> **ポイント**
> 電源をオフにするときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して連続紙をプッシュトラクタ位置まで戻してください。連続紙を給紙した状態で電源をオフにすると、次の印刷時に印字開始位置がズレることがあります。

自動ティアオフ

自動ティアオフ機能を使用するには、自動ティアオフ機能を［ON］に設定してください。

☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

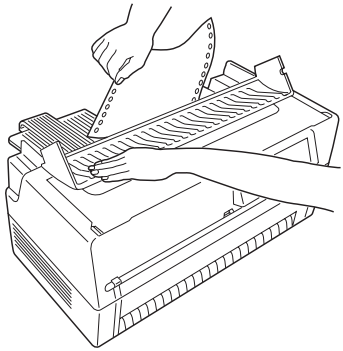
1 **印刷を行います。**

印刷が終わり約 3 秒経過すると、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで自動的に送ります。

> ポイント
>
> ミシン目が用紙カット位置に合わない場合、［印刷可］スイッチを 3 秒以上押してから［微小送り］スイッチを押して調整してください。
> ☞本書 150 ページ「微小送り」

2 **連続紙をミシン目で切り離します。**

用紙ガイドのペーパーカッターでミシン目を切り離します。



3 **次の印刷を行います。**

連続紙が印刷開始位置へ自動的に戻り、印刷が始まります。

> ポイント
>
> - ［用紙カット位置 / 封筒］スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。
> - 電源をオフにするときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して連続紙をプッシュトラクタ位置まで戻してください。連続紙を給紙した状態で電源をオフにすると、次の印刷時に印字開始位置がズレることがあります。

単票紙のセット

単票紙は、一般的な単票紙と、単票複写紙を使用することができます（単票ラベル紙は使用できません）。用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。単票紙で印刷することが多い場合には、オプションのカットシートフィーダをお使いください。単票紙を連続して給紙することができて便利です。
☞ 本書 184 ページ「カットシートフィーダ」

操作上のご注意

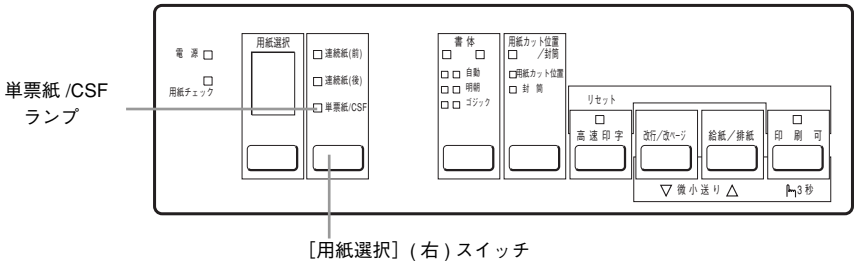
印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオフのとき、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

単票紙のセット

用紙ガイド（前）からの給紙

1. **［電源］スイッチをオンにします。**
2. **［用紙選択］(右) スイッチを押して「単票紙 /CSF」を選択します。**

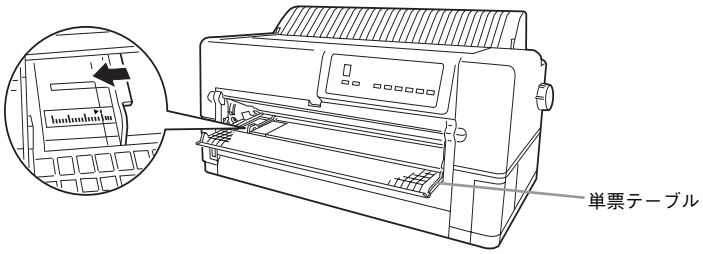


ポイント

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

3 **単票テーブルを開け、エッジガイドを調整します。**

用紙ガイド（前）のエッジガイドを ▶| マークに合わせます。



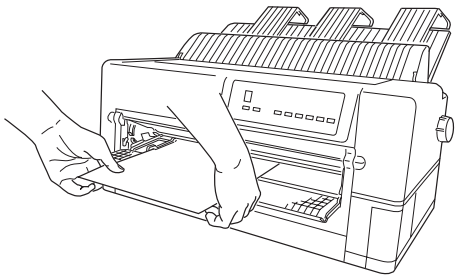
ポイント

エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。

4 **用紙ガイド（上）を斜めに立てます。**

5 **用紙を手差し給紙します。**

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。
給紙動作が始まります。



注 意

プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

ポイント

- セットした用紙が印刷されずに排紙される場合があります。エッジガイドに沿って用紙をまっすぐに給紙し直してください。
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。
- 給紙位置を微調整するときは、微小送り機能を使用します。
☞ 本書 150 ページ「微小送り」

6 印刷可ランプが点灯していることを確認し、印刷データを送ります。

7 印刷が終了すると自動的に用紙を排紙します。
プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

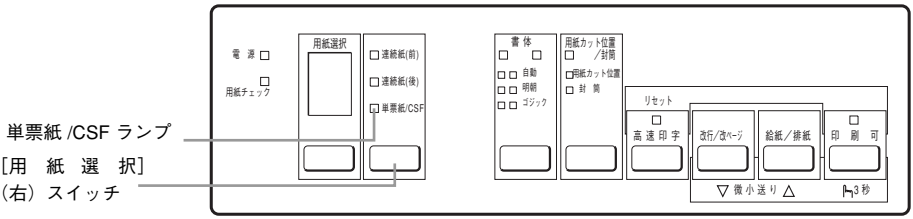
ポイント

用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
☞本書 204 ページ「用紙が詰まったときは」

用紙ガイド（上）からの給紙

1 ［電源］スイッチをオンにします。

2 ［用紙選択］（右）スイッチを押して「単票紙 /CSF」を選択します。

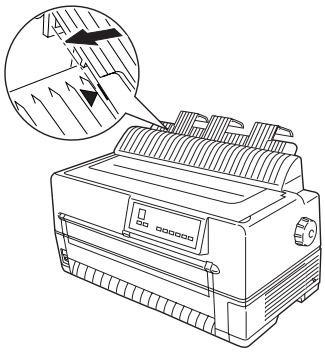


ポイント

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

3 用紙ガイド（上）のエッジガイドを調整します。

- 用紙ガイド（上）のエッジガイド（左）を▶| マークに合わせます。
- エッジガイド（右）を用紙幅に合わせます。



ポイント

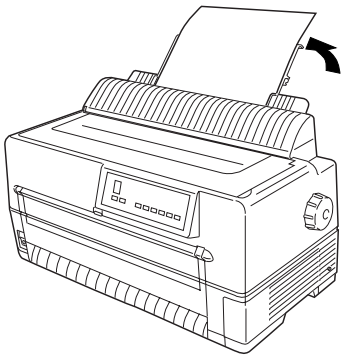
エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。

4 **用紙を手差し給紙します。**

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。

> 注意
>
> プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

> ポイント
>
> 長い単票用紙を使用する場合は、用紙サポートを立てます。



5 **［給紙 / 排紙］スイッチを押します。**

> ポイント
>
> - プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。
> - 給紙位置を微調整するときは、微小送り機能を使用します。
>
> ☞本書 150 ページ「微小送り」

6 **印刷可ランプが点灯していることを確認し、印刷データを送ります。**

7 **印刷が終了すると自動的に用紙を排紙します。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

> ポイント
>
> 用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
>
> ☞本書 204 ページ「用紙が詰まったときは」

複写紙、郵便ハガキ、紙ホチキス紙、封筒、ラベル紙のセット

本機では、単票紙と連続紙のほかに、複写紙、郵便ハガキ、紙ホチキス紙、封筒、ラベル紙を使用することができます。ここではそれぞれの用紙へのセット方法を簡単に説明します。

複写紙のセット

単票複写紙と連続複写紙に印刷できます。仕様に合った用紙を使用してください。
☞ 本書 189 ページ「使用できる用紙の種類」

単票複写紙

単票複写紙は用紙ガイド（前）、用紙ガイド（上）またはオプションのカットシートフィーダから給紙します。セット・排紙方法は単票紙と同じです。
☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」

連続複写紙

連続複写紙はフロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタから給紙します。セット・排紙方法は連続紙と同じです。
☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

郵便ハガキのセット

郵便ハガキは用紙ガイド（前）またはオプションのカットシートフィーダから給紙します。セット・排紙方法は単票紙と同じです。
☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」

紙ホチキス紙のセット

紙ホチキス紙（両側紙ホチキスとじまたは片側点のりとじ＋片側紙ホチキスとじの連続複写紙）は、[紙ホチキス紙モード] を［オン］に設定してからセットしてください。
☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」
セット・排紙方法は連続紙と同じです。
☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」
用紙の仕様について詳しくは、以下のページを参照してください。
☞ 本書 132 ページ「使用可能な用紙」

ポイント

- 紙ホチキス紙をセットするときは、必ず用紙ガイド（上）を斜めに立ててください。
  ☞ 本書 35 ページ「用紙ガイド（上）の取り付け」
- 紙ホチキス紙モードでは、印字速度が遅くなることがあります。

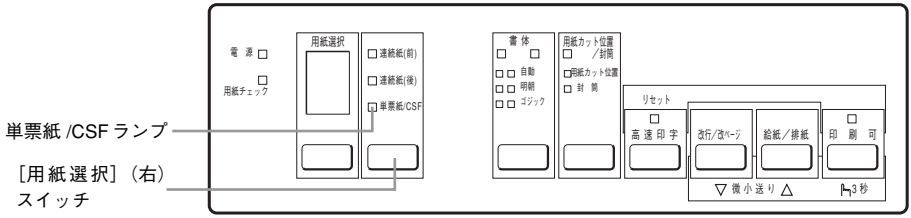
封筒のセット

封筒は、封筒モードを設定し、用紙ガイド（前）から給紙します。セット方法は単票紙と同じです。

☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」

1 **［電源］スイッチをオンにします。**

2 **［用紙選択］（右）スイッチを押して「単票紙 /CSF」を選択します。**



ポイント

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

3 **［用紙カット位置 / 封筒］スイッチを押して封筒を選択します。**

4 **封筒をセットします。**

印刷面を上に向けてセットします。

5 **印刷が終了したら、［用紙カット位置/封筒］スイッチを押して封筒モードを解除します。**

ラベル紙のセット

ラベル紙を印刷するときはフロントプッシュトラクタから給紙します。
セット方法は連続紙と同じです。以下のページを参照してください。

☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

排紙方法は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 161 ページ「連続ラベル紙の排紙」

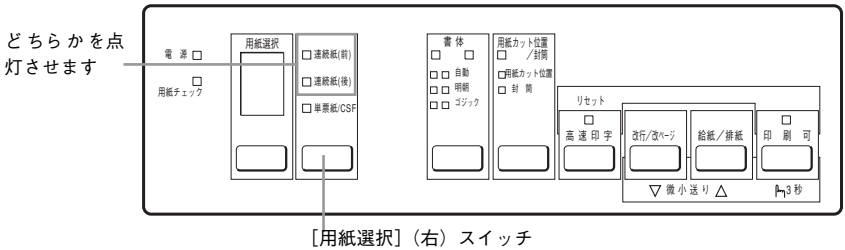
連続紙と単票紙の切り替え

フロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて印刷する方法を説明します。連続紙をセットしたままで単票紙へ切り替えることができます。

単票紙から連続紙への切り替え

1. **単票紙が残っているときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押します。**
   単票紙を排紙します。

2. **［用紙選択］（右）スイッチを押して「連続紙（前）」または「連続紙（後）」を選択します。**



> **ポイント**
> 用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

3. **用紙ガイド（上）を水平に倒します。**

4. **印刷データを送ります。**
   連続紙は自動的に給紙され、印刷します。

> **注意**
> 印刷データを送る前にフロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに用紙がセットされていることを確認してください。

連続紙から単票紙への切り替え

1. **連続紙が残っているときは、［用紙カット位置 / 封筒］スイッチを押します。**
   連続紙を排紙します。

2. **連続紙をミシン目で切り離します。**
   ペーパーカッターでミシン目を切り離します。

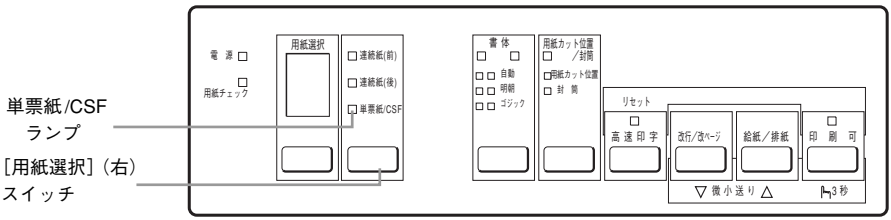
注 意

- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、用紙が詰まることがあります。
- ラベル紙を排紙するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はフロントプッシュトラクタ位置で切り離してください。プリンタ内に残ったラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙します。

3 **［給紙 / 排紙］スイッチを押します。**

連続紙はトラクタの位置まで逆に戻ります。トラクタから連続紙を外す必要はありません。

4 **［用紙選択］（右）スイッチを押して「単票紙 /CSF」を選択します。**



ポイント

- 用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。
- 連続紙が印刷位置に残っている状態で ［用紙選択］（右）スイッチを押すと操作パネルのランプが点滅し、エラー状態になります。その場合は、印刷済みの連続紙をミシン目で切り離し ［印刷可］スイッチを押してください。連続紙はトラクタ位置まで戻ります。

5 **用紙ガイド（上）を斜めに立てます。**

6 **単票紙を用紙ガイド（前）または（上）にセットします。**

エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票紙を奥まで差し込みます。

☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」

7 **印刷データを送ります。**

プリンタ設定値の変更

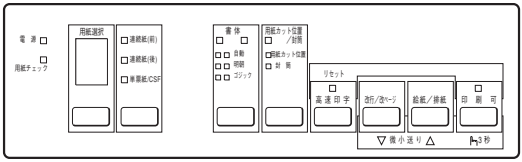
● プリンタ設定の方法 175
● 操作パネルからの設定 176
● 16 進ダンプ印刷 181

プリンタ設定の方法

プリンタは設定された内容に従って動作します。ここでは、プリンタの設定値を操作パネルから変更する方法について説明しています。プリンタの設定値を変更する方法は、次の3通りの方法があります。

操作パネルで設定する

本機の持つすべての設定値を変更することができます。設定値の一覧表を印刷してから、操作パネル上のボタンを押して設定を変更します。



EPSON Remote! で設定する

EPSON Remote! は、DOS 環境または NetWare 環境で利用できるユーティリティソフトウェアです。それぞれの環境でプリンタの各種設定をコンピュータから変更することができます。

☞ 本書 270 ページ「EPSON Remote! について」

プリンタドライバで設定する

Windows でお使いの場合に通常の印刷で必要な設定は、アプリケーション上あるいはプリンタドライバから変更することができます。

プリンタドライバからの設定は、操作パネルからの設定より優先されます。プリンタドライバから設定できない項目については操作パネルから設定します。

> 注 意
>
> 給紙方法の設定とプリンタ本体の設定が合っていないと印字不良や紙詰まりの原因となります。正しく設定してください。

操作パネルからの設定

ここでは、操作パネルからのプリンタ設定値の変更の仕方について説明します。

ポイント

- プリンタドライバ上からも設定できる項目については、プリンタドライバでの設定が優先されます。
- ほとんどの場合、プリンタ購入時の初期設定値のままで使用できます。使用するオペレーティングシステムやアプリケーションソフトから設定を変更できない場合は、操作パネルや EPSON Remote! で設定値を変更してください。

設定項目

操作パネルを使用して以下の設定値を変更することができます。
＊のついている設定値がプリンタ購入時の初期設定値です。

設定項目	設定値	説明
文字コード表	カタカナコード表＊	カタカナコード表（256 ページ）を使用して英数カナ文字を印字します。国内の DOS アプリケーションソフトを使用するときは、ほとんどの場合このコード表を選択します。
	拡張グラフィックスコード表	拡張グラフィックスコード表（256 ページ）を使用して英数カナ文字を印字します。海外版の DOS アプリケーションソフトを使用するときはこのコード表を選択します。
文字品位	高品位＊	英数カナ文字を高品位文字で印字します（DOS 環境下で有効）。
	ドラフト	英数カナ文字をドラフト文字で印字します（DOS 環境下で有効）。
印字方向	双方向＊	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷しますので、より速く印刷できます。文字の高速印刷に適しています。
	単方向	プリントヘッドが右方向へ移動するときだけ印刷しますので、縦方向の印刷がより正確になります。グラフィックの印刷に適しています。
フロントトラクタのページ長（連続紙）※	4、5.5、6、7、8、8.5、11＊、70/6、12、14、17 インチ	フロントプッシュトラクタを使用する場合のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく働くように、使用する連続紙に合ったページ長を設定してください。
リアトラクタのページ長（連続紙）※	4、5.5、6、7、8、8.5、11＊、70/6、12、14、17 インチ	リアプッシュトラクタを使用する場合のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく働くように、使用する連続紙に合ったページ長を設定してください。

設定項目	設定値	説明
ミシン目スキップ	ON	連続紙を使用する場合、ミシン目の前後25.4 mm（1インチ）の範囲には印刷しません。アプリケーションソフトで上下マージンが設定できない場合でも、ミシン目にかからないように印刷したい場合は［ON］に設定します。
	OFF ＊	連続紙を使用する場合、アプリケーションソフトで上下マージンをゼロに設定してページ一杯に印刷すると、ミシン目に関係なく続けて印刷します。通常はアプリケーションソフトで上下マージンを設定しますので、［OFF］のまま印刷してもミシン目で印刷が途切れることはありません。
自動ティアオフ	ON	印刷の終了・開始に合わせて自動的にティアオフ機能が働きます。 ☞ 本書 164 ページ「自動ティアオフ」
	OFF ＊	自動ティアオフ機能は働きません。連続ラベル紙を使用するときは必ず［OFF］に設定してください。
自動改行	ON	キャリッジリターン（CR）コードに対して、自動的に改行（LF）コードを付け加えます。使用するオペレーティングシステムやソフトウェアによっては、改行しないで同じ行に印刷し続ける場合がありますが、このような場合に改行させるには［ON］に設定します。
	OFF ＊	キャリッジリターン（CR）コードに対して、改行（LF）コードを付け加えません。DOS や Windows などのオペレーティングシステムで印刷する場合は、［OFF］のまま使用します。
自動紙幅検知	ON ＊	用紙幅を自動的に検知します。用紙からはみ出して印字する部分は、用紙端位置でカットされます。
	OFF	用紙幅の検知を停止します。自動紙幅検知を［OFF］に設定するときは用紙幅からはみ出して印刷しないよう注意してください。
自動紙厚調整	ON ＊	使用する用紙厚に合わせプリンタヘッド位置を自動的に調整します。
	OFF	自動紙厚調整をしません。アジャストレバーで最適な紙厚を設定してください。 ☞ 本書 149 ページ「アジャストレバーの設定」
ESC/P スーパー	ON ＊	ESC/P と PCPR201H（エミュレーションモード）を自動判別します。PCPR201H モードで印刷するときは［ON］に設定します。 国内版のDOS アプリケーションから印刷する場合で、エプソンプリンタを選択しても正しく印刷できないときに［ON］に設定します。
	OFF	使用するオペレーティングシステム（Windows）やソフトウェアのプリンタ設定でESC/Pコントロールコードを使用しているときは［OFF］に設定します。 海外版のDOS アプリケーションを使用するときも［OFF］に設定します。

設定項目	設定値	説明
インターフェイス	自動*	データを受信するインターフェイスを自動的に選択します。選択したインターフェイスに送られたデータが終了するか、インターフェイス固定解除時間の設定した時間になると、インターフェイスの選択が解除されます。［自動］では、最大 2 台のコンピュータが本機を共用できます。
	パラレル	標準のパラレルインターフェイスを使用します。
	オプション	オプションのインターフェイスを使用します。 オプションのインターフェイスカードが装着されている場合のみ選択できます。
インターフェイス固定解除時間	10秒*	インターフェイス（自動）のとき自動選択したインターフェイスに 10 秒間データが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。
	30秒	インターフェイス（自動）のとき自動選択したインターフェイスに 30 秒間データが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。
受信バッファ	ON *	データを受信バッファにためてから印刷します。サイズの大きいファイルでも、比較的早くコンピュータから解放できます。
	OFF	データを受信しながら同時に印刷します。
ブザー鳴動	ON *	ブザーが鳴ります。
	OFF	ブザーは鳴りません。
紙ホチキス紙モード	ON	紙ホチキス紙を使用する場合に［ON］に設定します。
	OFF *	紙ホチキス紙を使用しない設定です。

※ Windows プリンタドライバを使用しているときは、プリンタドライバ上の連続紙ページ長の設定値を確認してください。

ポイント

書体の選択や高速印字を設定する場合は、操作パネル上のスイッチをお使いください。
☞本書 25 ページ「操作パネル」

設定値を変更する

設定値の変更方法の詳細は、以下の手順で印刷する「一覧表」に記載されています。
設定値を変更する場合は、まず以下の手順で「一覧表」を印刷してください。
「一覧表」は単票紙（A4 縦、B5 縦）2 枚、または連続紙に印刷することができます。
ここでは、A4 縦の用紙に印刷する手順を例に説明します。

1 **プリンタの［電源］スイッチをオンにします。**

2 **プリンタに用紙をセットし、［用紙選択］（右）スイッチを押して用紙種類を選択します。**
連続紙の場合は、［連続紙（前）］または［連続紙（後）］を選択します。
単票紙の場合は、［単票紙 /CSF］を選択します。用紙ガイドから給紙する場合は、2 の操作の後、用紙をセットします。

3 **プリンタの［電源］スイッチをオフにします。**

4 **［用紙選択］（左）スイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**
設定とランプの関係を示す一覧表が印刷されます。
1 枚目の印刷が終了したら、2 枚目の用紙をプリンタにセットします。用紙チェックランプが点灯したら、用紙をセットして 2 枚目まで印刷します。
出力された一覧表を確認し、設定値を変更する必要がない場合は、ここでプリンタの［電源］スイッチをオフにします。

ポイント

- 操作パネルの表示は、選択している設定項目および設定値を示します。
  設定項目：用紙番号ディスプレイ上に 0 ～ F で表示
  設定項目の設定値：単票紙 /CSF、連続紙（後）、連続紙（前）ランプで表示
- 変更する設定項目および設定値とランプの表示状態を、印刷した一覧表で確認します。

5 **［用紙選択］（左）スイッチを押して、設定項目を選択します。**

6 **［用紙選択］（右）スイッチを押して、設定値を選択します。**
さらに変更する項目があるときは、5 に戻ります。

ポイント

選択した時点で、設定した内容はプリンタのメモリに記憶されますので、［電源］スイッチをオフにしても消えません。

7 **設定が終了したら、プリンタの［電源］スイッチをオフにします。**

リモート設定機能での設定変更

リモート設定機能とは、付属のパネル設定ユーティリティソフト “EPSON Remote!” を使ってコンピュータからプリンタに命令を送って設定値を変更する機能です。プリンタのある場所まで移動してパネルスイッチを操作する必要がなく、アプリケーションソフトごとに設定を変更する場合や、複数のユーザーがプリンタを共有している場合に便利です。

ここでは、EPSON Remote! で変更できる設定値について簡単に説明します。EPSON Remote! のインストール方法、起動方法、設定方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 270 ページ「EPSON Remote! について」

設定項目	スタートアップユーティリティ	設定ユーティリティ
書体	◎	○
文字品位	◎	―
文字コード表	◎	―
用紙選択	◎	○
封筒モード	◎	○
ページ長 MF （MF: 用紙ガイド）	◎	―
給紙位置 MF	◎	○
ページ長 MR （MR: 用紙ガイド（上））	◎	―
給紙位置 MR	◎	○
ページ長 C （C: カットシートフィーダ）	◎	―
給紙位置 C	◎	○
ページ長FF(FF:フロントプッシュトラクタ)	◎	○
給紙位置 FF	◎	○
ページ長 FR (FR: リアプッシュトラクタ)	◎	○
給紙位置 FR	◎	○
高速印字	◎	○
ミシン目スキップ	◎	―
印字方向	◎	―
I/F［インターフェイス］	◎	―
I/F 固定解除時間	◎	―
自動ティアオフ	◎	―
自動改行	◎	―
ESC/P スーパー	◎	○
受信バッファ	◎	―
ブザー鳴動	◎	―
紙ホチキス紙モード	◎	―
自動紙厚調整	◎	―

◎：初期設定値としてプリンタのメモリに記憶することができる設定項目です。この設定項目は［電源］スイッチをオフにしても消えません。毎回同じ設定を使用するときは、スタートアップユーティリティで初期設定値を変更してください。

○：設定ユーティリティを使用して印刷作業ごとに設定値を一時的に変更することができる設定項目です。［電源］スイッチがオンであれば再度変更するまで有効です。［電源］スイッチをオフにすれば初期設定値に戻ります。

―：設定項目はありません。

ポイント

- EPSON Remote! のインストール方法、起動方法、設定方法について詳しくは、以下のページを参照してください。
  ☞本書 270 ページ「EPSON Remote! について」
- プリンタの初期設定は、操作パネルと EPSON Remote! の両方から変更できます。後から変更した初期設定が有効です。

16 進ダンプ印刷

16 進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷する機能です。正しくデータが送られているかどうかが確認できるので、自作プログラムをチェックするときなどにご利用ください。
ここでは連続紙への印刷手順を例に説明します。プリンタに連続紙がセットされていない場合は、連続紙をセットしてください。
☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

1. **［電源］スイッチをオフにします。**

2. **［改行 / 改ページ］スイッチと［給紙 / 排紙］スイッチを押しながら、［電源］スイッチをオンにします。**

> 注 意
> プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オフ、オンの間隔が短かすぎると、プリンタの電源部が故障するおそれがあります。

3. **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**
受信したデータは、16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷されます。

4. **印刷が終了したら、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を送り出します。**

> ポイント
> 印刷されずにデータがプリンタのメモリ内に残った場合は、［印刷可］スイッチ押して残ったデータを印刷します。

5. **印刷が終了しているページをミシン目で切り離します。**

6. **［電源］スイッチをオフにして 16 進ダンプを終了します。**

オプションと消耗品

● オプションと消耗品の紹介 183
● インターフェイスカード 186
● カットシートフィーダ 189
● リボンカートリッジの交換 196
● リボンパックの交換 198
● 通信販売のご案内 202

オプションと消耗品の紹介

本機で使用できる、オプションと消耗品は以下の通りです（2008 年 3 月現在）。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、ご利用のコンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるケーブルは次の通りです。

	メーカー	機種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON、 IBM、富士通、 東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	
	NEC	PC-98NX シリーズ		

ポイント

推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ (ハードウェアキー) などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。

型　番	名　称	解　説
VPIF3	シリアル I/F カード	本機をシリアルで接続するためのオプションです。コンピュータとの接続には市販のプリンタ用シリアルインターフェイスケーブルが別途必要です。
PRIF13	IBM5577 プリンタ エミュレーションカード	IBM5577 プリンタエミュレーションカードです。コンピュータとの接続にはプリンタケーブルが別途必要です。
PRIFNW7	10Base-T、100Base-TX 対応 マルチプロトコル Ethernet I/F カード	10Base-T、100Base-TX 対応マルチプロトコル Ethernet I/F カードです。接続にはお使いのネットワーク環境に応じたネットワークケーブルが別途必要です。

インターフェイスカードの取り付け方法については、以下を参照してください。

☞ 本書 186 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

インターフェイスカードの設定方法については、それぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

Macintosh 接続用オプション

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズにエプソンプリンタを接続して使用するために、以下のオプションがあります。

ポイント

- 本機を Macintosh シリーズと接続して使用するときは、オプション製品に添付の Macintosh 用プリンタドライバ「EPSON Print!2」をお使いください。
- Mac OS X は、クラシック環境のみの対応です。詳細はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp）を参照してください。

型　番	名　称	解　説
PRIFNW7	10Base-T、100Base-TX対応マルチプロトコル Ethernet I/F カード	10Base-T、100Base-TX 対応マルチプロトコル Ethernet I/F カードです。接続にはお使いのネットワーク環境に応じたネットワークケーブルが別途必要です。

インターフェイスカードの取り付け方法については、以下を参照してください。
☞ 本書 186 ページ「インターフェイスカードの取り付け」
インターフェイスカードの設定方法については、それぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

カットシートフィーダ

単票紙またはハガキを連続して給紙することができます。

型番	名称
VP5200CSF	カットシートフィーダ

取り付けおよび使いかたについては、以下を参照してください。
☞ 本書 189 ページ「カットシートフィーダ」

リボンカートリッジ

リボンカートリッジは消耗品です。印字が薄くなったら新品と交換してください。

型番	名称
VP5200RC	リボンカートリッジ

リボンカートリッジの取り付けおよび使いかたについては、以下を参照してください。
☞ 本書 196 ページ「リボンカートリッジの交換」
なお、リボンカートリッジケースを再利用してリボンパックを交換することもできます。リボンカートリッジケースは 4 回まで再利用できます。
☞ 本書 185 ページ「リボンパック」

リボンパック

リボンパックは消耗品です。印字が薄くなったら新品と交換してください。リボンパックの交換については、以下を参照してください。

本書 198 ページ「リボンパックの交換」

型番	名称
VP5200RP	リボンパック

インターフェイスカード

プリンタに取り付ける前に、まずインターフェイスカードの取扱説明書をよくお読みください。インターフェイスカード上のディップスイッチやジャンパースイッチの設定が必要な場合もあります。

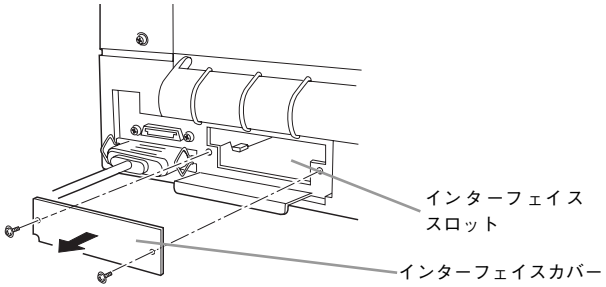
インターフェイスカードの取り付け

> ポイント
> オプションのインターフェイスカードを使用するときは、[インターフェイス]の設定が[自動]または[オプション]に設定されていることをご確認ください。
> ☞175 ページ「プリンタ設定の方法」

1 **プリンタとコンピュータの［電源］スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから引き抜きます。**

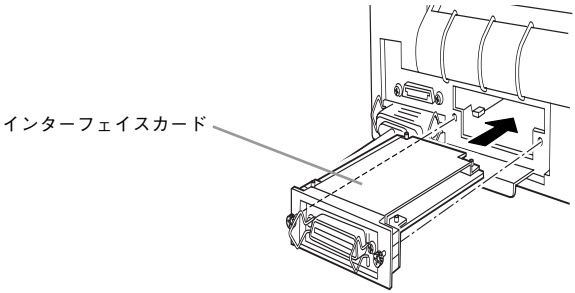
> 注 意
> インターフェイスカードを取り付けるまえに、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かずに取り付け作業を行うと、プリンタやコンピュータが故障することがあります。インターフェイスカードを取り外すときも、電源プラグを抜いてください。

2 **プリンタ背面のインターフェイスカバーを開き、コネクタカバーのネジをドライバではずしてカバーを取り外します。**

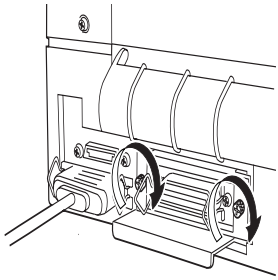


3 **インターフェイスカードをプリンタに差し込みます。**

インターフェイスカードをプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。プリンタ内部のコネクタとインターフェイスカードのコネクタが合うように、しっかり差し込んでください。



4 **インターフェイスカードの両側のネジを締めて固定します。**



VPIF3 シリアルインターフェイスカードについて

VPIF3シリアルインターフェイスカードを取り付けて使用する場合の転送速度、X-ON/X-OFF 送出タイミング、エラー処理は以下のようになります。

転送速度 150, 300, 600, 1200, 2400, 4800, 9600, 19200 BPS

X-ON/X-OFF 送出タイミング

- X-OFF コードおよびDTR 信号の出力：

入力データバッファの空き容量が 256 バイト以下になったとき。

- X-ON コードおよびDTR 信号の出力：

入力データバッファの空き容量が 512 バイト以上になったとき。

エラー処理

- パリティエラーが発生した場合：
  “*”を印字します。
- そのほかのエラーが発生した場合：
  オーバーランエラーやフレーミングエラーなどは無視します。

そのほかの内容については、VPIF3 の取扱説明書を参照してください。

［インターフェイス自動選択］の設定を［ON］に設定しているときは、同時に両方のインターフェイスにデータを送らないでください。正常に印刷できないことがあります。

カットシートフィーダ

単票紙を連続して給紙したいときは、オプションのカットシートフィーダをご使用ください。また、プリンタに取り付けた連続紙と切り替えて給紙できます。

使用できる用紙の種類

用紙の仕様について詳しくは、以下のページを参照してください。
☞ 本書 141 ページ「単票紙（単票複写紙）」

	上質紙、再生紙 *1	複写紙 *2	郵便ハガキ *1	郵便往復ハガキ *1*3
用紙幅	100 ～ 420mm	100 ～ 420mm	100mm、148mm	148mm、200mm
用紙長	100 ～ 364mm	100 ～ 364mm	148mm、100mm	200mm、148mm
用紙厚	0.08 ～ 0.1mm	0.12 ～ 0.42mm	0.23mm 以下	
用紙重量	40 ～ 70kg	34 ～ 70kg（1 枚当たり）	165kg 相当	
容量	最大 180 枚（55kg）	―	最大 60 枚	

用紙厚の（kg）は、連量を示します。連量は四六判（788 × 1091mm²）の用紙 1000 枚の重量を kg で表わしたものです。

*1：一般室温環境（温度 15～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。

*2：複写紙は、天のり綴じのノンカーボン紙を使用してください。ただし、用紙枚数は 6 枚以下としてください。

*3：郵便往復ハガキは用紙中央に折り目のないものを使用してください。

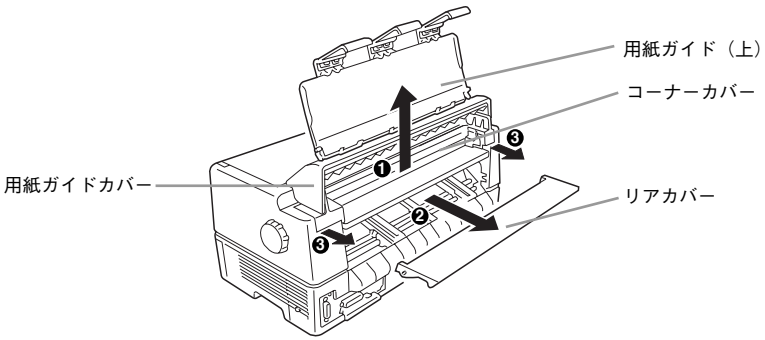
- 中カーボン複写紙、横のり複写紙、ラベル紙は使用できません。
- 再生紙、ハガキは一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- 汚れ、しわ、反りや破れがない上質紙を使用してください。

カットシートフィーダの取り付け

1 **［電源］スイッチをオフにします。**

2 **プリンタの交換部を取り外します。**

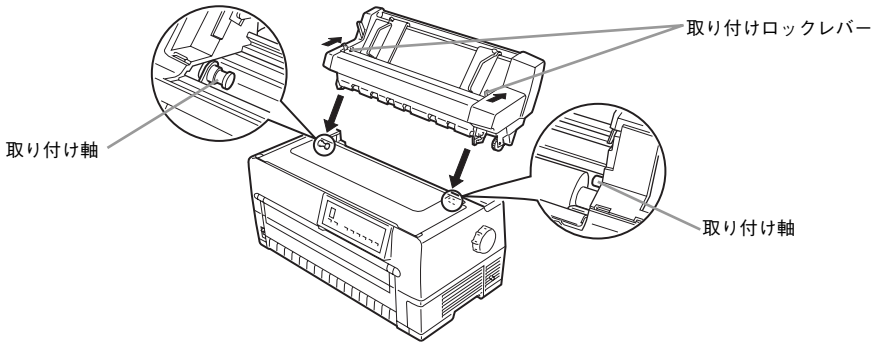
- 用紙ガイド（上）の両端を持って、前に傾けたままゆっくり持ち上げます。
- リアカバーを開け、両端を持って取り外します。
- コーナーカバーは両端を持ち上げながらプリンタ本体内部で引っかけてあるツメを外し、水平に引き出します。



3 **カットシートフィーダを取り付けます。**

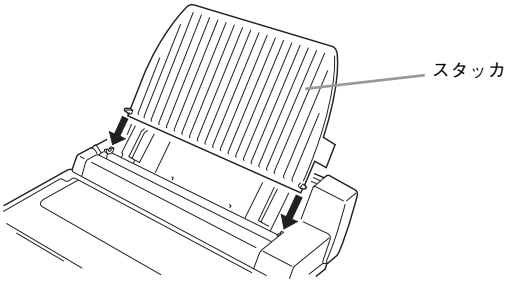
カットシートフィーダの左右の取り付けロックレバーを図の矢印の方向に押しながら、カットシートフィーダの足の部分をプリンタ左右の取り付け軸に合わせ、ゆっくりとおろします。

カットシートフィーダを取り外すときは、取り付けロックレバーを押しながら持ち上げます。



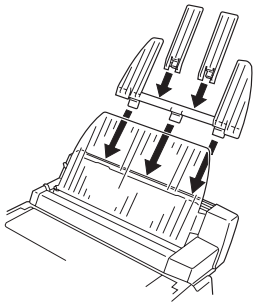
4 **スタッカを取り付けます。**

スタッカの左右の突起をカットシートフィーダに差し込みます。



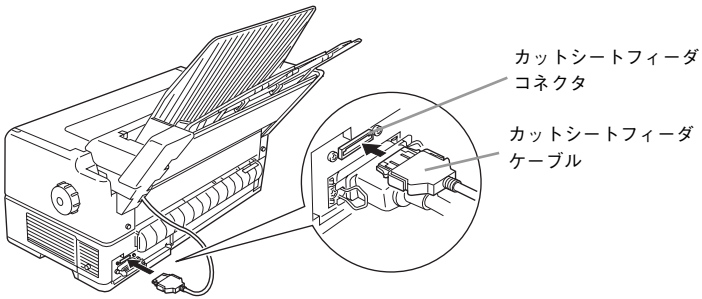
5 **補助紙置板を取り付けます。**

補助紙置板をフレームの上部に差し込みます。



6 **カットシートフィーダのケーブルのコネクタをプリンタに差し込みます。**

ケーブルの接続は、奥まで確実に差し込み、とめ金を立てて固定します。



注 意

ケーブルの接続は、必ずプリンタの［電源］スイッチを オフにしてから行ってください。

7 ［電源］スイッチをオンにします。

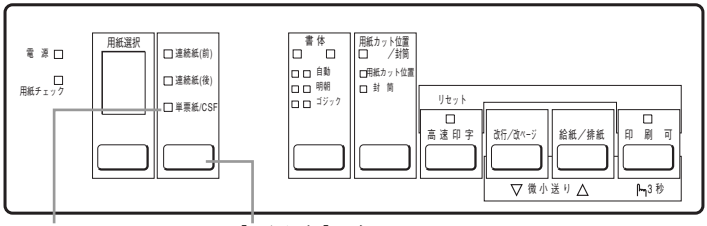
注意

- カットシートフィーダの取り外しは、プリンタの［電源］スイッチをオフにした後、取り付けと逆の順序で行ってください。
- カットシートフィーダを取り外す前に、必ずスタッカを取り外してください。スタッカが倒れて指をはさむ恐れがあります。

カットシートフィーダの使い方

1 ［電源］スイッチをオンにします。

2 ［用紙選択］(右) スイッチを押して「単票紙 /CSF」を選択します。



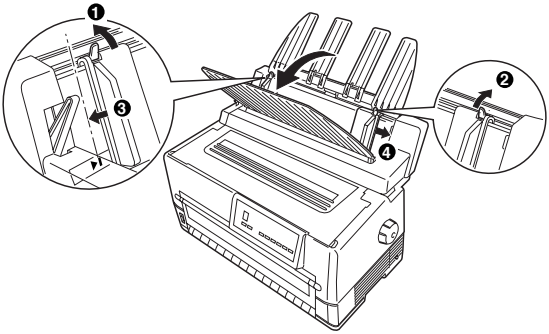
［単票紙/CSF］ランプ　［用紙選択］(右) スイッチ

ポイント

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

3 **スタッカを手前に倒し、左右のエッジガイドの位置を調整します。**

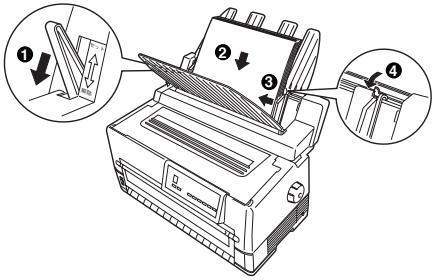
- 左右のエッジガイドの上部ロックレバーを上に倒しロックを解除します。
- 左エッジガイドの位置を▷|マーク に合わせます。
- 右エッジガイドの位置を用紙の幅に合わせます。
- 左のエッジガイドの上部ロックレバーを下に倒してロックします。

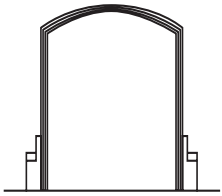


ポイント	右エッジガイドの位置によって印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときはエッジガイドの位置を再調整してください。

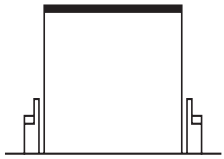
4 **用紙セットレバーを「解除」の位置に合わせ、用紙をセットします。**

- 用紙をよくさばいて端をそろえ、用紙が止まるところまで押し込みます。
- 右エッジガイドは用紙がなめらかに給紙される位置に調整します。
- 右エッジガイドの上部ロックレバーを下に倒してロックします。





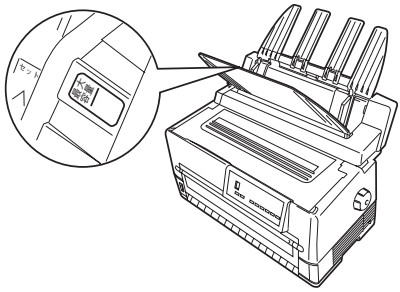
× 狭すぎる場合



× 広すぎる場合

ポイント

- 用紙とエッジガイドとの間にすき間がある場合は、右のエッジガイドを左へ動かしてすき間をなくしてください。エッジガイドを用紙に押しつけた状態で給紙すると、給紙不良を起こすことがあります。
- 左のエッジガイドにはセットできる用紙量の最大枚数を黒線で表記しています。黒線を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。



5 **用紙セットレバーを「セット」の位置に戻し、スタッカを元の位置に戻します。**

6 **印刷データを送ります。**

コンピュータからデータを送ると自動的に給紙して印刷を開始します。

ポイント

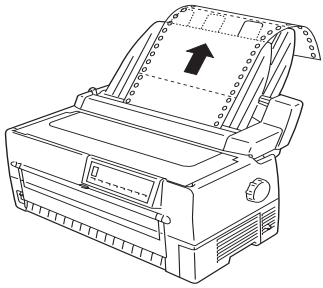
- カットシートフィーダを使用しているときの印刷方向は、プリンタ正面から見て右側が 1 桁目になります。右エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なるときは、右エッジガイドの位置を再調節してください。

単票紙から連続紙への切り替え

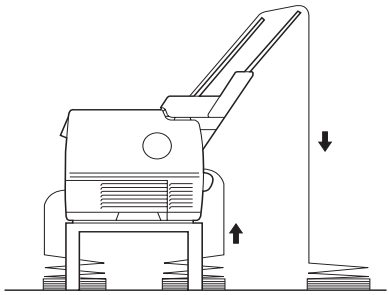
カットシートフィーダにセットした単票紙を印刷した後に、フロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに切り替えて連続紙を給紙することができます。
本書 172 ページ「単票紙から連続紙への切り替え」

連続紙使用時のご注意

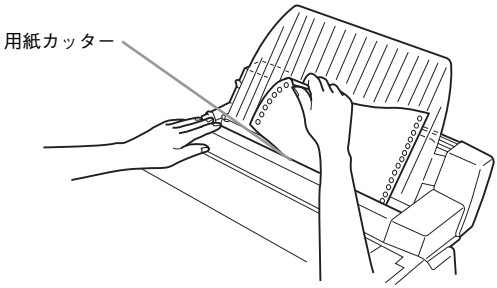
- 連続紙が前に倒れ、プリンタに巻き込まれる場合があります。この場合は、連続紙の最初のミシン目が補助紙置板を越える位置まで送り出してください。



- 用紙の流れをスムーズにするため、プリンタを次の図のように設置してください。



ティアオフ機能を使用して連続紙を切り離す場合は、図のようにして用紙を切り離してください。



リボンカートリッジの交換

印字が薄くなって十分な印刷品質を得られなくなった場合などには、次の手順に従ってリボンカートリッジを交換してください。

ポイント

- リボンカートリッジは純正品（型番：VP5200RC）をお使いになることをお勧めします。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- プリンタの電源がオンの状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源がオフの状態で行ってください。

1 プリントヘッドが中央部にあることを確認します。

プリントヘッドが端にあるときは、プリンタカバーを閉じ、［電源］スイッチをオンにしてプリントヘッドが中央部に移動するまで待ちます。

2 プリンタの ［電源］スイッチをオフにします。

⚠注意 プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

3 プリンタカバーを開けます。

4 インクリボンをプリントヘッドから外し、リボンカートリッジを両手で手前に引くようにして外します。

ポイント

- 弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みリボンカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。
  回収ポストの設置店は、以下のホームページ上で確認できます。
  http://www.epson.jp
  回収できないときは、ポリ袋などに入れて地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
- 印字がうすくなったときは、リボンカートリッジのインクリボンを交換することができます。
  ☞本書 198 ページ「リボンパックの交換」

5 新しいリボンカートリッジを用意します。

リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。

6 リボンカートリッジを取り付けます。

リボンカートリッジの取り付けについて詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書 32 ページ「リボンカートリッジの取り付け」

以上でリボンカートリッジの交換は終了です。

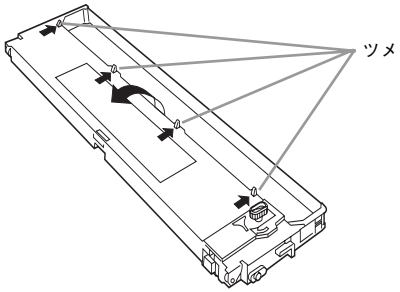
リボンパックの交換

印字が薄くなって十分な印刷品質を得られなくなった場合などには、次の手順に従ってリボンパックを交換してください。
リボンパックを 4 回まで取り換えて、リボンカートリッジケースを再利用できます。5 回目のリボンパックが使用できなくなったときには、新しいリボンカートリッジを使用してください。

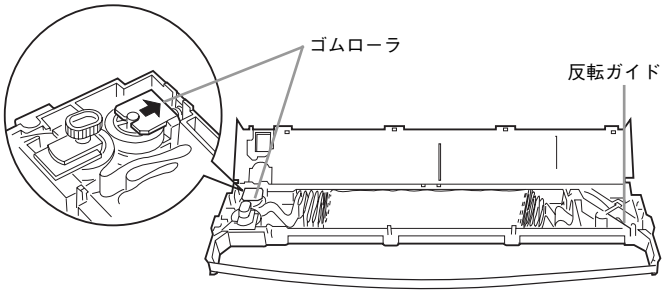
ポイント

- リボンパックは純正品（型番：VP5200RP）をお使いになることをお勧めします。
- インクリボンを交換するときにインクが手に付着することがあります。手を汚さないように、リボンパック付属の手袋をして交換してください。

1 リボンカートリッジのツメ（4 箇所）を矢印の方向に 1 つずつ順に押しながら、リボンカートリッジのフタを開けます。



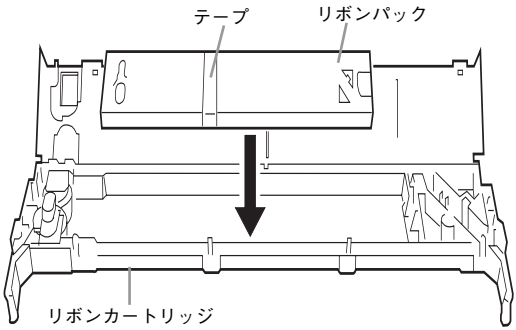
2 リボンカートリッジ内のローラを矢印の方向に押し、ツメをホルダーに固定してから、インクリボンを反転ガイドと一緒に取り外します。



ポイント

反転ガイドは新しいインクリボンをセットするときに必要となりますので捨てないでください。

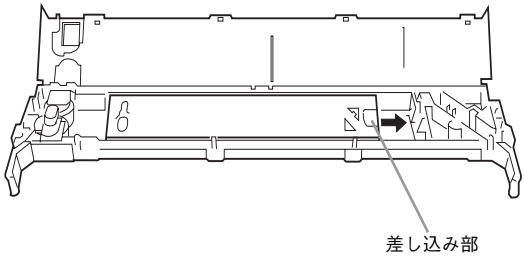
3 新しいリボンパックをリボンカートリッジにセットし、リボンパックに巻いてある紙テープを切り取ります。



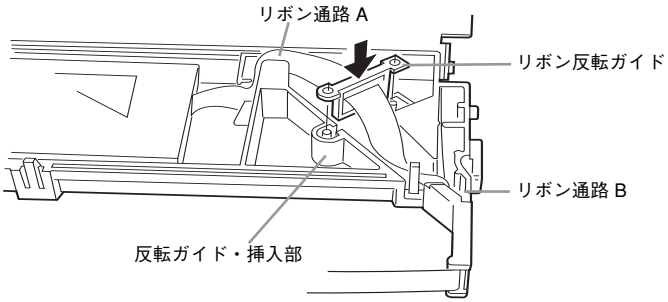
ポイント

リボンパックをセットする方向を確かめてください。

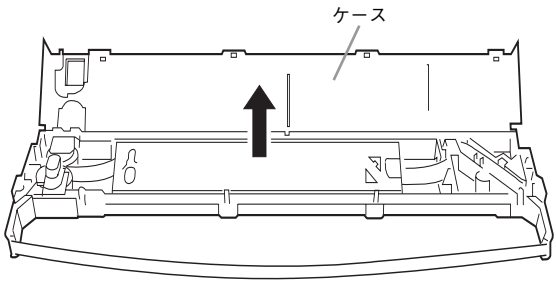
4 リボンパックのケースを押さえながら差し込み部を矢印の方向に取り外します。



5 インクリボンがたるんで重ならないように注意しながら、リボンカートリッジのリボン通路 A から B にインクリボンを通し、反転ガイドを反転ガイド挿入部へ差し込みます。

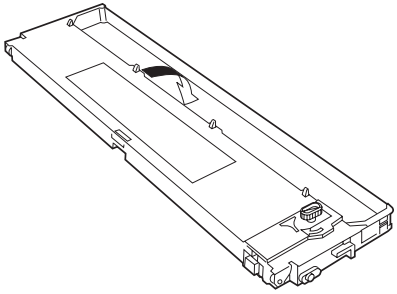


6 インクリボンを図のようにリボンカートリッジに通して、リボンパックのケースを上にゆっくり取り外します。



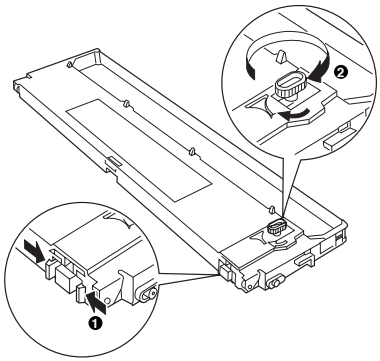
7 **リボンカートリッジのフタを閉じます。**

リボンカートリッジのフタを閉じてツメ（4 箇所）をしっかり固定します。



8 **ホルダーに固定されているゴムローラのツメを矢印の方向に押し込んでロックを解除します。**

ツマミを矢印の方向（時計回り）に回して、リボンが送られることを確認します。



以上でリボンパックの交換は終了です。

通信販売のご案内

エプソン製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2008 年 3 月現在）。
エプソンダイレクトの問い合わせ先は、スタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

困ったときは

● 用紙が詰まったときは 204
● ランプが点灯しない 208
● ランプが点灯していても印刷できない 209
● 紙送りがうまくいかない 215
● 排紙が正常にできない 217
● 印刷結果が画面表示と異なる 218
● 印刷品質がよくない 222
● プリンタドライバの使い方が分からない 224
● EPSON プリンタウィンドウ !3 でのトラブル 225
● オプションのカットシートフィーダで
うまく紙送りできない 229
● オプションのインターフェイスカードを使用すると
うまく印刷されない 231
● その他のトラブル 232
● どうしても解決しないときは 233

用紙が詰まったときは

プリンタ内部で用紙が詰まった場合は、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

> ⚠注意　印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

連続紙の場合

1. ［電源］スイッチをオフにします。
2. 連続紙を切り離します。
3. フロントまたはリアカバーを開き、プッシュトラクタのスプロケットカバーを開けます。
4. 紙送りノブを手でゆっくりと反時計回りに回し、用紙を後退させながら静かに引き抜きます。
   プリンタ内部に用紙が残っている場合は、以下のページを参照してください。
   ☞ 本書 205 ページ「プリンタ内に用紙が残った場合」

>
>
> 紙送りノブを回すときは、必ず［電源］スイッチをオフにしてください。

5. 用紙をセットし直します。
   ☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」
6. フロントまたはリアカバーを閉じます。

単票紙の場合

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. 紙送りノブを手でゆっくりと時計回りに回し、用紙を前進させながら静かに引き抜きます。
   プリンタ内部に用紙が残っている場合は、以下のページを参照してください。
   ☞ 本書 205 ページ「プリンタ内に用紙が残った場合」

> 注意　紙送りノブを回すときは、必ず［電源］スイッチをオフにしてください。

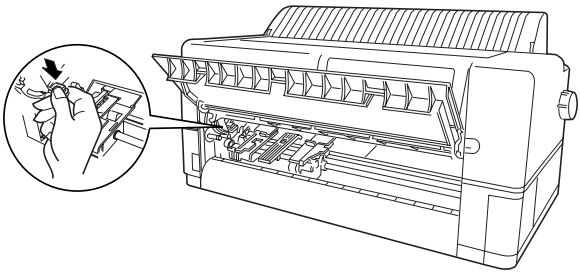
3. ［電源］スイッチをオンにして、用紙をセットし直します。
   ☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」

プリンタ内に用紙が残った場合

1. ［電源］スイッチをオフにします。

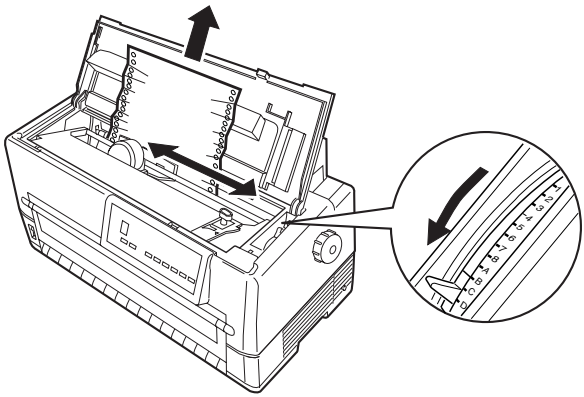
2. フロントカバーを開き、用紙ガイド（前）を上げます。

3. 用紙押さえレバーと復帰レバーを一緒につまんで下げます。



> ⚠注意　印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

4 プリンタカバーを開け、アジャストレバーを「D」に設定し、用紙を取り除きます。

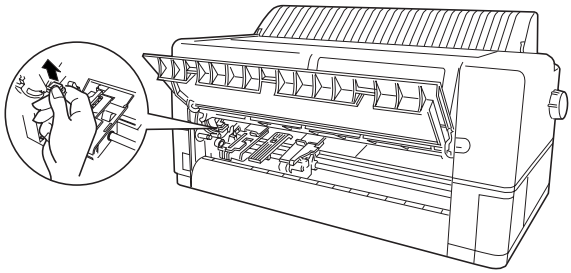


5 プリンタカバーを閉じます。

通常アジャストレバー位置を元に戻す必要はありません。自動紙厚調整が［OFF］に設定されているときのみアジャストレバー位置を調整してください。

☞ 本書 149 ページ「アジャストレバーの設定」

6 復帰レバーをしっかりと上に押し上げます。



7 用紙をセットし直します。

カットシートフィーダ使用時の場合

1 **［電源］スイッチをオフにします。**

2 **紙送りノブを反時計回りに回して用紙を静かに引き抜きます。**

- 用紙が見えるときは、用紙セットレバーを［解除］にし、用紙を取り除きます。
- 用紙が見えないときは、カットシートフィーダを取り外してから用紙を取りのぞきます。
- プリンタ内部に用紙が残っている場合は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 205 ページ「プリンタ内に用紙が残った場合」

3 **カットシートフィーダを取り外した場合は、取り付けてから用紙をセットし直します。**

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、次の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
  ☞ 本書 132 ページ「使用可能な用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
  ☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」
  ☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」
  ☞ 本書 172 ページ「連続紙と単票紙の切り替え」
- 用紙ガイド（前）または用紙ガイド（上）にセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- オプションのカットシートフィーダに用紙をセットするときは、複数枚の用紙をセットしてください。用紙を 1 枚しかセットしないと正しく給紙されないことがあります。
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れがないことを確認してください。

ランプが点灯しない

［電源］スイッチをオンにしても操作パネルのランプが 1 つも点灯しないときは、次の 3 点を確認してください。

電源がコンセントから抜けていませんか？
電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

電源のコンセントに問題があることがあります。
コンセントがスイッチ付きの場合は、スイッチをオンにします。
ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？
コンセントの電圧を確認して、正しい電圧で使用してください。

ポイント

以上 3 点を確認の上で［電源］スイッチをオンにしてもランプが点灯しない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）、お買い求めいただいた販売店、エプソンサービスコールセンターのいずれかへご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、スタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

ランプが点灯していても印刷できない

リボンカートリッジの取り付けを確認しましょう

リボンカートリッジが正しく取り付けられていますか？
以下のページを参照してリボンカートリッジを正しく取り付けてください。
☞ 本書 196 ページ「リボンカートリッジの交換」

プリンタとコンピュータの接続を確認しましょう

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

コネクタのピンが折れたりしていませんか？
コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
☞ 本書 183 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

コンピュータとプリンタはケーブルで直接接続していますか？
プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファおよび延長ケーブル、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）を使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できないことがあります。
プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直接接続し、正常に印刷できるか確認してください。

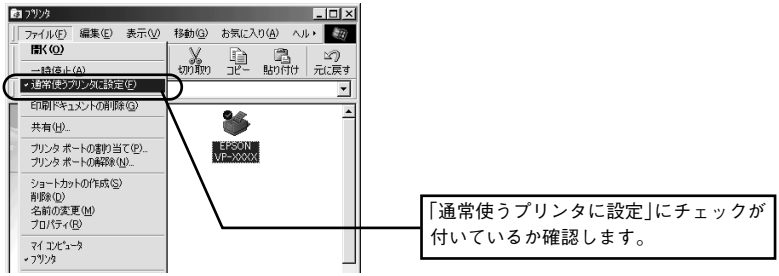
プリンタドライバが正しくインストールされているか確認しましょう

お使いのプリンタのプリンタドライバが正しくインストールされていますか？
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista の確認

お使いのプリンタのプリンタドライバが、［コントロールパネル］の［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダにアイコンとして登録されていますか ？また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選択されているか確認してください。

1. **［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**
   - **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**
     ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。
   - **Windows XP の場合**
     Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
   - **Windows Vista の場合**
     ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. **［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。**
   - **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**
     お使いのプリンタ名を選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。



- Windows XP/Vista の場合
  ［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Windows NT3.5x の確認

お使いのプリンタのプリンタドライバが、［プリントマネージャ］の［標準］に登録されていることを確認してください。

Windows 3.1 の確認

お使いのプリンタのプリンタドライバが、［プリンタの設定］の［通常使うプリンタ］に登録されていることを確認してください。

プッシュトラクタ、カットシートフィーダから給紙しない

Windows NT4.0/2000/XP/Vista でプッシュトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP/Vista の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

エラーが発生していないか確認しましょう（プリンタ側）

ポイント

印刷可ランプが点滅して印刷しない、あるいは印刷が突然止まった場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。このような場合は、プリントヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。

印刷可ランプが消えていませんか？

［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを点灯させてください。

注 意

プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

用紙がなくなっていませんか？
用紙をセットしてください。用紙を変更したときは、一旦［電源］スイッチをオフにして、5 秒以上経過してから再度［電源］スイッチをオンにしてください。

アジャストレバーの設定が合っていますか？
アジャストレバーの設定を確認してください。通常アジャストレバーを調整する必要はありませんが、自動紙厚調整が［OFF］に設定されているときはアジャストレバーを調整してください。
☞ 本書 149 ページ「アジャストレバーの設定」

データを受信するインターフェイスの設定が合っていますか？
プリンタ設定値の I/F 選択は［自動］または接続しているインターフェイスの値に設定してください。
☞ 本書 176 ページ「操作パネルからの設定」

用紙やリボンや保護材などが詰まっていませんか？
［電源］スイッチをオフにしてから、プリンタ内部を確認して取り除いてください。
用紙が詰まったときは以下のページを参照してください。
☞ 本書 204 ページ「用紙が詰まったときは」

プリンタがハング（異常な状態で停止）していませんか？
一旦［電源］スイッチをオフにしてからしばらく待ち、5 秒以上経過してから再度［電源］スイッチをオンにして印刷をしてください。

エラーが発生していないか確認しましょう

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先が合っていますか？
プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。
☞ 本書 121 ページ「プリンタ接続先の変更」

プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？
印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。印刷を開始するためには［一時停止］のチェック（✓）を解除するか［再開］を選択することが必要です。
☞ 本書 70 ページ「印刷の中止方法」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生していませんか？

次の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの［印刷先のポート］が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの［スプールの設定］で［プリンタに直接印刷データを送る］の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- 本機のパラレルインターフェイスは ECP モードに対応しておりません。お使いのコンピュータのパラレルポートの設定が ECP モードになっている場合は、BIOS 設定をノーマルまたはスタンダードモードに変更してください。
- BIOS 設定についての詳細は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません」「用紙がありません」と表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタの［電源］スイッチがオンになっているか、用紙が正しくセットされているかを確認してください。インターフェイスケーブルについては、以下のページを参照してください。

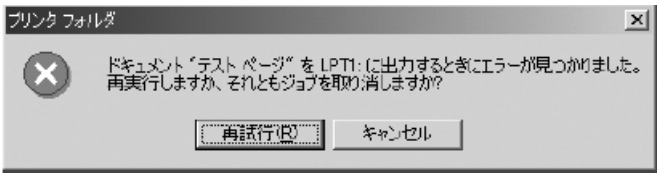
☞ 本書 183 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

Windows NT4.0/2000/XP/Vista でプッシュトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP/Vista の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用していませんか？

- Windows 2000 環境で EPSON プリンタウィンドウ !2 を使用していると、印刷が途中で停止することがあります。印刷を始める前には、EPSON プリンタウィンドウ !2 の画面を必ず閉じてください。
  印刷が途中で停止する場合は、EPSON プリンタウィンドウ !2 の「プリンタの詳細」から「消耗品情報」シートの画面を開いてください。消耗品情報シートの開き方については、以下のページを参照してください。
  本書 74 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !2 の操作手順」
- EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用していると、通信エラーが発生し、以下の画面が表示されることがあります。EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合は、以下の手順でプリンタドライバの［タイムアウト時間］を設定してください。
  ＜通信エラーの画面例＞



ドキュメント名称とポート名称は、ご使用の状態により異なります。

① 通信エラーの画面で、［キャンセル］ボタンをクリックします。
② ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。
③ お使いのプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［プロパティ］を選択します。
④ ［ポート］タブをクリックしてから ［ポートの構成］ボタンをクリックし、［タイムアウト時間］を［90］から［10］に変更して、［OK］ボタンをクリックします。

紙送りがうまくいかない

仕様に合った用紙を使用していますか？

用紙厚さ・用紙枚数や紙質など仕様に合った用紙を使用してください。
使用可能な用紙については以下のページを参照してください。
☞ 本書 132 ページ「使用可能な用紙」

連続紙の置き場所に問題はありませんか？

連続紙が引っかからないように、連続紙の置き場所は、プリンタから 1m 以内の場所でプリンタに対してまっすぐ給紙される位置に置いてください。

プリンタケーブルやプリンタ台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を置いてください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

単票紙はしっかりと差し込まれていますか？

手差し給紙するときは、エッジガイドに用紙をセットし、用紙の端部中央を指で押すように差し込んでください。
☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」

連続紙がトラクタから外れていませんか？

連続紙をトラクタに正しくセットし直してください。
☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

連続紙が傾いた状態でトラクタにセットされていませんか？

連続紙の両端の穴が左右ずれた状態でトラクタにセットされていると正常な紙送りが行えません。
左右のスプロケットのゴムピンの位置を揃えます。連続紙の左右の穴位置はスプロケットのゴムピンに揃えてセットしてください。
☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

連続紙をセットする際にスプロケットの間隔は適当ですか？

連続紙がたるんだり、強く張り過ぎたりしないように左右のスプロケットの位置を調整してください。
☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

紙ホチキス仕上げの複写紙で、紙ホチキス部分にプリントヘッドが引っかかったり、連続複写紙のミシン目がプリントヘッドに引っかかったりしていませんか？

プリンタ設定値の「紙ホチキス紙モード」と「ミシン目スキップ」を［ON］に設定し、フロントまたはリアプッシュトラクタのページ長を設定してください。

☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

排紙が正常にできない

［改行 / 改ページ］スイッチを使用して排紙していませんか？
単票紙を排紙する場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを使用してください。

連続紙への印刷が終わると急に紙送りされませんか？
自動ティアオフ機能が設定されています。設定を解除する場合は、プリンタの設定値を変更してください。
☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

連続紙のミシン目スキップ（25.4mm {1 インチ } 幅の空白行）が実際のミシン目とずれていませんか？
ミシン目がカット位置に来ない場合は、次の 2 点を確認してください。
- ソフトウェア上の用紙サイズまたはページ長（連続紙）と、お使いの用紙サイズを合わせてください。
  ☞ 本書 57 ページ「プリンタドライバの設定」
  ☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」
- 用紙カット位置を調整してください。
  ☞ 本書 150 ページ「微小送り」

連続紙が排紙されずに給紙位置に残っていませんか？
排紙する前に印刷の終了している連続紙をミシン目で切り離してください。

ラベル紙が詰まったり引っかかったりしませんか？
ラベル紙を［給紙 / 排紙］スイッチで排紙しようとしています。ラベル紙を排紙（逆送り）すると、プリンタ内部にラベルが貼り付くことがあります。
ティアオフ機能は使用しないでください。
印刷後のラベル紙を取り出すときは、[改行 / 改ページ] スイッチで排紙してください。ラベル紙からほかの用紙に切り替えるときは、トラクタ側のミシン目で切り離し、ラベル紙を取り除いてください。再度ラベル紙を使用するときは、ラベル紙をセットし直してください。

> ポイント
> プリンタ内部にラベルが貼り付いて正常に印刷できない場合は、無理に取り除かずに、保守契約店（保守契約されている場合）、お買い求めいただいた販売店、エプソンサービスコールセンターのいずれかへご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、スタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

印刷結果が画面表示と異なる

印刷される文字が画面表示と異なる

本書でご案内しているインターフェイスケーブルを使用していますか？

本書でご案内している推奨ケーブル以外のケーブルを接続に使用すると正常に印刷できない場合があります。

☞ 本書 183 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

文字が化けたり、記号がカタカナで印刷されていませんか？

- 文字コード表の選択が合っていますか？プリンタ設定値の「文字コード表」の設定を確認してください。

  ☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」
- PCPR201H モードで印刷している場合は、ESC/P スーパーの設定を［ON］に設定してください。

  ☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

特定の文字や記号が違う文字や記号に化けませんか？

国際文字の選択が間違っています。ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC Rn）により、使用する国の文字に変更してください。

文字が混入したり、まったく違う文字記号に化けていませんか？

- プリンタ設定の I/F 選択が［自動］の場合、I/F 固定解除時間が経過する前にもう一方のインターフェイスからデータが送られています。印刷中は、ほかのインターフェイスから印刷データを送らないでください。
- コンピュータ側のパラレルインターフェイスの設定が［ECP モード］になっている場合は［ノーマルモード］または［スタンダードモード］に変更してください。設定変更の方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

画面の表示が旧 JIS 漢字で表示されていませんか？

本機で印刷する漢字は JIS X0208-1990 に準拠しています。旧 JIS との違いについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 264 ページ「旧 JIS との違いについて」

印刷位置（結果）が画面表示と異なる

空白行が入ったり、改ページが正しく行われずに印刷されていませんか？

- プリンタドライバから用紙サイズを設定している場合は、正しい用紙サイズを選択してください。
  ☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの設定項目」
- アプリケーションソフトやプリンタで設定されているページ長または用紙サイズと実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズが異なっています。
  アプリケーションソフトやプリンタの設定を実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズと合わせてください。
  連続紙のページ長は、プリンタ設定値のページ長（連続紙）で設定してください。
  ☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」
- プリンタ設定のミシン目スキップが［ON］に設定されています。プリンタ設定のミシン目スキップを［OFF］に設定してください。
  ☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」
- プリンタドライバで設定されている用紙サイズと使用している用紙のサイズを合わせてください。この際、用紙長が一致するサイズを選択してください。
  例えば、用紙幅 7 インチ、用紙長 4.5 インチの連続紙の場合は、用紙サイズの「連続紙 15 x 4 1/2inch」を選択します。
- 用紙の横方向のサイズがいくつであっても「連続紙 15 x XXinch」を選択し、右マージンはアプリケーションソフトの設定で行ってください。

行間隔が違っていませんか？

- 改行量の設定が不適切な場合は、行間隔が広くなったり狭くなったりします。アプリケーションソフトの改行量を正しく設定してください。
- すべての行間に空白行が追加される場合は、プリンタ設定の自動改行が［ON］に設定されている可能性があります。
  ソフトウェアから改行命令が送られるときは、自動改行する必要はありません。プリンタ設定値の自動改行を［OFF］に設定してください。
  ☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

エッジガイドの設定位置がガイドマーク ⋈ に合っていますか？

用紙ガイドのエッジガイド位置は、単票紙の左マージン（余白）に影響します。
エッジガイドをガイドマークに合わせてください。
☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

印刷位置の指定がずれていませんか？（Windows XP（64bit）/Vista のみ）

以下の 2 つを確認してください。

- プリンタドライバの［印刷位置のオフセット］
  ［拡張設定］タブの［印刷位置のオフセット］で印刷位置の縦方向 / 横方向のオフセットを指定すると、設定値の分だけ印刷位置が画面とずれます。
  また、オフセットによって印字領域からはみ出したデータは印刷されません。
  プリンタドライバをインストールした直後の入力値に戻すときは［初期値に戻す］をクリックしてください。
  ☞ 本書 63 ページ「⑧ 印刷位置のオフセット（Windows XP（64bit）/Vista のみ）」
- プリンタドライバの［印字開始位置の設定］
  ［プリンタ優先］の場合は、プリンタで設定されている印字開始位置で印刷されます。アプリケーションソフトの設定で印刷したい場合は［ドライバ優先］に設定してください。
  ☞ 本書 66 ページ「① インストール可能なオプション」

印刷が欠けていませんか？（Windows XP（64bit）/Vista のみ）

プリンタドライバで［印刷位置のオフセット］が設定されてないか確認してください。
［拡張設定］タブの［印刷位置のオフセット］で印刷位置の縦方向 / 横方向のオフセットを指定すると、設定値の分だけ印刷位置が画面とずれます。
また、オフセットによって印字領域からはみ出したデータは印刷されません。
プリンタドライバをインストールした直後の入力値に戻すときは［初期値に戻す］をクリックしてください。
☞ 本書 63 ページ「⑧ 印刷位置のオフセット（Windows XP（64bit）/Vista のみ）」

連続紙の使用時、スプロケットの位置を確認してください。

連続紙の使用時、スプロケット（左）の位置は、左マージン（余白）に影響します。スプロケットの位置を調整して印刷してください。
☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

改行されずに重なって印刷されていませんか？

改行命令がコンピュータから送られていません。プリンタ設定値の自動改行を［ON］にしてください。
☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

ミシン目付近に印刷されていませんか？

連続紙の実際のページ長とプリンタ設定値のページ長が異なっています。
アプリケーションソフトやプリンタ設定を実際に使用している用紙の長さと合わせてください。
☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

罫線がずれる

プリンタ設定値の印字方向が双方向に設定されていませんか？

プリンタ設定値の印字方向を［単方向］に設定してください。

☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

罫線が切れたり、印刷がずれたりしていませんか？

プリンタドライバやアプリケーションソフトのプリンタ設定に問題があります。

プリンタドライバやアプリケーションソフト上の用紙設定を、プリンタで使用する用紙と合っているか確認してください。

設定と異なる印刷をする

プリンタ設定値（パネル設定）、プリンタドライバ、アプリケーションソフトから異なった条件で設定されていませんか？

印刷条件の設定は、プリンタ設定値（パネル設定）、プリンタドライバ、アプリケーションソフトそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、お使いの状況により異なりますので、設定と違う印刷を行う場合は、各設定を確認してください。

☞ 本書 176 ページ「操作パネルからの設定」

☞ 本書 57 ページ「プリンタドライバの設定」

例えば、書体の選択をした場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトによる書体の選択が優先され、パネル設定は無視されます。

印刷開始位置がずれる

プリンタの電源がオンのとき、用紙を引き抜いていませんか？

プリンタの電源がオンのとき用紙を引き抜くと、印刷開始位置がずれたり、用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。印刷後の用紙を排紙する場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 154 ページ「連続紙のセット」

☞ 本書 165 ページ「単票紙のセット」

☞ 本書 172 ページ「連続紙と単票紙の切り替え」

詰まった用紙を取り除く場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 204 ページ「用紙が詰まったときは」

印刷品質がよくない

印刷ムラがある・汚い

横一列にところどころ抜けていませんか？

プリントヘッドのピンが折れています。お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

印字の下の部分が欠けていませんか？

リボンカートリッジが正しく取り付けられていません。印刷を中止して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

☞ 本書 196 ページ「リボンカートリッジの交換」

斜めの線が入っていませんか？

リボンがたるんだり、ねじれたりしています。印刷を中止して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

☞ 本書 196 ページ「リボンカートリッジの交換」

自動紙厚調整は「ON」になっていますか？

本機は使用する用紙厚に合わせてプリントヘッド位置を自動的に調整する機能を持っています。プリンタ設置値の自動紙厚調整を確認してください。

☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」

自動紙厚調整を「OFF」にしている場合は、アジャストレバーの設定を調整してください。

☞ 本書 149 ページ「アジャストレバーの設定」

印刷が薄い

印刷が薄くなっていませんか？

- リボンのインクが薄くなっています。
  印刷を中止し、新しいリボンカートリッジと交換してください。
  ☞ 本書 196 ページ「リボンカートリッジの交換」
- プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［ドラフト］になっていませんか？
  ［正式文書］に設定して印刷してみてください。
  ☞ 本書 64 ページ「グラフィックス、印刷品質の設定」
- DOS 環境下で高速印字が設定されています。
  プリンタ操作パネルの［高速印字］スイッチを押し、高速印字ランプを消灯させて高速印字の設定を解除してください。
  ☞ 本書 25 ページ「操作パネル」

自動紙厚調整は「ON」になっていますか？

本機は使用する用紙厚に合わせてプリントヘッド位置を自動的に調整する機能を持っています。プリンタ設置値の自動紙厚調整を確認してください。
☞ 本書 178 ページ「設定値を変更する」
自動紙厚調整を「OFF」にしている場合は、アジャストレバーの設定を調整してください。
☞ 本書 149 ページ「アジャストレバーの設定」

プリンタドライバの使い方が分からない

用紙サイズの設定の仕方が分からない

プリンタドライバの用紙設定を確認してください。

定形紙	用紙サイズの一覧からクリックして選択します。一覧にない定形紙の場合は、ユーザー定義サイズで設定する必要があります。
定形外	ユーザー定義サイズで設定してください。
連続紙	用紙サイズの一覧から使用する連続紙に以下の手順で選択します。 ① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。 ② プリンタドライバ上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inchは、約25.4mmです。ここでは、仮に横15inch ×縦4.67inch の用紙とします）。 ③ プリンタドライバの［用紙サイズ］の一覧から、15 × 4.67inch に合うサイズを選択します。プリンタドライバ上では、4.67inch を 4 2/3inch と分数で表現しています。 また、4 インチ未満の縦サイズ、例えば 3.3 インチの場合、10 インチ（3 等分）のように、等分で表現しています。

☞ 本書 57 ページ「プリンタドライバの設定」

インストールの仕方が分からない

Windows 3.1/95/98/Me/NT3.5x/NT4.0/2000/XP（64bit）/Vista をお使いの場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に Windows 用プリンタドライバが収録されています。以下のページを参照して、正しくインストールしてください。

☞ 本書 47 ページ「Windows でのセットアップ」

Windows XP (32bit) をお使いの場合は、OS に標準搭載されているプリンタドライバを使用します。

プリンタドライバの入手方法、ダウンロード方法

エプソンのホームページまたはエプソンディスクサービスをご利用ください。入手方法、ダウンロード方法については、以下のページで詳しくご案内しています。

☞ 本書 292 ページ「最新のプリンタドライバの入手方法」

EPSON プリンタウィンドウ !3 でのトラブル

通信エラーが発生する

プリンタの電源が入っていますか？
コンセントに電源プラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの［電源］スイッチをオンにします。

プリンタでエラーが発生していませんか？
操作パネルの印刷可ランプが点灯していることを確認してください。印刷可ランプが点灯していないときは、［印刷可］スイッチを押してください。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
☞ 本書 183 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

Windows 共有プリンタ（ピアトゥピア接続）を使用していませんか？
Windows 共有プリンタが監視できない場合は、以下の設定を確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）のコントロールパネルにある［ネットワーク］アイコンを開き、［Microsoft ネットワーク共有サービス］が設定されていることを確認します。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）に、本機のプリンタドライバがインストールされ、共有プリンタの設定がされていることを確認します。
  ☞ 本書 102 ページ「プリンタを共有するには」
- EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで、［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていることを確認します。
  ☞ 本書 86 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？
［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［ポート］タブの［双方向サポートを有効にする］にチェックが付いていることを確認します。

1 台のコンピュータに複数ユーザーが同時にログインして使用していませんか？

Windows XP (64bit)/Vista (32bit/64bit) の複数ユーザー環境において、いずれかのユーザーが印刷中にユーザー切り替えによってほかのユーザーが印刷したとき、通信エラーが発生することがあります。

一方のユーザーの印刷が終わったことを確認し、ログオフしてから、他方のユーザーに切り替えて印刷してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除（アンインストール）できない

ほかのアプリケーションソフトが起動していませんか？

ほかのアプリケーションソフトが起動しているとEPSON プリンタウィンドウ!3 は削除（アンインストール）できません。アプリケーションソフトの中には、実際の動作が画面に表示されていなくても起動している場合もありますので、各アプリケーションソフトの取扱説明書に従って終了させてください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 で共有プリンタを監視できない

Windows　XP/Vista で、[Windows セキュリティの重要な警告] 画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする] や [遮断する] を選択しましたか？

[ブロックする] や [遮断する] を選択すると、共有プリンタとの通信ができなくなるためEPSONプリンタウィンドウ !3 で共有プリンタを監視できません。

通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで例外アプリケーションとして登録してください。

> ポイント
>
> Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。弊社は、この設定変更によって生じた損害および傷害につきましては一切責任を負いません。

1. [スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックします。

2 **[Windowsファイアウォール]/[Windowsファイアウォールの設定]画面を開きます。**

- Windows XP の場合

① [セキュリティセンター] をクリックします。

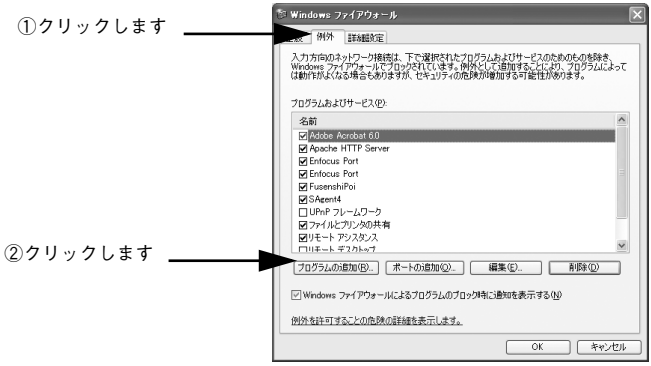
② [Windows ファイアウォール] をクリックします。

- Windows Vista の場合

① [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。

② [ユーザアカウント制御] 画面が表示されるので [続行] をクリックします。

3 **[例外] タブをクリックして、[プログラムの追加] をクリックします。**



4 **[参照] をクリックします。**

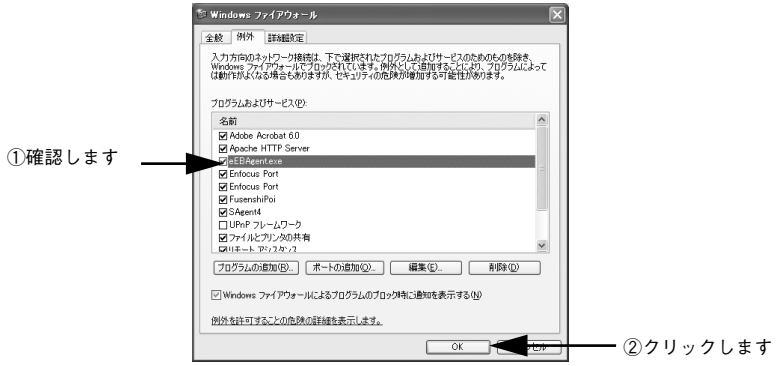
5 **[eEBAgent.exe] を設定して［開く］をクリックします。**

［eEBAgent.exe］は、Windows がインストールされているドライブの以下のフォルダに保存されています。

ドライブ名(Cなど):¥Program Files¥Common Files¥EPSON¥EBAPI¥eEBAgent.exe

6 **リストに[eEBAgent.exe]が追加されていることを確認し、[OK]をクリックします。**

7 **［プログラムおよびサービス］/［プログラムまたはポート］に［eEBAgent.exe］が追加され、チェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。**



以上で終了です。

オプションのカットシートフィーダでうまく紙送りできない

給紙・排紙スイッチを押しても用紙が給紙されない

カットシートフィーダケーブルがプリンタに接続されていますか？
カットシートフィーダケーブルをプリンタのコネクタにしっかり差し込んでください。

コンピュータから印刷命令を送ってもプラテンが回らず、用紙が給紙されない

プリンタが印刷不可状態になっていませんか？
［印刷可］スイッチを押してプリンタを印刷可状態にしてから印刷命令を送ってください。

プラテン * は回るが、給紙されずにブザーが鳴って用紙チェックランプが点灯する

* プラテン：プリンタ内部にある、用紙を支持する細長い円筒の部分

用紙がセットされていますか？
用紙をカットシートフィーダにセットしてください。
☞ 本書 192 ページ「カットシートフィーダの使い方」

用紙選択が単票紙 /CSF になっていますか？
［用紙選択］（右）スイッチを押して、単票紙 /CSF にしてください。

カットシートフィーダが正しくセットされていますか？
カットシートフィーダを取り付け直してください。とくにプリンタ本体とカットシートフィーダのギヤがうまくかみ合うことを確認してください。
☞ 本書 190 ページ「カットシートフィーダの取り付け」

カットシートフィーダのエッジガイドの間隔が狭すぎませんか？
エッジガイドを用紙がなめらかに上下できる程度の間隔に調整してください。

カットシートフィーダにセットされている用紙が最後の 1 枚ではありませんか？
最後の 1 枚は給紙されないことがあります。カットシートフィーダの用紙が残り少なくなったら新しい用紙を加えてください。

一度に 2 枚以上の用紙が送られる

カットシートフィーダにセットしてある用紙が枚数が多すぎませんか？
カットシートフィーダにセットできる用紙の枚数は、A4 サイズまでの場合、55kg 紙で 180 枚までにしてください。

用紙と用紙がくっついていませんか？
用紙と用紙が静電気などでくっついている場合があります。用紙はセットする前に十分さばいておいてください。

用紙が曲がって送られる

用紙に折り目やしわがありませんか？
使い古しの紙や、折れ曲がった紙はうまく紙送りされず、プリンタ内で引っかかることがあります。新しい用紙を使用してください。

カットシートフィーダのエッジガイドの間隔が広すぎませんか？
エッジガイドを用紙の幅に合わせて調整してください。
☞ 本書 192 ページ「カットシートフィーダの使い方」

用紙が仕様にあっていますか？
仕様にあった用紙を使用してください。
☞ 本書 189 ページ「使用できる用紙の種類」

1 枚紙の手差しができない

用紙を差し込む位置は正しいですか？
用紙ガイド（前）に差し込んでください。
☞ 本書 165 ページ「用紙ガイド（前）からの給紙」

用紙選択を単票紙 /CSF にしたが、連続紙が送られてしまった

用紙選択を変更する前に、連続紙を排紙しましたか？
用紙選択を変更する前に［給紙 / 排紙］スイッチを押して連続紙をトラクタ位置まで排紙します。用紙チェックランプが点灯していることを確認してから用紙選択を変更してください。
☞ 本書 172 ページ「連続紙と単票紙の切り替え」

オプションのインターフェイスカードを使用するとうまく印刷されない

印刷ができない、印刷がおかしい

「インターフェイス自動選択」の設定が間違っていませんか？
プリンタ設定値の「インターフェイス自動選択」を OFF にし、インターフェイスカード上のディップスイッチによってインターフェイスを選択してください。
☞ 本書 176 ページ「操作パネルからの設定」

インタフェイスカード上のディップスイッチやジャンパーの設定が間違っていませんか？
インターフェイスカードの取扱説明書を参照して、設定し直してください。

アプリケーションソフト上の設定が間違っていませんか？
アプリケーションソフトの説明書を参照して、正しく設定してください。

インターフェイスカードとコンピュータの条件設定は一致していますか？
それぞれの説明書を参照して、同じ条件に設定してください。

インターフェイスカードがはずれていませんか？
正しく取り付けてください。
☞ 本書 186 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

インターフェイスカードの仕様は合っていますか？
仕様にあったインターフェイス基板を使用してください。
☞ 本書 186 ページ「インターフェイスカード」

その他のトラブル

印刷中に印刷速度が遅くなった、途中で止まった

印刷中に印刷可ランプが点滅をして印刷速度が遅くなったり、印刷を停止した場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。プリントヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。

結露について

プリンタ内部に結露が発生すると、［電源］スイッチをオンにしてもランプが点灯するだけでプリンタが動作しないことがあります。
その場合は、一旦［電源］スイッチをオフにし、プリンタカバーを開けた状態でしばらくお待ちください。その後、再度［電源］スイッチをオンにして、プリンタが正常に動作すればプリンタの故障ではありませんので、そのままお使いください。

漏洩電流について

多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。このようなときには、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。本機からアースを取る場合には、エプソンインフォメーションセンターまたはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。お問い合わせ先はスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

操作パネルに "E"（エラー表示）と表示される

輸送時の強い衝撃により紙押さえレバー（緑色）と復帰レバーのロックがはずれることがあります。ロックがはずれた場合には、プリンタの電源スイッチをオンにしたときにエラー状態（操作パネルにＥと表示）となります。
フロントトラクタの保護具を外したら、左右両側にある紙押さえレバー（緑色）と復帰レバーをしっかり上に押し上げて、ロックされていることをお確かめください。

ご使用になる前に上の注意書きを読んでフロントカバー内部の状態を確認してください。

どうしても解決しないときは

「困ったときは」の内容を確認しても、現在の症状が改善されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断します。
→動作確認実行

本機は、プリンタの機能が正常に動作しているかを確認するための印字パターンをプリンタ内部に持っています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷機能に問題がないかを確認できます。
☞ 本書 38 ページ「動作の確認」

1. **［電源］スイッチをオフにし、インターフェイスケーブルを取り外します。**

2. **［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］どちらかのスイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**

3. **単票紙をセットします。**
   自動的に用紙を給紙し、動作確認を開始します。

   正常に印刷できない場合
   保守契約店（保守契約されている場合）、お買い求めいただいた販売店、エプソンサービスコールセンターのいずれかへご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、スタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

   正常に印刷できる場合
   プリンタは故障していません。続いて、プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。判断のしかたは、次の項目を参照してください。

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows（3.1/NT3.5x を除く）標準添付のワードパッドで簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

☞ 本書 54 ページ「印刷手順」
ワードパッドを起動した後、数文字入力してからファイルメニューの［印刷］を実行します。

正常に印刷できない場合

プリンタドライバのインストール・設定・バージョンなどに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 124 ページ「プリンタソフトウェアの削除」
☞ 本書 49 ページ「プリンタソフトウェアのインストール」

正常に印刷できる場合

- プリンタドライバをバージョンアップすることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。
  ☞ 本書 292 ページ「最新のプリンタドライバの入手方法」
- お使いのアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合わせ先へご相談ください。

ポイント

それでもトラブルが解決できない場合は、エプソンインフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターの問い合わせ先は、スタートアップガイド裏表紙をご覧ください。
お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

付録

● プリンタのお手入れ 236
● プリンタの運搬 237
● プリンタの仕様 240
● コントロールコード表 251
● 英数カナ文字コード表 256
● 漢字コード表 258
● PC-98 系コンピュータでお使いになる場合 269
● EPSON Remote! について 270
● DOS で EPSON Remote! を使う 271
● NetWare で EPSON Remote! を使う 277

プリンタのお手入れ

プリンタをいつも良好な状態で使用できるように、定期的にプリンタのお手入れをしてください。

- ［電源］スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから外し、柔らかいブラシでほこりを払います。
- 汚れがひどいときには、水に中性洗剤を少量入れたものを用意します。そこに柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

> ⚠警告 プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉じてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートすることがあります。

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタケースを傷付けることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油を注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油の補給が必要な場合には、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

プリンタの運搬

本機を輸送する場合は、プリンタを衝撃から守るために十分注意して梱包してください。

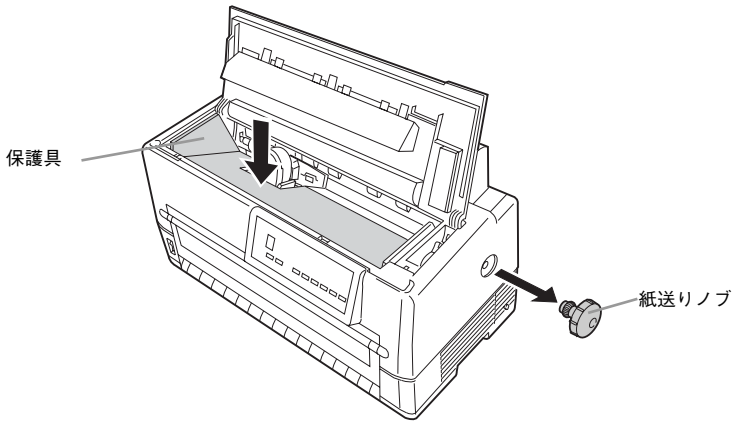
1 **［電源］スイッチをオフにします。**
用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して取り除いておきます。

2 **電源プラグとインターフェイスケーブルを外します。**
電源プラグをコンセントから抜きます。インターフェイスケーブルをプリンタから取り外します。

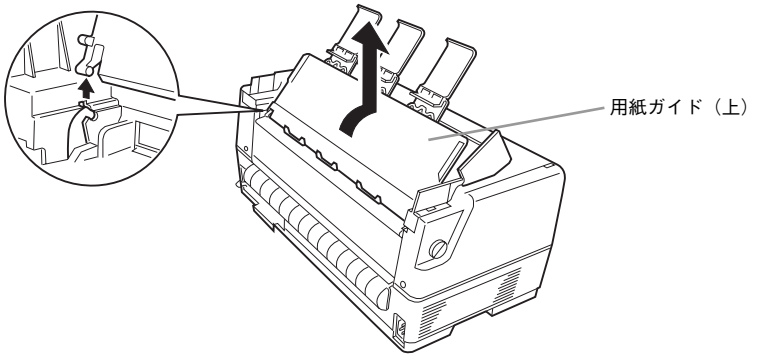
3 **用紙ガイド、およびオプションのカットシートフィーダを外します。**
以下のページを参照し、取り付けと逆の手順で行ってください。
☞ 本書 35 ページ「用紙ガイド（上）の取り付け」
☞ 本書 190 ページ「カットシートフィーダの取り付け」

4 **リボンカートリッジを外します。**
以下のページを参照し、取り付けと逆の手順で行ってください。
☞ 本書 32 ページ「リボンカートリッジの取り付け」

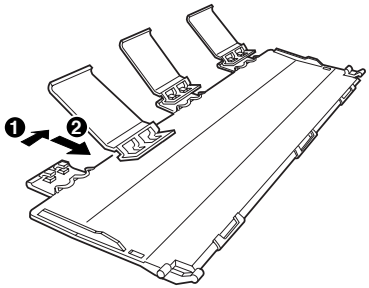
5 **紙送りノブを外し、プリントヘッドを固定する保護具を取り付けます。**
保護具を取り付けたら、上カバーを閉じます。



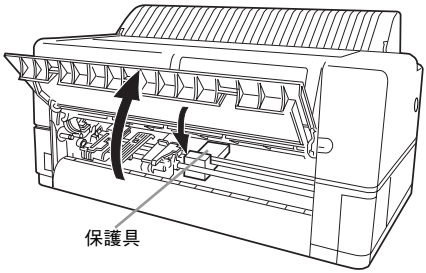
6 **用紙ガイド（上）を取り外します。**



7 **用紙サポートを斜めに立てて横にずらし、しっかり押して取り外します。**

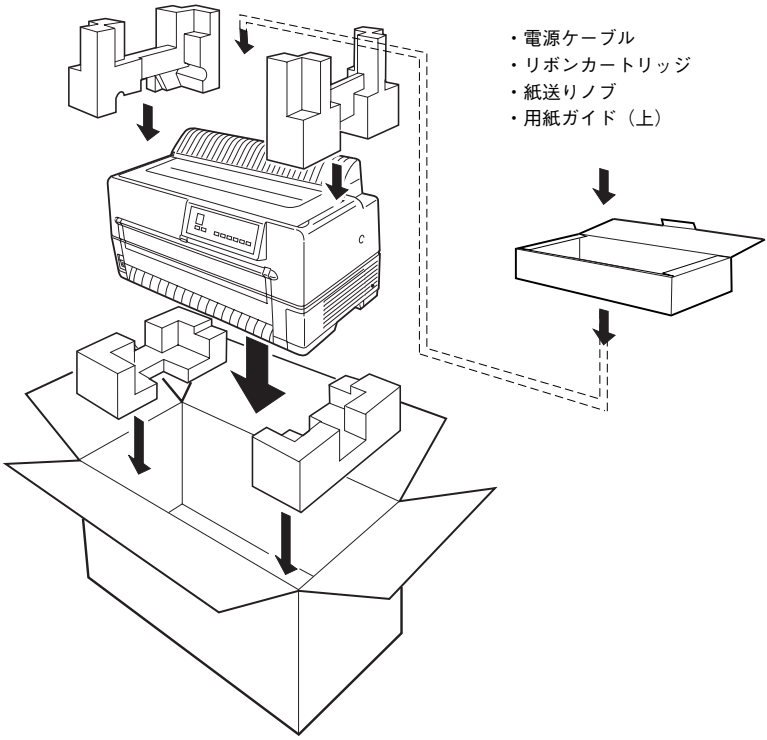


8 **フロントカバーを開け、保護具を取り付けます。**
保護具を取り付けたら、フロントカバーを閉じます。



9 次のイラストのように梱包します。

注 意	プリンタの輸送時には、上下を逆にしないでください。



プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載します。

基本仕様

- 印字方式　　インパクトドットマトリクス
- ピン配列　　24 ピン
- 印字方向　　双方向最短距離印字（ロジカルシーキング付き）
- 印字桁数 / 印字速度

英数カナ文字

印字ピッチ	印字桁数（CPL[*2]）	印字速度（CPS[*3]）	
		ドラフト	高品位
10CPI[*1]	136	360	180
12CPI	163	432	216
15CPI	204	540	270
17CPI（10CPI 縮小）	233	615	307
20CPI（10CPI 縮小）	272	720	360

漢字

印字モード	印字桁数 (CPL)	文字密度 (CPI)	印字速度 (CPS)	
			高速	高品位
漢字全角	90	6.7	240	120
漢字半角[*4]	188［181］	13.8［13.3］	498［480］	249［240］
1/4 角文字[*4]	174［168］	12.8［12.4］	462［446］	231［223］

*1：CPI(Characters per inch) 25.4mm 当たりの文字数
*2：CPL(Characters per line) 1 行当たりの文字数
*3：CPS(Characters per second) 1 秒間当たりの印字文字数
*4：［ ］内は半角文字間スペース補正時

- 紙送り方式　　フリクションフィード（フロント）
  紙幅可変プッシュトラクタフィード
  カットシートフィーダ（オプション）
- 改行間隔　　初期設定 4.23mm{1/6 インチ}
  （コントロールコードで 0.07mm{1/360 インチ } 単位に設定可能）
- 改行速度　　50ms/ 行（行間隔 4.23mm {1/6 インチ}
  228mm {9 インチ} / 秒（連続送り時）
- 入力データバッファ　　約 128K バイト /1K バイト（プリンタ設定にて選択）
- 紙厚調整　　自動 / 手動紙厚調整機能
- 用紙幅切替　　連続紙・単票紙自動切替機能

文字仕様

	英数カナ文字	漢字
文字コード	カタカナコード 拡張グラフィックスコード マルチリンガルコード マルチリンガルユーロ イタリックコード	漢字コード (JISX0208-1990 準拠)
文字種	英数カナ文字 グラフィックス 拡張グラフィックス 国際文字	第 1 水準 第 2 水準 特殊文字
書体	EPSON ROMAN EPSON SANS SERIF EPSON OCR-B	明朝体 ゴシック体

バーコード書体	EAN-13、EAN-8、Interleaved 2ofS、UPC-A、UPC-E、Code39、Code128、POSTNET

用紙仕様

＜連続紙（連続複写紙）＞

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙
用紙幅	101.6 ～ 406.4mm｛4 ～ 16 インチ｝	
用紙折り畳み長	101.6mm 以上｛4.0 インチ以上｝	
用紙厚	0.06 ～ 0.1mm	0.12 ～ 0.65mm（前から給紙） 0.12 ～ 0.42mm（後ろから給紙）
用紙連量	40 ～ 70kg	34 ～ 70kg（1 枚当たり）
コピー枚数	—	フロントプッシュトラクタ：最大 8 枚（オリジナル＋ 7 枚） リアプッシュトラクタ:最大 6 枚(オリジナル＋ 5 枚)

用紙の種類	枚数	連量（kg）*1	前から給紙	後ろから給紙	備考
1 枚紙	1	40,45,55,70	○	○	
ノンカーボン紙*2	2	34,43,55,(70)	○	○	（ ）内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能
	3	34,43,(55,70)	○	○	
	4	34,(43,55,70)	○	○	
	5	34,(43,55)	○	○	
	[6]	34,(43,55)	○	○	
	[7]	34,(43,55)	○	—	
	[8]	34,(43,55)	○	—	
裏カーボン紙*2	2	34,43,55,(70)	○	○	（ ）内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能
	3	34,43,(55,70)	○	○	
	4	34,(43,55,70)	○	○	
	5	34,(43,55)	○	○	
	[6]	34,(43,55)	○	○	
	[7]	34,(43,55)	○	—	
	[8]	34,(43,55)	○	—	
中カーボン紙*3	2	34,43,(55,70)	○	○	
	3	34,(43,55,70)	○	○	
	[4]	34,(43,55)	○	—	

表中の○印は、前から給紙および後ろから給紙で使用できる連続紙を示します。
前から給紙ではフロントプッシュトラクタに、後ろから給紙ではリアプッシュトラクタに連続紙をセットします。

*1：連量は四六判（788 × 1091mm²）の用紙 1000 枚の重量を kg で表したものです。

*2：ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量はメーカーによって異なるため、表の数値にいちばん近い連量の用紙を選んでください。また［ ］で示す枚数の用紙は、サンプルによって使用可能であることを確認してから使用してください。

*3：中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙も用紙 1 枚として含めるため、でき上がり枚数は最大 4 枚までとなります。

＜ラベル紙＞

項目	詳細
品質	上質紙
台紙折り畳み長	101.6mm以上 {4.0 インチ以上}
用紙厚（台紙を含む）	0.2mm 以下（台紙との段差は0.12mm 以下）
ラベル連量	45 ～ 70kg

ラベル紙表面は白色（反射率 60% 以上）で、染み、汚れ、しわ、カールのない上質紙であること。

＜単票紙（単票複写紙）＞

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙
用紙幅	92 ～ 420mm {3.6 インチ～ A3 横}（用紙ガイド（前）/（上）） 100 ～ 420mm {3.9 インチ～ A3 横}（カットシートフィーダ（オプション））	
用紙長	90 ～ 420mm {3.5 インチ～ A3 縦}（用紙ガイド（前）/（上）） 100 ～ 364mm {3.9 インチ～ B4 横}（カットシートフィーダ（オプション））	
用紙厚	0.05 ～ 0.1mm（用紙ガイド前） 0.06 ～ 0.1mm（用紙ガイド（上）） 0.08 ～ 0.1mm（カットシートフィーダ（オプション））	0.12 ～0.65mm（用紙ガイド（前）） 0.12 ～0.42mm（用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダ（オプション））
コピー枚数	—	用紙ガイド（前）：最大 8 枚（オリジナル +7 枚） 用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダ（オプション）：最大 6 枚（オリジナル +5 枚）
用紙重量	30 ～ 70kg（用紙ガイド（前）） 40 ～ 70kg（用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダ（オプション））	34 ～70kg（1 枚当たり）

単票複写紙の推奨組み合わせ

構成枚数と連量（kg）は次の表の通りです。

用紙の種類	枚数	連量（kg）*1	前から給紙	上から給紙	備考
1 枚紙	1	[30]	○	—	[30]の用紙幅は254mm｛10 インチ｝以下
		40,45,55,70	○	○	
ノンカーボン紙 *2	2	34,43,55,(70)	○	○	（ ）内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能
	3	34,43,(55,70)	○	○	
	4	34,(43,55,70)	○	○	
	5	34,(43,55)	○	○	
	[6]	34,(43,55)	○	○	
	[7]	34,(43,55)	○	—	
	[8]	34,(43,55)	○	—	
裏カーボン紙 *2	2	34,43,55,(70)	○	○	（ ）内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能
	3	34,43,(55,70)	○	○	
	4	34,(43,55,70)	○	○	
	5	34,(43,55)	○	○	
	[6]	34,(43,55)	○	○	
	[7]	34,(43,55)	○	—	
	[8]	34,(43,55)	○	—	

表中の○印は、前から給紙および後ろから給紙で使用できる連続紙を示します。
前から給紙ではフロントプッシュトラクタに、後ろから給紙ではリアプッシュトラクタに連続紙をセットします。

*1：連量は四六判（788 × 1091mm^2）の用紙 1000 枚の重量を kg で表したものです。

*2：ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量はメーカーによって異なるため、表の数値にいちばん近い連量の用紙を選んでください。また［ ］で示す枚数の用紙は、サンプルによって使用可能であることを確認してから使用してください。

＜ハガキ＞

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ（通常ハガキ）	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.23mm 以下	
用紙連量	165kg 相当	

＜封筒＞

項目	詳細			
品質	クラフト紙、ケント紙			
用紙幅	205mm	235mm	277mm	332mm
用紙長	90mm	120mm	216mm	240mm
用紙厚	0.35mm 以下			
用紙連量	50 ～80g/m^2			

電気関係仕様

- 定格電圧　AC100V
- 入力電圧範囲　AC90～ 110V
- 定格周波数　50～ 60Hz
- 入力周波数範囲　49.5～60.5Hz
- 定格電流　1.6A（最大 8A）
- 消費電力
  連続印刷時平均　約 110W（ISO/IEC10561 レターパターン印刷時）
  低電力モード時　7W
- 絶縁耐力　AC1000V RMS1 分または AC1200V RMS1 秒
  （AC ラインとシャーシ間）

総合仕様

- 信頼性
  平均総印字量　5,000,000 行（プリントヘッド寿命を除く）
- プリントヘッド寿命　4 億ドット（1 ピン当たり）
- 温度
  動作時　5～35℃
  保存時　-30～ 60℃
- 湿度
  動作時　10～ 80%（非結露）
  保存時　5～85%（非結露）
- 一般室温環境
  温度　15～ 25℃
  湿度　30～ 60%（非結露）
- プリンタ本体重量　約 25kg
- プリンタ本体外形寸法　幅 624mm（ノブ含む）×奥行き 300mm（突起含まず）×高さ 325mm
- リボン寿命　約 1,000 万字（ドラフト 10CPI 印字時）

インターフェイス仕様

パラレルインターフェイス（フォワードチャネル）

- データ転送方式　8 ビットパラレル
- 同期方式　外部供給 STROBE パルス信号
- ハンドシェイク　ACKNLG および BUSY 信号
- ロジックレベル　TTL レベル（IEEE-1284 Level 1device）
- 適合コネクタ　57-30360（アンフェノール）の 36 ピンまたは同等品
  （インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号の説明）

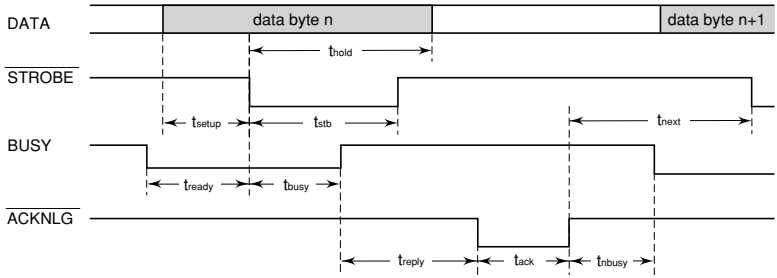
ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	$\overline{\text{STROBE}}$	センタマシン	データを読み込むためのストローブパルスです。パルス幅は 0.5μs 以上必要です。定常状態は “HIGH” であり、“LOW”になった後にデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から8ビット目までの情報を表します。“HIGH”はデータが“1” であり、“LOW” はデータが“0” であることを示します。
10	28	$\overline{\text{ACKNLG}}$	プリンタ	“LOW” は、プリンタのデータ受け取り準備ができていることを表すパルス信号です。
11	29	BUSY	プリンタ	“HIGH” は、プリンタがデータを受け取れない状態であることを示します。“LOW”はデータを受け取れる状態であることを示します。“HIGH” になるのは次の状態のときです ①データエントリー中 ②エラー状態 ③バッファフル ④イニシャライズ中または $\overline{\text{INIT}}$ 信号が “LOW” の間 ⑤テスト印刷、設定モード中
12	28	PE	プリンタ	“HIGH” は、プリンタに用紙がないことを示します。
13	28	SLCT	プリンタ	常に “HIGH” 状態。1.0KΩ で+5V にプルアップされています。
14	30	$\overline{\text{AUTO FEED XT}}$	センタマシン	使用していません。
15	—	NC	—	使用していません。

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
16	—	GND	—	ツイストペアリターン用グランド
17	—	Chassis	—	プリンタシャーシのグランド
18	—	Logic H	—	常時“HIGH”レベル、3.9kΩ で＋ 5V にプルアップされています。
19～30	—	GND	—	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	パルス幅 50μs以上の“LOW”パルスの入力ではプリンタは初期状態にセットされます。
32	29	$\overline{\text{ERROR}}$	プリンタ	“LOW”はプリンタがエラー状態であることを示します。（フェイタルエラー、紙無しエラー、カバーオープンエラー）
33	—	GND	—	ツイストペアリターン用グランド
34	—	NC	—	使用していません。
35	—	＋ 5	—	常に“HIGH”状態。1.0kΩ、＋ 5V にプルアップされています。
36	30	$\overline{\text{SLCT IN}}$	センタマシン	使用していません。

ポイント

- “LOW”アクティブ信号の場合には、信号名の上に横棒がついています。
- リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側についても必ず接続します。
- さらに、このケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのシャーシグランドに接続することでノイズ対策に効果があります。
- インターフェイス条件は、すべて TTL レベルを基準とします。
- プリンタ出力の立ち上がり / 立ち下がり時間：120nsec 以下
- センタマシン出力の立ち上がり / 立ち下がり時間：200nsec 以下
- ACKNLG または BUSY 信号を無視してのデータ転送は行わないでください。（プリンタへのデータ転送は、ACKNLG を確認するか、BUSY が“LOW”状態のときに行ってください）

パラレルインターフェイスタイミングチャート



パラメータ	最小値	最大値
tsetup	500nsec	—
thold	500nsec	—
tstb	500nsec	—
tready	0	—
tbusy	—	500nsec
treply	—	—
tack	500nsec	10μs
tnbusy	0	—
tnext	0	—

パラレルインターフェイス（リバースチャネル）

- データ転送方式　IEEE-1284 ニブルモード
- 同期方式　IEEE-1284 準拠
- ハンドシェイク　IEEE-1284 準拠
- ロジックレベル　TTL レベル（IEEE-1284 Level 1 device）
- データ転送タイミング IEEE-1284 準拠
- 拡張要求データ　拡張要求データ値が 00H または 04H の場合、要求を受け付ける。それぞれの意味は次の通り。
  00H : リバースチャネル転送をニブルモードで行うよう要求。
  04H : リバースチャネル転送のニブルモードを使用してデバイス ID を返すことを要求。
- デバイス ID　[00H][3EH]
  MFG:EPSON;
  CMD:ESCP24J,ESCPSUPER,BDC;
  MDL:VP-5200;
  CLS:PRINTER;
- 入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	センタマシン	ホスト側のクロック信号。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から8ビット目までの情報を表します。“HIGH”はデータが“1” であり、“LOW” はデータが“0” であることを示します。
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy/ DataBit-3,7	プリンタ	プリンタ側の BUSY 信号およびリバースチャネルでのデータビット 3 またはデータビット 7
12	28	AckDataReq/ DataBit-2,6	プリンタ	Acknowledgeデータ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット 2 またはデータビット 6
13	28	Xflag/ DataBit-1,5	プリンタ	X-flag 信号およびリバースチャネルでのデータビット 1 またはデータビット
14	30	HostBusy	センタマシン	ホスト側の BUSY 信号
15	---	NC	---	使用していません。
16	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
17	---	Chassis	---	プリンタのシャーシのグランド

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
18	---	Logic H	プリンタ	“HIGH” はプリンタが出力するすべての信号が有効であることを示します。
19～30	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	使用していません。
32	29	$\overline{\text{Data Avail}}$/ DataBit-0,4	プリンタ	Data available 信号およびリバースチャネルでのデータビット 0 またはデータビット 4
33	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
34	---	NC	---	使用していません。
35	---	+5V	プリンタ	常に “HIGH” 状態。1.0kΩ で +5V にプルアップされています。
36	30	1284-Active	センタマシン	1284 active 信号

初期化

次の 3 通りの方法で初期化（イニシャライズ）されます。ただし、いずれの初期化の場合も、操作パネルで設定した初期設定値になるとともに操作パネルの設定で変更された値は保持されます。

	ハードウェア初期化	ソフトウェア初期化	リセットスイッチ初期化
方法	電源を再投入あるいはプリンタがパラレルインターフェイスから $\overline{\text{INIT}}$ を信号を受信	ソフトウェア初期化ソフトウェア初期化 ESC@ コード（プリンタの初期化）を送る	操作パネル上の［印刷可］スイッチを押しながら［高速印字］スイッチを押す
初期化内容	・プリンタメカニズム ・入力データバッファ ・ダウンロード文字、外字 ・プリントバッファ	・プリントバッファ	・入力データバッファ ・プリントバッファ

ポイント

リセットスイッチの操作方法について詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書 25 ページ「操作パネル」

コントロールコード表

本プリンタはEPSON ESC/P™ の ESC/P24-J84 に準拠したコントロールコードで動作します。以下に使用できるコントロールコードの一覧を示します。各コントロールコードの詳細は、別売の「EPSON ESC/P リファレンスマニュアル」を参照してください。

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
印字・紙送り	印字復帰	CR	
	改行	LF	
	改ページ	FF	
	n/180 インチ順方向紙送り	ESC J n	0 ≦ n ≦ 255 (n/180 インチ)
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC C n	1 ≦ n ≦ 127 (n 行)
	インチ単位ページ長設定	ESC C 0 n	1 ≦ n ≦ 22 (n インチ)
	ミシン目スキップ設定	ESC N n	1 ≦ n ≦ 127 (n 行)
	ミシン目スキップ解除	ESC O	
	右マージン設定	ESC Q n	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数)
	左マージン設定	ESC l n	0 ≦ n ≦ 255 (n：桁数)
改行量設定	1/8 インチ改行量設定	ESC 0	
	1/6 インチ改行量設定	ESC 2	
	n/180 インチ改行量設定	ESC 3 n	0 ≦ n ≦ 255 (n/180 インチ)
	n/360 インチ改行量設定	ESC + n	0 ≦ n ≦ 255 (n/360 インチ)
タブ設定	水平タブ位置設定	ESC D [n]$_k$ NUL	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数) 1 ≦ $_k$ ≦ 32 (k :タブ数)
	垂直タブ位置設定	ESC B [n]$_k$ NUL	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数) 1 ≦ $_k$ ≦ 16 (k :タブ数)
	水平タブ実行	HT	
	垂直タブ実行	VT	
	絶対水平位置指定	ESC $ n_1 n_2	0 ≦ (n_1 + n_2 × 256) ≦右マージン位置 (n_1 + n_2 × 256：ドット数) (n_1：ドット数を 256 で割った値の余り) (n_2：ドット数を 256 で割った値の商)
	相対水平位置指定	ESC ¥ n_1 n_2	左マージン位置≦ (n_1 + n_2 × 256) ≦右マージン位置 (n_1 + n_2 × 256：ドット数) (n_1：ドット数を 256 で割った値の余り) (n_2：ドット数を 256 で割った値の商)

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字セット	文字品位選択	ESC x n	n＝0，1
	書体選択	ESC k n	n＝0，1，5
	プロポーショナル文字指定/解除	ESC p n	n＝0，1
	10cpi 指定	ESC P	
	12cpi 指定	ESC M	
	15cpi 指定	ESC g	
	スーパー/ サブスクリプト指定	ESC S n	n＝0，1
	スーパー/ サブスクリプト解除	ESC T	
	ライン付き文字選択	ESC (- n_1 n_2 m d_1 d_2	n_1＝3 n_2＝0 m＝1 d_1＝1，2，3 (d_1：線位置) 0 ≦ d_2 ≦ 255 (d_2: 線種)
	縮小指定	SI	
	縮小解除	DC2	
	アンダーライン指定／解除	ESC - n	n＝0，1
	縦倍拡大指定／解除	ESC w n	n＝0，1
	国際文字選択	ESC R n	0 ≦ n ≦ 12 (n: 国際文字の番号)
	文字コード表選択	ESC t n	n＝1，3

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字定義	ダウンロード文字定義	ESC & 0 n m [a_0 a_1 a_2 p_1...p_k]m-n+1	32 ≦ n ≦ m ≦ 127 0 ≦ a_0 ≦ 127 0 ≦ a_1 ≦ 37 − 128 ≦ a_2 ≦ 127 0 ≦ p_1...p_k ≦ 255 (m − n + 1：登録文字数) (n：開始コード) (m：終了コード) (a_0：左スペース) (a_1：文字幅) (a_2：右スペース) (p_1...p_k：データ)
	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC % n	n = 0，1
	文字セットコピー	ESC : 0 n S	n = 0 s = 0
	文字間スペース量設定	ESC SP n	0 ≦ n ≦ 127　(n：ドット数)
	イタリック指定	ESC 4	
	イタリック解除	ESC 5	
	強調指定	ESC E	
	強調解除	ESC F	
	二重印字指定	ESC G	
	二重印字解除	ESC H	
	文字スタイル選択	ESC q n	n = 0，1，2，3
	倍幅拡大指定／解除	ESC W n	n = 0，1
	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	
	一括指定	ESC ! n	0 ≦ n ≦ 255 (n：指定または解除の値の和)
漢字文字セット	漢字モード指定	FS &	
	漢字モード解除	FS .	
	漢字書体選択	FS k n	n = 0，1
	半角文字指定	FS SI	
	半角文字解除	FS DC2	
	1/4 角文字指定	FS r n	n = 0，1
漢字文字定義	外字定義	FS 2 a_1 a_2 [d]$_k$	a_1 = 77_H 21_H ≦ a_2 ≦ $7E_H$ 0 ≦ d ≦ 255 $_k$ = 72 (a_1,a_2：外字コード) (a_1：第1バイト) (a_2：第2バイト) ([d]$_k$：データ)

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
漢字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS S n_1 n_2	0 ≦ n_1 ≦ 127 0 ≦ n_2 ≦ 127 (n_1 : 左スペース量 (n_1/180 インチ)) (n_2 : 右スペース量 (n_2/180 インチ))
	半角文字スペース量設定	FS T n_1 n_2	0 ≦ n_1 ≦ 127 0 ≦ n_2 ≦ 127 (n_1 : 左スペース量 (n_1/180 インチ)) (n_2 : 右スペース量 (n_2/180 インチ))
漢字装飾	漢字縦書き指定	FS J	
	漢字横書き指定	FS K	
	半角縦書き 2 文字指定	FS D [d]$_k$	$_k$ = 4
	4 倍角指定／解除	FS W n	n = 0，1
	漢字アンダーライン指定／解除	FS - n	n = 0，1，2
	漢字一括指定／解除	FS ! n	0 ≦ n ≦ 255 (n : 指定または解除の値の和)
ビットマップイメージ選択	ビットイメージ選択	ESC * m n_1 n_2 [d]$_k$	m =0～4, 6, 32, 33, 38～40 0 ≦ n_1 ≦ 255 0 ≦ n_2 ≦ 19 j = 1，3 $_k$ = (n_1 + n_2 × 256) × j (m : 選択するビットイメージ) (n_1 + n_2 × 256 : 水平方向ドット数) (n_1 : 水平方向ドット数を256 で割った値の余り) (n_2 : 水平方向ドット数を256 で割った値の商) ([d]$_k$: データ)
	ビットイメージリピート選択	ESC * m r_1 r_2 n_1 n_2 [d]$_k$	m = 167 0 ≦ r_1 ≦ 255 0 ≦ r_2 ≦ 19 0 ≦ n_1 ≦ 180 n_2 = 0 j = 3 k = (n_1 + n_2 × 256) × j (m : 選択するビットイメージ) (r_1 + r_2 × 256 : ビットイメージを繰り返す回数) (r_1 : 回数を 256 で割った値の余り) (r_2 : 回数を 256 で割った値の商) (n_1 + n_2 × 256 : ビットイメージを繰り返す回数) (n_1 : 回数を 256 で割った値の余り) (n_2 : 回数を 256 で割った値の商) ([d]$_k$: データ)
初期化	初期化	ESC @	
キャリッジ制御	単方向印字指定 / 解除	ESC U n	n = 0，1
	漢字高速印字指定 / 解除	FS x n	n = 0，1
CSF 制御	カットシートフィーダ制御	ESC EM n	n = “1”，“R”

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
その他	半角文字スペース量補正	FS U	
	半角文字スペース量補正解除	FS V	
	ページ長設定	ESC (C n_1 n_2 m_1 m_2	$n_1 = 2$ $n_2 = 0$ $0 <$ ($m_1 + m_2 \times 256$) ×基準ユニット≦ 22 インチ
	ページフォーマット設定	ESC (c n_1 n_2 tL tH bL bH	$n_1 = 4$ $n_2 = 0$ $0 \leqq$ (tL + tH × 256) ×基準ユニット< (bL + bH × 256) ×基準ユニット≦ 22 インチ
	バーコード印字	ESC (B n_1 n_2 j m s v_1 v_2 c $[d]_k$	$0 \leqq n_1 \leqq 255$ $0 \leqq n_2 \leqq 127$ $0 \leqq j \leqq 7$ $2 \leqq m \leqq 5$ $-3 \leqq s \leqq 3$ $45 \leqq (v_1 + v_2 \times 256) \leqq 3960$ $0 \leqq c \leqq 255$ $_k = n_1 + n_2 \times 256$ ($n_1 + n_2 \times 256$：データ数＋ 6) (j：バーコード種) (m：最小モジュール幅) (s：白バー微調整) ($v_1 + v_2 \times 256$：高さ) (c：付加,印字等) ($[d]_k$：データ)

英数カナ文字コード表

カタカナコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	‘	p	＿	┴		ー	タ	ミ	二	×
1			!	1	A	Q	a	q	▁	┬	。	ア	チ	ム	卜	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▂	┤	「	イ	ツ	メ	土	年
3			#	3	C	S	c	s	▃	├	」	ウ	テ	モ	彐	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▄	‾	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅	—	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▆	｜	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			’	7	G	W	g	w	▇	｜	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	｜	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▌	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▌	└	ェ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▋	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	┌	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	]	m	}	▋	┐	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	■	└	ョ	セ	ホ	゛	／	▒
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	+	ノ	ッ	ソ	マ	゜	＼	

拡張グラフィックスコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	‘	p	Ç	É	á	▒	└	┸	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▒	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	｜	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	a	╢	╞	╓	μ	÷
7			’	7	G	W	g	w	ç	ù	o	╖	╟	╫	τ	≈
8			(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	▉	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	η
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

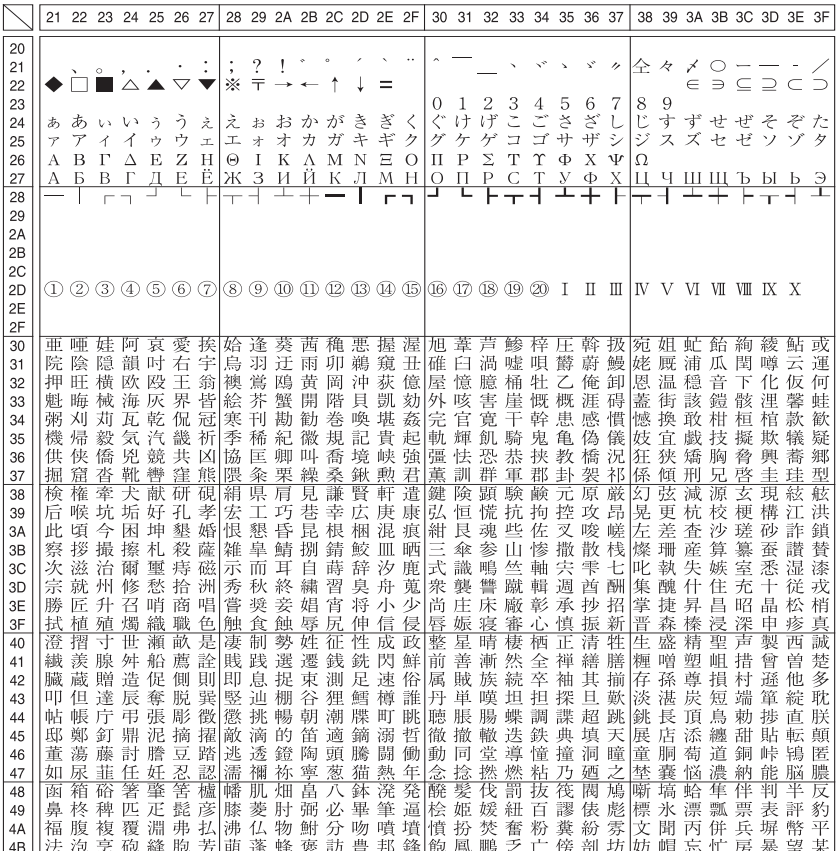
国際文字

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン1	₧	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	Ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	à	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	Ó	ú

漢字コード表

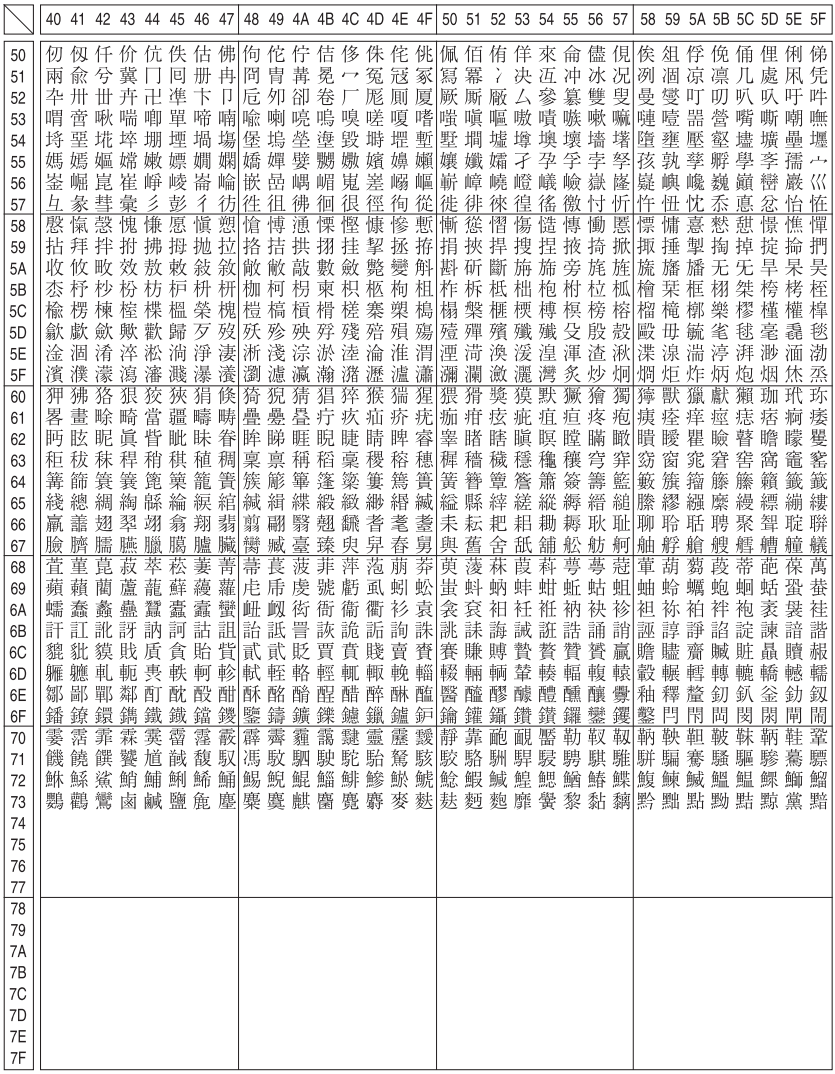
この漢字コード表は JIS X0208-1990 に準拠しています。

漢字コード表



	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
20									∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥	$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇
21	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∵	♂	♀								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶				○
22	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝		∫	∬																				
23		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	み	ゑ	を	ん											
25	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26																															
27	o	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28																															
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	�″	〃	№	㏍	™	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E																															
2F																															
30	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	逸	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	塊	壊	懐	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	橿	梶	鰍	潟	割	喝	蛞	我	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	釜	叶	椛	樺	株	寄	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	期	茅
34	巌	梶	玩	癌	喝	翫	球	雁	頑	顔	願	企	給	牛	去	器	巨	奇	嬉	岐	渠	希	幾	既	机	旗	棄	既	魚	亨	棋
35	朽	求	近	汲	岩	灸	銀	九	笈	級	糾	旧	苦	駆	訣	居	駒	拒	愚	拠	虞	喰	虚	許	漁	隅	串	建	櫛	亭	享
36	謹	戟	金	撃	泣	吟	激	隙	区	狗	玖	穴	結	血	訣	月	駆	具	愚	健	交	空	剣	偶	喧	寓	嫌	建	憲	懸	厚
37	劇	戟	近	撃	泣	吟	激	隙	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	鯉	健	交	候	喉	倖	獄	策	事	呪	叙	畳	趨
38	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	拷	豪	轟	麹	尖	溢	乞	国	撰	栓	葬	択	鋳	挺	湯	二	箔	肩	蝙	蝠	灯
39	項	香	罪	高	財	獅	祉	若	純	障	酎	雪	巣	檗	茶	低	塔	瓜	貫	弧	刺	殺	秘	赴	阜	母	膜	爺	洛	緒	落
3A	材	氏	獅	祉	若	純	障	酎	雪	巣	檗	茶	低	塔	瓜	貫	弧	刺	萩	秘	赴	幕	母	膜	枕	耶	野	落	霊	麗
3B	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	惹	脂	至	視	詞	殊	曙	場	酔	錐	詩	賜	誌	種	緒	常	随	瑞	髄	撰	栓	葬	梅	蒼	藻
3C	酌	秤	錫	盾	寂	弱	惹	醇	丈	炊	守	初	冗	翠	衰	遂	雫	趣	書	擾	髄	撰	荘	托	酎	抵	淘	難	泊	費	舞
3D	準	鉦	潤	鍾	純	巡	遵	上	水	推	処	乗	粋	翠	衰	遂	錐	場	曙	渚	墟	庶	嬢	錘	情	瑞	髄	撰	栓	葬	梅	蒼
3E	逗	吹	垂	鍾	障	帥	推	水	炊	丈	醇	惹	脂	至	視	詞	殊	暑	城	崎	埼	視	嬢	錘	常	随	瑞	髄	撰	栓	葬	梅
3F	窃	垂	帥	推	絶	鎗	鯛	嫡	停	塘	凪	売	賈	賠	陪	這	棟	伯	剥	萩	秘	赴	阜	母	膜	爺	洛	隷	零	霊	麗
40	窃	節	説	雪	巣	檗	茶	滴	停	塘	瓜	売	賈	賠	陪	這	扇	草	宅	註	悌	盗	軟	柏	誹	武	俸	鱒	矢	乱	齢
41	操	早	曹	巣	黛	茶	鯛	嫡	停	塘	凪	売	賈	賠	陪	這	扇	草	宅	註	悌	盗	軟	柏	誹	武	俸	鱒	矢	乱	齢
42	退	逮	隊	窒	黛	茶	鯛	嫡	停	塘	凪	売	賈	賠	陪	這	扇	草	宅	註	悌	盗	軟	柏	誹	武	俸	鱒	矢	乱	齢
43	逐	秩	窒	茶	低	塔	代	着	偵	宅	謎	陪	這	棟	伯	剥	萩	秘	赴	阜	母	膜	爺	洛	隷	零	霊	麗	被	撫	倣
44	釣	鶴	亭	唐	内	狽	中	剃	貞	島	灘	棟	伯	剥	萩	秘	碑	賦	戊	槙	冶	頼	苓	肥	侮	苦	鮪	野	落	柾	弥
45	凍	刀	那	内	狽	中	剃	貞	島	灘	捺	鍋	秤	楯	矧	萩	秘	赴	阜	母	膜	爺	洛	隷	零	霊	麗	被	撫	倣	柾
46	奈	那	煤	狽	中	剃	貞	島	灘	蝿	捺	鍋	秤	楯	矧	萩	秘	赴	阜	母	膜	爺	洛	隷	零	霊	麗	被	撫	倣	柾
47	楳	煤	狽	中	剃	貞	島	灘	蝿	捺	鍋	秤	楯	矧	萩	秘	碑	賦	戊	槙	冶	頼	苓	肥	侮	苦	鮪	野	落	柾	弥
48	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	斧	浮	歩	父	甫	扶	敷	普	譜	墓	慕	戊	募	枚	門	裸	怜	翼	例	冷	淀	靖	覧	廉	恋	憐	連	煉	簾	練	聯
4A	圃	捕	磨	魔	籾	翌	伶	令	毎	匁	来	玲																			
4B	摩	戻	浴	令																											
4C	尤	沃	類																												
4D																															
4E																															
4F																															

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
50	弋	丐	丕	个	仳	丶	丱	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	弋	于	亞	亟	一	亢	京	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	僉	丏	僊	傳	傌	僞	僂	僭	勞	僖	勷	價	勦	勳	勵	儷	儕	匆	匈	匏	匍	匐	匏	兀	兒	兒	匯	兌	兎	兢	競
52	辦	劬	劭	勍	劼	劻	勗	哦	唏	唔	圩	姜	岑	廬	廔	勸	匏	卿	喫	坡	匍	匍	啖	匕	匚	匣	匿	匱	匳	匸	區
53	咫	哥	哢	哂	哢	圖	嗇	圜	圾	埭	堊	堙	埴	址	坏	垻	垂	埠	堊	埤	垉	垉	垓	塭	塙	塀	塢	塒	塉	埠	喊
54	圈	妁	國	圍	妝	圓	侯	姆	屹	姨	岌	廬	廔	妍	姓	姒	娉	娉	娚	娉	娉	娩	娠	婢	婢	婪	媚	媛	媾	媼	嫂
55	奸	屐	屝	廝	屬	廚	廡	廨	屹	岑	廬	廳	廢	廴	廼	廿	弄	弊	弋	弋	弋	弋	弓	弩	弭	弼	弼	弼	彌	彎	彎
56	履	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廓	廩	廬	廳	廡	廴	廼	廿	弄	弊	弋	弋	弋	弋	弓	弩	弭	弼	弼	弼	彌	彎	彎
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廓	廩	廬	廳	廡	廴	廼	廿	弄	弊	弋	弋	弋	弋	弓	弩	弭	弼	弼	弼	彌	彎	彎
58	悄	悛	悖	悗	悁	悃	悋	惡	惸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	惴	愕	愣	惲	愀	愎	愒	愫	愾	愍	愿	愷	愉	慄	慇	慥
59	愛	戡	擐	擅	截	戰	戲	擘	旷	擧	曳	扣	擠	晏	棠	棣	扱	找	擴	朮	掄	霸	掛	耍	掛	拇	拗	撻	拚	拆	攬
5A	據	擒	曖	擇	曚	擢	曦	攉	曩	棣	曰	枻	曳	朏	棒	棓	棗	棖	棗	棟	攬	朶	枒	枴	枳	枹	杠	楮	枻	攻	杰
5B	曄	暸	曖	棕	櫙	椒	棲	棣	朐	櫟	棹	曳	棬	棗	檳	衍	澱	檸	檬	檸	澤	洟	潸	澀	濆	濤	濘	濱	濕	濬	瀾	濘
5C	楷	棧	棕	櫙	棲	檸	棲	檬	曰	櫟	櫟	檢	櫟	櫚	櫃	櫟	欒	檑	欒	楹	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖
5D	檗	檗	泛	洟	檻	櫃	汗	潸	淪	檻	櫟	櫟	洙	潭	潭	澈	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓
5E	洩	泛	漓	滷	櫻	櫂	汨	潺	潛	櫟	櫟	檢	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟
5F	漾	漓	滷	澆	濯	濬	澱	濬	潛	濬	潭	澈	潛	潭	澈	澎	澀	濂	潦	澳	潛	澡	濘	濬	濱	濟	濤	濱	濕	濬	瀾	濘
60	爨	爝	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爿	牀	牖	牆	牋	牘	牴	牽	犂	甦	甫	犒	犖	盼	犧	狹	狂	狄	狎	狄
61	瓠	瓣	癶	磚	砝	癸	皂	碘	礒	筵	筮	筰	筴	箠	箝	箘	箕	箙	箠	箜	箝	箘	箕	盡	眸	睥	睽	瞇	盧	瀘	畝
62	癲	癶	磚	砝	癸	皂	碘	礒	筵	筮	筰	筴	箠	箝	箘	箕	箙	箠	箜	箝	箘	箕	箙	禪	禮	禳	禹	秉	秕	秩	秒
63	磧	磚	礙	礎	磴	礒	礎	礫	筵	筮	筰	筴	箠	箝	箘	箕	箙	箠	箜	箝	箘	箕	箙	齋	箏	篋	篌	篥	篙	篠	篆
64	筐	笄	筍	紕	笨	綱	笨	紕	罘	罟	紛	絆	罠	絳	罩	絹	絹	罨	絆	羈	羶	羌	腔	羔	羹	羯	羚	羶	羲	羹	羶	綽
65	紂	紜	罌	紕	曩	紜	网	胼	腥	罟	腦	腷	腴	腱	腱	膂	膠	膕	膂	膤	膛	膃	腸	膻	膵	膾	膸	膽	臂	臂	膺
66	鰳	隋	膊	膕	膕	膊	膕	膊	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕
67	隋	隋	膊	膕	膕	膊	膕	膊	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕	膕
68	茵	茴	茗	茲	茱	菰	茹	荐	薑	蝥	蔣	蔗	蔣	蔽	薇	我	荅	莢	莖	莫	藉	蛲	莊	莖	莞	莖	莞	莖	莫	莉	萹	萑
69	葎	藥	蓋	蝪	蠅	螢	螟	蠣	櫸	蠑	蠍	蠑	蠍	蠑	蠍	薛	蒨	蓦	蕾	蟆	蛻	蟄	蟠	蟆	蟆	蟆	蟆	蟆	蟆	蟆	蟆
6A	蝓	蝪	蠟	蝪	蠅	螢	蠣	蠣	蠑	蠍	蠑	蠍	蠑	蠍	蠑	螟	覬	覯	覲	覲	覺	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽
6B	繘	繘	譬	譯	譽	讀	讌	讌	讌	讌	讌	讌	讌	讌	讌	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎
6C	譟	譬	譯	譽	讀	讌	讌	讌	讌	讌	讌	讌	讌	讌	讌	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎	豎
6D	蹇	蹉	蹌	蹈	蹈	蹙	蹊	蹂	躁	躊	躍	躔	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓	躓
6E	遏	遐	遑	鍔	遒	鈑	遒	鍛	遘	鍠	鍤	遨	鍔	遶	鍋	遵	遷	遨	鍠	鍤	鍠	遨	鍔	鑼	邯	鍠	鍵	鍠	鍔	鄂	鄢
6F	鎔	錢	錚	鍛	錢	鈑	銃	鍛	鍠	鍤	鍔	鍠	鍤	鍔	鍋	鍠	鍤	鍔	鍠	鍤	鍠	鍤	鍔	鑼	鄒	鍠	鍵	鍠	鍔	鄂	鄢
70	陝	陏	隄	陋	陋	隘	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	雍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	顱	顰	顰	顰	顰	顰	顰	飄	飄	飄	飩	飫	飩	飴	餃	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬	餬
72	髻	鬆	鬘	鬚	鬚	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬩	鬮	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱
73	鵝	鵞	鵠	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鶯	鶲	鶴	鶸	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺	鶺
74	鷥	鷦	鷯	遙	瑤	凜	熙																								
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															



	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
50	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	傚	傅	僂	傴	僇	傲
51	凰	冂	函	刓	刋	刎	刧	刼	刪	刮	刳	刺	剞	剡	剔	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	劀	劂	劃	劇	劈	劉	劊	劍
52	呀	听	吮	咄	咆	哢	呤	哧	呻	呪	咏	呶	咫	呱	呷	呰	咀	咡	咽	咯	咸	哇	咳	哂	哿	喊	喟	喫	喨	嗇	嗜
53	噫	噤	噺	噸	噪	噛	噤	噴	噐	噥	噎	噲	噂	噌	嚆	噤	嚙	嚀	嚊	嚔	嚊	嚕	嚔	嚊	圀	圉	圈	國	圍	圏	圈
54	壜	壌	壟	壯	奩	壺	壼	嬋	壽	夥	夕	夏	夐	夢	夥	夾	奇	奔	奪	奐	奕	奐	奩	奔	奢	奠	奥	奨	奩	奮	奮
55	它	宦	宸	寇	寃	寂	寇	寐	寤	實	寢	寞	寤	寢	寶	寳	尠	尭	將	尠	對	尓	尓	尠	尹	尸	尾	屁	屆	屢	屓
56	巫	巳	巵	帋	帑	帙	帛	帑	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幟	幣	幣	幣	幇	恣	幷	并	恤	广	庠	恙	戈	廁	廂	廈
57	怙	怡	怩	怎	怱	怕	怛	佛	怦	怏	怵	恣	恚	恪	恊	恂	恊	恆	恍	恊	恬	恬	恰	恬	恫	恋	恣	戉	戍	戊	戔
58	憊	憑	憫	憩	憮	憺	懌	懷	懈	懃	懆	懴	懋	懶	懺	懴	懦	懣	懶	懺	懿	懼	懽	懼	戀	戁	戄	戞	戡	戢	戝
59	扼	捩	掾	揩	揀	揆	揶	揷	揖	揚	換	挽	拶	拾	拭	拮	挌	挿	捍	捐	捕	捗	捜	捔	掾	掩	揉	揖	揵	揚	換
5A	旻	旻	旻	杳	杷	杳	杲	杳	旻	晉	晁	晞	晤	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	晢	晧	晨	晢	晟	晁	晞	晩	晩	晩	晩
5B	梳	椿	梓	椶	椀	椁	椁	槫	椄	椄	椀	椁	椄	槫	椁	椁	椀	梧	椁	椁	椀	椁	椁	椁	棊	棲	棲	棚	棚	棚	棚
5C	槲	槧	毬	毟	氛	氛	氣	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛
5D	麾	麾	氈	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛	氛
5E	滿	渝	烽	焜	焙	煥	熙	熙	煦	煌	煖	熏	燻	燦	燬	燹	燻	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹
5F	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	煦	煌	煖	熏	燻	燦	燬	燹	燻	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹
60	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	琲	琺	琲	瑕	瑕	瑤	瑠	瑁	瑜	瑩	瑰	璢	瑣	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓏	瓔	瓠	瓰
61	痼	瘁	痰	痺	癪	矮	瘤	瘍	癌	癆	癇	癘	癖	癈	癨	癈	瘼	瘻	瘤	癇	癈	癆	癘	癈	癢	癨	癤	癩	癙	癬	癰
62	矗	矚	矜	矣	矓	矍	竊	矧	礦	砠	砒	砠	礪	砕	砕	砦	磆	磧	磆	磧	磆	磧	磆	磧	礎	礫	碾	碼	磅	磊	磬
63	窶	竅	竄	粉	粟	竇	竊	竚	竝	竚	竝	竚	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	笞	笨	笆	笵	笨	笑	筐
64	籥	籬	粁	粭	粉	粤	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	粭	糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲
65	繆	繻	纏	纈	纏	繞	聽	聿	繙	繪	繩	繩	繼	肓	肱	繻	繽	繽	繽	繽	繽	繽	繽	繽	纒	纓	纔	纖	纜	纛	纓
66	聳	聲	聰	聶	聴	聽	艶	肆	肄	肅	肛	芒	芫	肚	芟	芰	胛	胥	胙	胝	胚	胃	胖	胙	胯	胛	苹	苞	胱	脛	脩
67	艫	艫	艫	艫	艫	艫	艫	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芰	芻	芍	苣	苟	苒	苣	苣	苣	苣	苣	苺	苺	苻	苹	苜	茆	茉
68	莇	蓙	蓋	蒹	蒿	蒟	蓼	蓙	蓙	著	蒹	蓙	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓍	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼
69	蛟	蛛	蛯	蜆	蜈	蜿	裙	裹	褻	蜑	蜉	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑	蜑
6A	袱	裨	裄	裔	裡	裼	裙	裹	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼	裼
6B	謂	諢	諠	諤	諠	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢	諢
6C	赭	赴	趄	趁	趙	跂	趾	辯	跡	跚	迎	跖	迢	迥	跿	迪	迢	迹	迺	迷	逕	逡	銛	逍	鉚	阮	頡	頤	逞	踞	踑
6D	轢	鈍	鈬	轤	鈞	閧	辜	釿	辞	辣	釈	鈕	閤	鈬	鉗	鉅	鈬	鉉	鉤	鉗	鉢	鉤	銛	銕	阡	頚	頚	頚	鋏	銕	逞
6E	釵	閏	閏	閔	鈬	閭	閣	閣	閾	濶	閨	闍	闌	闕	闔	闐	闊	闡	闔	闢	闊	闔	闔	闔	阨	阮	頡	頚	陋	陏	陝
6F	閏	閏	鈬	閔	閭	閣	閣	閾	闊	濶	閨	闍	闌	闕	闔	闐	闊	闡	闔	闢	闊	闔	闔	闔	阡	頚	頚	頚	陋	陏	陝
70	靹	鞆	鞴	鞦	鞣	鞳	鞴	鞴	鞴	鞴	鞴	鞴	韮	齏	韲	竟	韶	韵	頌	頌	頸	顋	顋	顋	顋	顋	顋	顋	顋	顋	顋
71	驃	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驤	驤	驤	驤	驤	驤	驤	髏	髑	髖	髑	髑	髑	髑	髑	髑	髑	髑	髑	髑	髑	髑
72	鯡	鰄	鰊	鰲	鰾	鰐	鰭	鰮	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭
73	黴	黶	黷	黼	黴	黶	黷	黼	黴	黶	黷	黼	黴	黶	黷	黼	黴	黶	黷	黼	黴	黶	黷	黼	黴	黶	黷	黼	黴	黶	黷
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

旧 JIS との違いについて

本機では、JISX0208-1990 に準拠した漢字コードを搭載しています。
JIS 漢字コードは、改訂によって字形を変更したり、字形を追加したり、または位置を変更したりしているため、使用するコンピュータやソフトウェアによっては画面に表示される字形と印刷される字形が異なる場合があります。ここでは、プリンタに搭載している JIS 漢字コード（新 JIS コード）と、旧 JIS コードの違いについて説明します。

JIS X0208-1990 で追加された字形

（JIS X0208-1983 に追加）

16 進	JIS X0208-1990
7425	凜
7426	熙

JIS X0208-1990 ／旧 JIS の字形変更

旧 JIS（JIS C6226-1978）から字形を変更し、旧 JIS の字形を新たに追加した漢字

変更された字形			追加された旧JISの字形	
16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990
3646	堯	堯	7421	堯
4B6A	槙	槇	7422	槇
4D5A	遥	遙	7423	遙
6076	瑶	瑤	7424	瑤

第１水準と第２水準の位置を変えた漢字

第１水準			第２水準		
16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990	旧JIS
3033	鰺	鰺	724D	鰺	鰺
3229	鴬	鴬	7274	鴬	鴬
3342	蛎	蠣	695A	蠣	蛎
3349	撹	攪	5978	攪	撹
3376	竈	竈	635E	竈	竈
3443	潅	灌	5E75	灌	潅
3452	諌	諫	6B5D	諫	諌
375B	頚	頸	7074	頸	頚
395C	砿	礦	6268	礦	砿
3C49	蕊	蘂	6922	蘂	蕊
3F59*	靭	靱	7057*	靱	靭
4128	賎	賤	6C4D	賤	賎
445B	壷	壺	5464	壺	壷
4557	砺	礪	626A	礪	砺
456E	梼	檮	5B6D	檮	梼
4573	涛	濤	5E39	濤	涛
4676*	迩	邇	6D6E*	邇	迩
4768	蝿	蠅	6A24	蠅	蝿
4930	桧	檜	5B58	檜	桧
4B79	侭	儘	5056	儘	侭
4C79	薮	藪	692E	藪	薮
4F36	篭	籠	6446	籠	篭

＊第１水準と第２水準の位置を変え、字形も変更した文字

JIS X0208-1990 で字形を変更した漢字

16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990	旧JIS
3022	唖	啞	3737	祁	祁	3E25	哨	哨
3029	逢	逢	3745	慧	慧	3E33	廠	廠
3032	芦	芦	374E	稽	稽	3E3F	梢	梢
303B	飴	飴	3752	繋	繋	3E55	蒋	蔣
306E	溢	溢	3755	荊	荆	3E5F	醤	醬
3073	鰯	鰯	3764	隙	隙	3E64	鞘	鞘
307C	淫	淫	3771	倦	倦	3F2A	蝕	蝕
312A	迂	迂	3779	嫌	嫌	3F60	逗	逗
3135	欝	鬱	377E	捲	捲	3F69	翠	翠
3139	厩	廐	3834	鹸	鹼	4022	摺	摺
313D	噂	噂	3841	諺	諺	4042	逝	逝
3142	餌	餌	392B	巷	巷	4066	蝉	蟬
316B	焔	焔	3937	昂	昂	4071	撰	撰
3228	襖	襖	3942	溝	溝	4072	栓	栓
322A	鴎	鷗	396D	麹	麴	4079	煎	煎
3260	迦	迦	3974	鵠	鵠	407A	煽	煽
327A	恢	恢	3979	甑	甑	4127	詮	詮
327D	拐	拐	3A53	采	采	4139	噌	噌
3322	晦	晦	3A63	冴	冴	414C	遡	遡
3335	概	概	3A67	榊	榊	414F	創	創
3365	喝	喝	3A74	柵	柵	415F	掻	掻
336B	葛	葛	3B27	薩	薩	4169	痩	痩
3373	鞄	鞄	3B2A	鯖	鯖	423D	遜	遜
337A	噛	噛	3B2B	捌	捌	424D	騨	驒
3442	潤	潤	3B2C	錆	錆	425C	腿	腿
344D	翰	翰	3B39	珊	珊	4263	黛	黛
3465	翫	翫	3C48	屡	屢	426F	啄	啄
352B	徽	徽	3C57	遮	遮	4275	濯	濯
3540	祇	祇	3C5D	杓	杓	4276	琢	琢
3622	侠	俠	3C5E	灼	灼	427D	蛸	蛸
362A	卿	卿	3D2B	繍	繍	4327	巽	巽
364F	僅	僅	3D36	酋	酋	4329	辿	辿
366D	躯	軀	3D6C	曙	曙	432A	棚	棚
3674	喰	喰	3D6D	渚	渚	432D	鱈	鱈
367B	椀	椀	3D72	著	著	432E	樽	樽
367D	屑	屑	3D73	藷	藷	433D	箪	箪

16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990	旧JIS
4370	註	註	4824	箸	箸	4E7B	煉	煉
4375	潴	潴	482E	溌	潑	4F21	蓮	蓮
437C	凋	凋	4830	醗	醱	4F31	榔	榔
443D	捗	捗	4854	挽	挽	4F39	蝋	蠟
4448	槌	槌	4862	扉	扉	5131D	兎	兎
444A	鎚	鎚	4875	樋	樋	5147	冉	冉
444D	塚	塚	4922	柊	柊	514B	冕	冕
444F	掴	摑	4923	稗	稗	514D	冤	冤
4454	辻	辻	492F	逼	逼	5330	吟	吟
4522	鄭	鄭	4932	媛	媛	533A	唄	唄
4527	擢	擢	4935	謬	謬	535E	嘲	嘲
452E	溺	溺	4940	廟	廟	536B	嗤	嗤
4536	填	填	494E	瀕	瀕	5444	堋	堋
453F	顛	顚	4951	頻	頻	553D	媾	媾
4548	堵	堵	4A43	蔽	蔽	5563	冤	冤
454B	屠	屠	4A4D	瞥	瞥	5622	屏	屛
4551	菟	菟	4A5A	娩	娩	5824	悗	悗
4552	賭	賭	4A79	庖	庖	5960	捩	捩
4564	塘	塘	4B22	泡	泡	596C	搆	搆
4578	祷	禱	4B29	蓬	蓬	5A39	攅	攅
463E	鴇	鴇	4B4B	頬	頬	5A4D	斃	斃
4642	涜	瀆	4B70	鱒	鱒	5B45	杼	杼
4654	瀞	瀞	4B78	迄	迄	5B4A	枌	枌
4655	噸	噸	4C4D	麺	麺	5B6B	梛	梛
465B	遁	遁	4C59	儲	儲	5B74	桧	桧
465C	頓	頓	4C5F	餅	餅	5E50	湮	湮
4661	那	那	4C62	籾	籾	6026	爨	爨
4666	謎	謎	4C7A	鑓	鑓	605F	珎	珎
4667	灘	灘	4C7C	愈	愈	6128	甄	甄
466A	楢	楢	4C7E	癒	癒	6130	薨	薨
4729	禰	禰	4D32	猷	猷	6131	甕	甕
4739	嚢	嚢	4D50	熔	熔	6228	皓	皓
4757	牌	牌	4D54	耀	耀	6266	硼	硼
4767	這	這	4D69	莱	萊	634A	稱	稱
4769	秤	秤	4E4B	遼	遼	6354	龝	龝
476D	剥	剝	4E7A	漣	漣	6439	艝	艝

16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990	旧JIS
6464	籾	籾	7075	頤	頤
646E	粮	粮	722D	鬮	鬮
6539	綛	綛	723C	鮗	鮗
653B	綮	綮	724E	鮹	鮹
6546	綟	綟	7351	麪	麪
6646	翔	翔	737D	龜	龜
6764	舮	舮			
6769	芍	芍			
6772	苒	苒			
6834	莫	莫			
683B	茖	茖			
6874	蔗	蔗			
6961	蛛	蛛			
6A27	蜷	蜷			
6A3D	蟒	蟒			
6A6F	褊	褊			
6B32	覿	覿			
6B66	諞	諞			
6B76	譁	譁			
6C69	跚	跚			
6C74	踉	踉			
6D4E	輓	輓			
6D6C	迪	迪			
6E29	遘	遘			
6E3D	扈	扈			
6E57	釁	釁			
7045	霤	霤			
7051	靠	靠			

ポイント

漢字コード表は JIS X0208-1990 に準拠しています。使用するコンピュータまたはソフトウェアによっては、画面上に現れる漢字と実際に印刷される漢字が異なることがあります。それは、コンピュータ側で旧 JIS を使用している場合があるからです。

PC-98 系コンピュータでお使いになる場合

エプソンPCシリーズおよびNEC PC-98シリーズのコンピュータと接続して使用する場合、次の点に注意してください。

ハードコピー

- BASICプログラム中での COPY命令は使用しないでください。
- ハードコピーはNEC PC-PR201Hに比べ、縦方向に約8/9倍になる場合があります。

リスト出力

「漢字が印刷されない」または「英数カナ文字と漢字の比が 1：2 にならない」ことがあります。

> ポイント
>
> MS-DOS のバージョンにより、漢字と英数カナ文字の比率を設定できるものがあります。設定はコンピュータのメモリスイッチで行います。しかし、DISK-BASIC では漢字と英数カナ文字の比を変更することはできません。

PC-PR201H との違い

PC-PR201H とは、最小分解能と漢字構成ドットが次のように違うため、印刷結果が多少異なる場合があります。

相違点	PC-PR201H
最小分解能（インチ）	1/160
漢字構成ドット（縦×横）	22 × 22

画面ハードコピー、縦罫線、グラフィックなどの縦方向の連続印刷は、PC-PR201H に比べて約 8/9 倍になることがあります。しかし、プリンタのページ長には影響はありません。

EPSON Remote! について

DOS 版または NetWare 版 EPSON Remote!

EPSON Remote! は、DOS 環境または NetWare 環境で利用できるユーティリティソフトウェアです。それぞれの環境でプリンタの各種設定をコンピュータから変更することができます。

● EPSON Remote! は、コンピュータを使用している環境に応じて、DOS 版、NetWare 版の中からどれかを選んで使用します。

DOS 版（98 用、DOS/V 用）	DOS アプリケーションを使って印刷する場合に使用します。印刷の基本的な設定はアプリケーションソフトで行います。しかし、ソフトによっては一部設定が変更できないことがあります。そのような場合に、EPSON Remote! をご利用ください。
NetWare 版	NetWare 環境下で印刷する場合に使用します。NetWare 版 EPSON Remote! には、EPSON PC シリーズ /NEC PC-9800 シリーズ用の MS-DOS 版と、DOS/V コンピュータ用の DOS/V 版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。

EPSON Remote! は、設定する内容や、目的に応じて次のユーティリティを選択することができます。

ユーティリティ名		98 用	DOS/V 用
DOS 版	スタートアップユーティリティ	PRNSET	PRNSETDV
	設定ユーティリティ	PANEL	PANELDV
	簡易設定ユーティリティ	PSET	PSETDV
NetWare 版	設定ユーティリティ	EPREMOTE 98	EPREMOTE DOSV
	簡易設定ユーティリティ	PNETSET	

スタートアップユーティリティ

プリンタの初期設定値（電源投入時の設定）を変更するユーティリティです。プリンタのパネル設定で行えるおもな項目の設定が変更できます。変更した内容はプリンタに記憶され、電源スイッチをオフにしても、設定は保持されます。

設定ユーティリティ

設定できる項目を使用頻度の高い項目に絞ったユーティリティです。設定を変更しても、リセット／電源オフ／プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。

簡易設定ユーティリティ

設定ユーティリティで設定した内容をファイルとして保存できます。印刷する前にファイルの実行コマンドを実行するだけで、プリンタの各種設定を一度に変更できます。設定を変更しても、リセット／電源オフ／プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。

DOS で EPSON Remote! を使う

システム条件

使用する場合のハードウェア条件は以下のとおりです。

使用できるコンピュータ：	エプソン PC シリーズ NEC PC-9801 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-H98 シリーズ （ディスプレイ解像度：ノーマル／ハイレゾモード） 各社 DOS/V 仕様コンピュータ
使用できる OS：	MS-DOS Ver3.1 以上 DOS/V Ver5.x 以上

ポイント

DOS/V 対応コンピュータで EPSON Remote! を使用する場合は、以下の点に注意してください。

- CONFIG.SYS ファイルに［DEVICE=PRNESCP.SYS］*がある場合は、これを削除してください。
  *お使いの DOS のバージョンにより異なる場合があります。
- CONFIG.SYS ファイルに［DEVICE=ANSI.SYS］がない場合は、これを追加してコンピュータを再起動してください。
- DOS/V の動作モードは、日本語モードにしておいてください。

インストール

1 DOS を起動します。

DOS が起動すると、画面にプロンプト（A:¥>など）が表示されます。

ポイント

EPSON Remote! は、Windows 上の「DOS プロンプト」画面からはインストールできません。必ず通常の DOS 画面上でインストールを行ってください。

2 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をセットします。

フロッピーディスクをお使いの場合は、「セットアップディスク 1」をセットします。

3 ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP）を半角で入力し、リターンキーを押します。

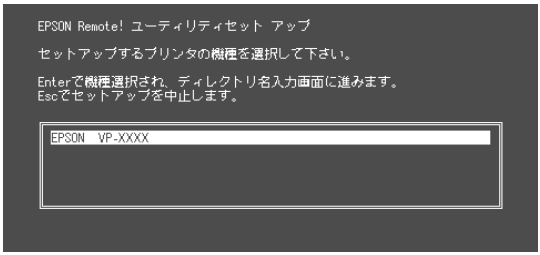
セットアップ画面が表示されます。

例：A:¥>B:¥SETUP

下線部のみ入力します。ディスクを B ドライブにセットした場合。

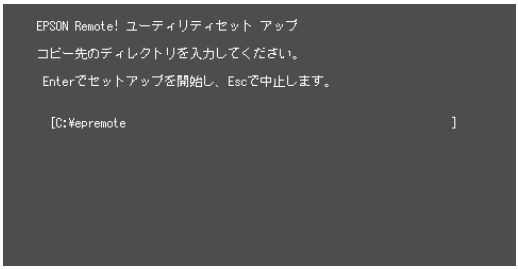
ドライバ名はコンピュータにより異なります。コンピュータの取扱説明書で使用するドライブ名を確認してください。

4 **お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**
インストール先ディレクトリの確認画面が表示されます。



お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

5 **インストール先ディレクトリを確認し、よければリターンキーを押してインストールを実行します。**



ここにインストール先ディレクトリ名が表示されます。変更する場合は、変更するディレクトリ名をここに入力してからリターンキーを押します。

6 **終了のメッセージが表示されたら、何かキーを押してください。**
DOS プロンプトに戻ります。

ポイント

- インストール先ディレクトリについて
  初期値では、ルートディレクトリに EPREMOTE ディレクトリを作成し、その中にユーティリティをインストールします。
- ユーティリティの起動用バッチファイルについて
  ユーティリティの起動用バッチファイルはルートディレクトリにインストールされます。起動用バッチファイルは以下のとおりです。
  スタートアップユーティリティ：PRNSET.BAT
  設定ユーティリティ：PANEL.BAT
- バッチファイルを実行しても EPSON Remote! が起動しない場合、バッチファイルのあるディレクトリ（初期値はルートディレクトリ）がパスに指定されていないことがあります。パスの指定を確認してください。

スタートアップ・設定ユーティリティの使いかた

ここでは、ページ長 FF（フロントプッシュトラクタ、連続紙）の変更のしかたを例に挙げて、スタートアップユーティリティと設定ユーティリティの具体的な使いかたを説明します。

> ポイント
> 設定ユーティリティは、スタートアップユーティリティの項目を少なくしたものですので、スタートアップユーティリティと設定ユーティリティの使いかたは基本的に同じです。どちらも以下の手順を参考にしてください。
> 用紙サイズ以外の項目の変更のしかたも、基本的に同じです。以下の手順を参考にして、設定を変更してください。

1 ユーティリティの起動用ファイルを実行します。

スタートアップユーティリティの場合：PRNSET（98 用）、PRNSETDV（DOS/V 用）
　例：A:¥>PRNSET（下線部のみ入力します）
設定ユーティリティの場合：PANEL（98 用）、PANELDV（DOS/V 用）
　例：A:¥>PANEL（下線部のみ入力します）

ユーティリティが起動し、プリンタ選択画面が表示されます。2 回目以降の起動時にはプリンタ選択画面は表示されず、最初から設定画面が表示されます。このときは 4 へ進んでください。

> ポイント
> DOS/V 対応コンピュータを使用していて、ユーティリティが起動しない場合は、以下のページを参照してください。
> ☞本書 271 ページ「DOS で EPSON Remote! を使う」

2 お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

プリンタモード設定画面が表示されます。

3 ESC/PS にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

設定画面が表示されます。

> ポイント
> プリンタモードは、基本的に ESC/PS を選択してください。ESC/PS を選択して設定変更しても意図した印刷結果が得られない場合は、次の表を参照してプリンタモードを変更してください。

4 **ユーティリティの設定を確認します。**

選択されているプリンタ・プリンタモード・出力ポート（画面右上に表示）が使用するプリンタの設定と異なる場合は、使用するプリンタの設定に変更します。

プリンタ・プリンタモード	f・10 キーを何回か押すことで、変更可能な画面に移ります。
出力ポート	f・4 キーを押すことで変更されます。

設定ユーティリティの場合、出力先をファイルにすると、これから変更する設定をファイルとして保存します。保存したファイルは、簡易設定ユーティリティで使用します。

5 **ページ長 FF にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

連続紙のページ長の設定が表示されます。

6 **実際にセットしてある連続紙のページ長にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

7 **設定実行キー（f・1）を押します。**

設定を実行するかどうか確認してきますので、実行するときは Y キー、しないときは N キーを押します。設定を実行すると、ユーティリティが終了し、DOS プロンプトに戻ります。

以上で設定変更は終了です。この後、アプリケーションソフトウェアから印刷を実行してください。

スタートアップユーティリティの場合、変更した内容はプリンタに記憶され、再度変更しない限り変わることはありません。他の人とプリンタを共有している場合は、設定を元に戻しておくことをお勧めします。

簡易設定ユーティリティの使いかた

EPSON Remote! には、設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行する簡易設定ユーティリティ機能があります。

実行ファイルの作成

1. **設定ユーティリティを起動し、設定を変更します。**

2. **出力先をファイルにします。**
   f・4 キーを押して、画面表示右上の「出力」をファイルにします。

3. **設定を実行します。**
   f・1 キーを押して設定を実行すると、画面下の説明欄に確認のメッセージが表示されます。

4. **メッセージに従って、「サブディレクトリ名」と「ファイル名」を入力します。**

ポイント

- ファイル名の拡張子は自動的に「_PR」になるので、入力は不要です。
- ファイル名は、「A4._PR」や「B5._PR」のように設定値がわかるような名称にしておくと便利です。
- 複数のプリンタを使用するときは、プリンタごとに専用のサブディレクトリを作成して、ファイルをまとめておくと間違えずに使えます。

簡易設定ユーティリティの実行

1 **DOS 画面にします。**

画面にプロンプト（A:¥> など）が表示された状態にします。

> ここでは、ドライブ A に EPSON Remote! がインストールされているとします。

2 **ユーティリティを実行します。**

次のように出力ファイルを指定して、ユーティリティを実行します。

98 系の場合　　A:¥>PSET □［ファイル名］□［オプション］（□はスペース）

DOS/V 系の場合　A:¥>PSETDV□［ファイル名］□［オプション］

［ファイル名］：　出力データファイルの名前。
サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定します。
拡張子が _PR の場合は、拡張子を省略できます。

［オプション］：　設定を実行するポートの指定。
ポート指定を省略すると 98 系の場合は /P、DOS/V 系の場合は /LPT1 に指定されます。

	オプション設定値	名称
98 系	/P	パラレルインターフェイス
	/S	シリアルインターフェイス*
DOS/V 系	/LPT1、/LPT2、/LTP3	パラレルインターフェイス
	/COM1、/COM2、/COM3、/COM4	シリアルインターフェイス*

*：オプションのシリアルインターフェイスカードをプリンタに装着し、シリアル接続している場合のみ

例）サブディレクトリ VP-5200 にファイル名 A4 で作成している場合

98 系　　A:¥>PSET □ VP-5200¥A4._PR □ /P

DOS/V 系　A:¥>PSETDV □ VP-5200¥A4._PR □ /LPTI

NetWare で EPSON Remote! を使う

NetWare 版 EPSON Remote! は、NetWare 環境下で印刷する場合にお使いください。

システム条件

> ポイント
> サーバ／クライアントコンピュータおよびドライバは、ノベル株式会社による認定品が必要です。

NetWare では、プリントサーバに接続されたプリンタを、複数のクライアントが共有できます。

サーバコンピュータ

- NEC PC-9800 シリーズ、PC-H98 シリーズ、SV-H98 シリーズ
- SONY QuaterL シリーズ
- 日本 IBM PS/55、PS/V シリーズ
- 日本 DEC DEC PC シリーズ
- 各社 DOS/V 対応パソコン

NOS

- NetWare3.1J、3.11J、3.12J または 4.XJ
- ESC/P プリンタドライバ

クライアントコンピュータ

NetWare（MS-DOS）版
- エプソン PC シリーズ
- NEC PC-9800 シリーズ（ディスプレイ解像度：ノーマル／ハイレゾモード）

NetWare（DOS/V）版
- 日本 IBM PS/55、PS/V シリーズ
- SONY QuaterL シリーズ
- 日本 DEC DEC PC シリーズ（ディスプレイ解像度：VGA モード）
- 各社 DOS/V 対応パソコン

クライアント OS

NetWare（MS-DOS）版
- MS-DOS3.1 以上

NetWare（DOS/V）版
- IBM DOS J5.02/V 以上
- MS-DOS 5.0/V 以上

クライアントドライバ

- IPX ドライバ
- ODI ドライバ

プリンタ接続状態

- リモート、ローカルの双方の形態に適用

NetWare 版 EPSON Remote! には、MS-DOS 版と DOS/V 版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。

ポイント

- NetWare 用 EPSON Remote! は、サーバへの設定とクライアントへの設定の双方が必要です。インストールする場合は必ずネットワーク管理者にご相談ください。
- NetWare 版 EPSON Remote! を使用する際は、以下の点に注意してください。
  ・プリンタモードは、必ず ESC/P スーパーをオフに設定してください。
  ・コード変換：非変換の環境で使用してください。
- CAPTURE コマンドで CONV オプション（コード変換：変換）を使用しないでください。もし、使用した場合は、必ず CONV オプションで再度 CAPTURE コマンドを実行してください。NetWare コマンドについては、NetWare に付属のプリントサーバマニュアルを参照してください。
- NetWare 版の EPSON Remote! は、クライアント側の操作で、プリンタの設定状態を変更するだけでなく CAPTURE 機能の実行／終了も指定できます。
- CAPTURE 機能の実行を利用することで、CAPTURE コマンドオプションのパラメータを詳しく知らなくても、EPSON Remote! と同じ操作でオプションが指定できるので便利です。
- NetWare 版の EPSON Remote! にはスタートアップユーティリティの機能はありません。プリンタの電源投入時の設定を変更したい場合は DOS 版を使用してください。

  DOS 版の場合

  ① DOS 版の EPSON Remote! をインストールします。

  ② EPSON Remote! のプログラムがあるディレクトリに変更します。

  例：A:¥>CD EPREMOTE（ディレクトリが EPREMOTE の場合）

  ③次の手順でスタートアップユーティリティを起動します。

  A:¥>CASTOFF ALL*

  A:¥>PRNSET

  *：CASTOFF ALL を実行した後は、サーバーおよび他のワークステーションからのメッセージはすべて無視されますのでご注意ください。

  ④プリンタの各機能を設定します。

  ⑤設定終了後に次のコマンドを入力します。

  A:¥>CASTON

サーバへのインストール

サーバでは、クライアントの使用に先立って、ネットワークドライブ（ボリューム：SYS）に対して、次のようにインストールしてください。

1. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2. **DOS プロンプト（A:¥> など）で、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP □ /SUPER）を半角で入力し、リターンキーを押します。**

   セットアップ画面が表示されます
   例：A:¥>B:¥SETUP □ /SUPER
   下線部のみ入力します。□はスペース。ディスクを B ドライブにセットした場合。
   ドライバ名はコンピュータにより異なります。コンピュータの取扱説明書で使用するドライブ名を確認してください。

この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

ポイント

NetWare 版 EPSON Remote! を使用する場合、Printer Reset Buffer と Printer Setup Buffer に十分なメモリを確保するため、NetWare のコンフィグレーションファイルSHELL.CFGまたはNET.CFGに次の2行を追加しておいてください。
PRINT HEADER=255
PRINT TAIL=26 以上*
*：EPSON Remote! を使用するには、26 の PRINT TAIL が必要になります。他のシステム条件も合わせて、この値を設定してください。

クライアントへのインストール

クライアントマシンでは、次のようにインストールしてください。

1 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2 **DOS プロンプト（A:¥> など）で、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP □ /NETWARE）を半角で入力し、リターンキーを押します。**

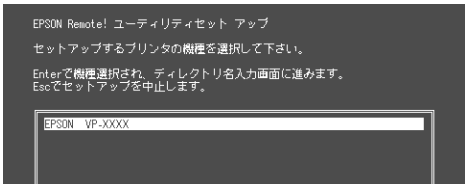
セットアップ画面が表示されます。

例：A:¥>B:¥SETUP □ /NETWARE

下線部のみ入力します。□はスペース。ディスクを B ドライブにセットした場合。ドライバ名はコンピュータにより異なります。コンピュータの取扱説明書で使用するドライブ名を確認してください。

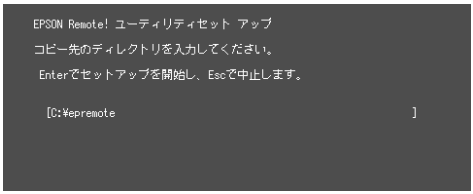
3 **お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

インストール先ディレクトリの確認画面が表示されます。



お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

4 **インストール先ディレクトリを確認し、よければリターンキーを押してインストールを実行します。**



ここにインストール先ディレクトリ名が表示されます。変更する場合は、変更するディレクトリ名をここに入力してからリターンキーを押します。

終了のメッセージが表示されたら何かキーを押してください。DOS プロンプトに戻ります。

> **ポイント**
>
> インストール先ディレクトリは、初期値では、ルートディレクトリに EPREMOTE ディレクトリを作成し、その中にユーティリティをインストールします。

設定ユーティリティの使い方

設定ユーティリティは、クライアントマシンからCAPTURE 機能を実行したり、プリンタの設定状態を変更できます。設定した内容は、[ENDCAP] または [LOGOUT] が実行されない限り有効です。

- 設定ユーティリティは、印刷の前に設定しておく必要があります。アプリケーションソフトウェアを起動する前に設定ユーティリティを実行し、各設定をしてください。
- NetWare版EPSON Remote!で設定すると、CAPTUREコマンドなどで設定されたプリントジョブ環境が上書きされるため、前の設定は無効になります。

設定ユーティリティの操作手順

1 **DOSの画面からNetWareにログインします。**

NetWare のファイルサーバにログインした後、画面にプロンプト（A:¥> など）が表示された状態にします。

2 **ユーティリティの起動用バッチファイルを実行します。**

98系の場合：EPREMOTE 98

例：A:¥>EPREMOTE □98 （下線部のみ入力します。□はスペース）

DOS/V の場合：EPREMOTE DOSV

例：A:¥>EPREMOTE □DOSV （下線部のみ入力します。□はスペース）

プリンタの選択画面が表示されます。中止する場合はESC キーを押してください。

3 **プリンタ名を選択します。**

矢印キーでカーソルをお使いの機種名に移動し、リターンキーを押して選択します。

4 **プリンタモードを選択します。**

矢印キーでカーソルを使用するプリンタモードに移動し、リターンキーを押して選択します。機能選択画面が表示されます。

5 **機能を選択します。**

矢印キーでカーソルを使用する機能に移動し、リターンキーを押すと、機能が実行されます。この画面から、前のプリンタ選択画面に戻るときは ESC キーを、設定を終了するときは f・2 キーを押します。

（表示画面の例）

各機能を実行します。

☞ 本書 283 ページ「CAPTURE 機能の実行」
☞ 本書 283 ページ「CAPTURE 機能の終了」
☞ 本書 284 ページ「プリント環境の設定」

6 **設定後、ユーティリティを終了します。**

各機能で設定を終了すると、5 の画面に戻ります。ここで、「終了」を選択するか f・2 キーを押すと設定が有効になり、設定ユーティリティを終了します。

CAPTURE 機能の実行

機能選択画面で「CAPTURE 機能の実行」を選択すると、CAPTURE コマンドで指定できる CAPTURE オプションが設定できる画面になります。ここでは、プリントバナーやタイムアウト、オートエンドキャップなどのオプションがまとめて設定できます。

1 ファイルサーバ名とプリントキュー名を指定します。

ファイルサーバー名とプリントキュー名をそれぞれ該当欄に入力します。

2 オプションを選択します。

矢印キーで変更するオプションにカーソルを移動してリターンキーを押すと、変更できる設定値の一覧が表示されます。画面下の説明欄には、現在指定しているオプションの説明が表示されます。

3 設定を変更します。

矢印キーで設定値を選択してリターンキーを押すと、設定が変更されます。
変更しないときは、ESC キーを押すと、設定値を変更せずに項目選択画面に戻ります。

4 実行項目を選択します。

f・1、f・3 のファンクションキーで実行項目を選択します。
ファンクションキーには、次のような機能があります。
f・1： 設定した内容を記憶し、CAPTURE 機能を実行します。
f・3： ユーティリティ上の設定を購入時の設定に戻します。

CAPTURE 機能の終了

機能選択画面で「CAPTURE 機能の終了」を選択すると、CAPTURE を終了するポートを選択する画面になります。
矢印キーでポートにカーソルを移動してリターンキーを押すと、CAPTURE 機能が終了します。

プリント環境の設定

機能選択画面で「プリント環境の設定」を選択すると、プリンタの設定状態が変更できる画面になります。
ここでは、給紙選択や縮小などの設定がまとめて設定できます。

1 項目を選択します。

矢印キーで変更する項目にカーソルを移動してリターンキーを押すと、変更できる設定値の一覧が表示されます。画面下の説明欄には、現在カーソルが指定している設定項目の説明が表示されます。(すべてが表示されないときは、画面左下に「UP：前ページ」、「DOWN：次のページ」などの指示がでますので［ROLL UP］／［PAGE UP］、［ROLL DOWN］／［PAGE DOWN］キーでページを切り替えてください。

2 設定を変更します。

矢印キーで設定値を選択してリターンキーを押すと、設定が変更されます。
変更しないときは、ESC キーを押すと、設定値を変更せずに項目選択画面に戻ります。

3 実行項目を選択します。

f・1～f・3のファンクションキーで実行項目を選択します。
ファンクションキーには、次のような機能があります。

f・1： 設定した内容を記憶し、プリンタの状態を変更します。

f・2： コンピュータ本体の出力ポートを切り替えます。押すたびに、画面右上の出力の欄が変更します。
出力ポートではファイルも選択できます。ファイルを選択すると、簡易設定ユーティリティで使用する出力ファイルを作成できます。
☞ 本書 275 ページ「簡易設定ユーティリティの使いかた」

f・3： ユーティリティ上の設定を購入時の設定に戻します。

簡易設定ユーティリティの使いかた

EPSON Remote! には、設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行する簡易設定ユーティリティ機能があります。

実行ファイルの作成

1. **設定ユーティリティを起動し、設定を変更します。**

2. **出力先をファイルにします。**
   f・4 キーを押して、画面表示右上の「出力」をファイルにします。

3. **設定を実行します。**
   f・1 キーを押して設定を実行すると、画面下の説明欄に確認のメッセージが表示されます。

4. **メッセージに従って、「サブディレクトリ名」と「ファイル名」を入力します。**

> ポイント
>
> ファイル名の拡張子は自動的に「_PR」になるので、入力は不要です。
> ファイル名は、「A4._PR」や「B5._PR」のように設定値がわかるような名称にしておくと便利です。
> 複数のプリンタを使用するときは、プリンタごとに専用のサブディレクトリを作成して、ファイルをまとめておくと間違えずに使えます。

簡易設定ユーティリティの実行

1 **DOS の画面にします。**

画面にプロンプト（A:¥> など）が表示された状態にします。
ここでは、ドライブ A に EPSON Remote! がインストールされているとします。

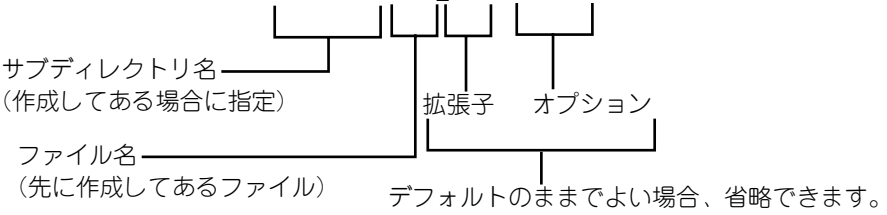
2 **ユーティリティを実行します。**

次のように出力ファイルを指定して、ユーティリティを実行します。

A:¥>PNETSET □［ファイル名］□［オプション］（□はスペース）

［ファイル名］：出力データファイルの名前。サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定してください。拡張子が _PR の場合は、拡張子を省略できます。
［オプション］：設定を実行するポートの指定。省略すると P になります。

例） A:¥>PNETSET □ VP-5200¥A4._PR □ /LPT1 （□はスペース）



サービス・サポートのご案内

● サービス・サポートのご案内 288
● 最新のプリンタドライバの入手方法 292

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSONの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設*1してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1：「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- 愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。*2

*2：インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

インターネット

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。また、プリンタドライバも提供されています。

アドレス	http://www.epson.jp

エプソンインフォメーションセンター

EPSONプリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間および電話番号につきましてはスタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。詳細はエプソンのホームページにてご確認ください。

アドレス	http://www.epson.jp

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）のPDFデータをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

アドレス	http://www.epson.jp

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

*：改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のどちらかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター

連絡先	スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付日時	午前 9:00 ～午後 5:30 月曜日～金曜日（土日・祝祭日および弊社指定の休日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、またはエプソンサービスコールセンターへお問い合わせください。エプソンサービスコールセンターの連絡先スタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代·部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 *：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。 • 修理のつど発生する修理代·部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。 • 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 *：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください
持込 / 送付修理		故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドアサービス		• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金 + 修理代）

最新のプリンタドライバの入手方法

最新のプリンタドライバは、インターネットを使用して、以下のホームページから入手できます。

アドレス	http://www.epson.jp
サービス名	ダウンロードサービス

ポイント

郵送にて CD-ROM をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。「エプソンディスクサービス」について詳しくは、スタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

また、ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍してからインストールしてください。

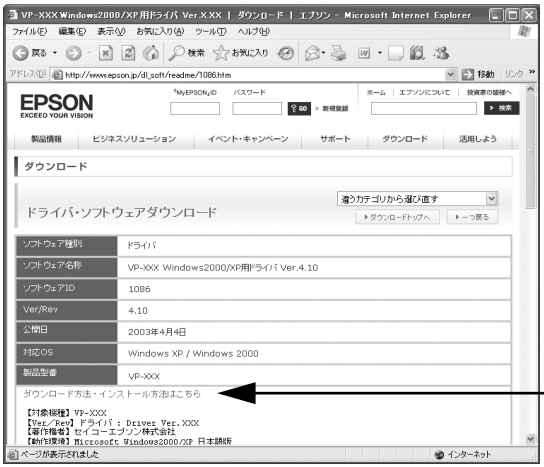
1 ホームページ上のダウンロードサービスから対象機種を選択します。

ポイント

ドライバの最新情報については、[Windows 対応情報] を参照してください。

2 プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行してください。

手順については、ホームページ上の〔ダウンロード方法・インストール方法はこちら〕をクリックしてください。



画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

索引

数字

10Base-T、100Base-TX 対応
マルチプロトコル
Ethernet I/F カード 183
16 進ダンプ 181

A

AC インレット 22
AT-24ESC/P 44

C

CAPTURE 機能の実行 283
CPI 240
CPL 240
CPS 240

D

DOS 環境 45
DOS で EPSON Remote! を使う 271

E

EPSON Remote! 270
EPSON プリンタウィンドウ !2 .....48, 20
EPSON プリンタウィンドウ !3 20
EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの
削除 129
EPSON プリンタソフトウェア
CD-ROM 47, 236
ESC/P スーパー機能 19
Ethernet I/F カード 183

F

FG 線 43

I

IBM5577 プリンタ
エミュレーションカード 183

J

JISX0208-1990 264

M

Macintosh 44
Macintosh 接続用オプション 184

N

NetWare で EPSON Remote! を使う ..277
NOS 277

P

PC-98 系コンピュータ 269
PRCB4N 42, 183
PRIF13 183
PRIFNW7 .....44, 183, 184

V

VPIF3 183
VPIF3 シリアルインターフェイス
カード 188

W

Windows 44

あ

アイコン設定 86
アジャストレバーの設定 149
アンインストール 124

い

一般室温環境 245
イニシャライズ 250
印刷位置のオフセット
（プリンタドライバ）.....63
印刷が薄い 223
印刷可スイッチ 27
印刷可ランプ 27
印刷結果が画面表示と異なる 218
印刷先のポート 122
印刷手順 54, 74
印刷の中止方法 70
印刷の向き 62
印刷品質 64, 65
印刷ムラ 222
印刷領域（封筒）.....147
印字桁数 240

印字速度 240
印字ピッチ 240
印字方式 240
印字領域（単票紙）.....143, 146
印字領域（ハガキ）.....146
印字領域（ラベル紙）.....140
印字領域（連続紙）.....135
インストール 44, 49, 210, 271
インターネット 288
インターネットサービス 289
インターフェイスカード 183, 186
インターフェイスコネクタ 22
インターフェイス自動選択機能 19
インターフェイス仕様 246
インターフェイススロット 22
インパクトドットマトリクス 240
インフォメーションセンター 289

う

後ろからの給紙 154
運搬 237

え

英数カナ文字コード 256
英数カナ文字モード 40
エッジガイド 23
エプソンサンセリフ 26
エプソンローマン 26
エラー表示の選択 86

お

お手入れ 236
オプション 183
音声通知 86

か

改行 / 改ページスイッチ 27
改行間隔 240
改行速度 240
解決しないとき 233
解像度 65
拡張グラフィックスコード 256
カストリ 139
カタカナコード 256
片側点のり綴じ（千鳥）＋
片側紙ホチキス綴じ
（ダブルギャザー）.....135
カットシートフィーダ 184, 189
カットシートフィーダコネクタ 22
カットシートフィーダの取り付け 190
紙厚調整 240
紙送りがうまくいかない 215
紙送りノブ 21
紙送りノブの取りつけ 36
紙送り方式 240
紙詰まり 204
紙幅可変プッシュトラクタフィード ...240
紙ホチキス紙のセット 170
紙ホチキス紙モード 178
簡易設定ユーティリティ 270
簡易表示 82
監視アイコン 82
監視アイコン設定 81
漢字コード 258
用紙登録ユーティリティ 90
漢字モード 40

き

旧 JIS 264
給紙位置 150
給紙経路 153
給紙 / 排紙スイッチ 27
給紙方向（単票複写紙）.....143
給紙方法（プリンタドライバ）.....62
共有 98
共有プリンタのエラー通知を受信する ..86
共有プリンタを監視できない場合 89
共有プリンタをモニタさせる 87

く

クライアント 280
クライアント OS 277
クライアントコンピュータ 277
クライアントドライバ 278
クライアントの設定 105
グラフィックス 64
グラフィックスダイアログ 64

け
結露 232

こ
高速印字スイッチ 27
高速印字ランプ（緑）....27
高品位 240
コーナーカバー 22
国際文字 257
ゴシック 26
コピー枚数（連続紙）....132
困ったときは 203
コントロールコード 251
コンピュータとの接続 42
梱包 239

さ
サーバ 279
サーバコンピュータ 277
サービス・サポートのご案内 288
サービス・サポート 288
削除 124

し
シートごとのページ 62
システム条件の確認 47
自動紙厚調整機能 19
自動ティアオフ 164
手動ティアオフ 163
使用可能な用紙 132
詳細オプションダイアログ 64
詳細ダイアログ 64
使用できる定形用紙 142
使用できる用紙の種類 189
消耗品 183
消耗品情報シート 79
ショールーム 289
初期化 250
初期設定値 176
書体 241
書体スイッチ 26
書体ランプ 26
シリアル I/F カード 183

す
スタートアップユーティリティ ...180, 270
スタッカ 191
ステータス確認の間隔 81
スプロケット穴の形状 138

せ
設置スペース 30
設定項目（プリンタドライバ）....59
設定値を変更 178
設定方法（プリンタドライバ）....57
設定ユーティリティ 180, 270
セットアップ 44, 47

そ
総合仕様 245
操作パネル 25, 176
双方向最短距離印字 240

た
台紙折り畳み長 139
タスクバー 83
単票紙 /CSF ランプ 26
単票紙から連続紙への切り替え ...172, 195
単票紙のセット 165
単票紙（単票複写紙）....141
単票テーブル 23
単票複写紙の綴じ方 143

つ
通信販売 202
ツールバー 77

て
ティアオフ機能 162
ディザリング 65
デバイスオプションダイアログ 64
デバイスの設定ダイアログ 66
電気関係仕様 245
電源スイッチ 21
電源との接続 37
電源ランプ 25

と

動作の確認 38
綴じ方（連続紙）.....135
閉じる 89
ドラフト 240

に

入力データバッファ 240

の

濃度 65

は

バーコード書体 241
ハードコピー 269
排紙が正常にできない 217
ハガキ 146
パソコンスクール 289
パラレルインターフェイス
ケーブル 42, 183
パラレルインターフェイス
タイミングチャート 248
パラレルインターフェイス
（フォワードチャネル）.....246
パラレルインターフェイス
（リバースチャネル）.....249

ひ

微小送り 150
微小送りモードスイッチ 27
標準に戻す
（EPSON プリンタウィンドウ !3）.....86
品質（単票紙）.....141
品質（ハガキ）.....146
品質（封筒）.....147
品質（連続紙）.....132
品質（連続ラベル紙）.....139

ふ

封筒 147
封筒のセット 171
ブザー鳴動 178
部数 62
付属品 32
復帰レバー 24
プラテン 23, 229
フリクションフィード 240
プリンタ 89
プリンター覧ウィンドウ 76
プリンタカバー 21
プリンタ詳細ウィンドウ 83, 89
プリンタ情報 78
プリンタ情報シート 80
プリンタ接続先の設定
（プリンタドライバ）.....121
プリンタ設定値 174
プリンタ設定値の変更 176
プリンタソフトウェア 49
プリンタソフトウェアのインストール ..49
プリンタソフトウェアの削除 124
プリンタドライバ 47, 57, 224
プリンタドライバのインストール 47
プリンタドライバの設定 57
プリンタドライバの動作条件 47
プリンタの準備 28
プリンタの仕様 240
プリンタの状態を確認するには 88
プリンタの設置 29
プリンタポート 71, 84
プリントサーバの設定 99, 102
プリントヘッド 23
プリントヘッド寿命 245
プレ印刷用紙（連続紙）.....139
プレプリント紙 144
フロントカバー 21
フロントトラクタのページ長
（連続紙）.....176
フロントプッシュトラクタ 24

へ

ページ設定ダイアログ 59, 64
ページの順序 62
ペーパーカッター 22

ほ

ポートの削除 123
ポートの追加 123

保守サービス 289
保証書 289
本体外形寸法 245
本体重量 245

ま

前からの給紙 158
マルチウェイローディング機構 19, 153

み

ミシン目（連続紙）.....137
明朝体 26

め

メッセージ 89
メニューバー 76

も

文字種 241
文字仕様 241
モニタの設定 84
モニタの設定ダイアログ 83, 86

ゆ

ユーザー定義サイズ 67
ユーティリティダイアログ 83
郵便ハガキのセット 170

よ

用紙 / 品質ダイアログ 64
用紙厚 189
用紙厚（単票紙）.....141
用紙厚（ハガキ）.....146
用紙厚（封筒）.....147
用紙厚（連続紙）.....132
用紙厚（連続ラベル紙）.....139
用紙押さえレバー（緑色）.....24
用紙折り畳み長（連続紙）.....132
用紙ガイド 35
用紙ガイドカバー 21
用紙ガイド（上）.....21
用紙ガイド（上）からの給紙 168
用紙ガイド（前）からの給紙 165
用紙ガイド（上）の取り付け 35
用紙ガイド（前）.....23
用紙ガイド（前）からの給紙 165
用紙カット位置 / 封筒スイッチ 26
用紙カット位置 / 封筒ランプ 26
用紙が詰まったとき 204
用紙サイズ 61, 67
用紙サポート 22
用紙重量 189
用紙重量（単票紙）.....141
用紙重量（ハガキ）.....146
用紙重量（連続紙）.....132
用紙仕様 242
用紙詳細（単票紙）.....142
用紙詳細（連続紙）.....134
用紙仕様（単票紙・単票複写紙）.....243
用紙仕様（ハガキ）.....244
用紙仕様（封筒）.....245
用紙仕様（ラベル紙）.....243
用紙仕様（連続紙・連続複写紙）.....242
用紙選択（左）スイッチ 25
用紙選択（右）スイッチ 26
用紙ダイアログ 59
用紙チェックランプ（赤）.....25
用紙長 189
用紙長（単票紙）.....141
用紙長（ハガキ）.....146
用紙長（封筒）.....147
用紙詰まりの予防 207
用紙登録ユーティリティ 48, 83
用紙幅 189
用紙幅切替 240
用紙幅（単票紙）.....141
用紙幅（ハガキ）.....146
用紙幅（封筒）.....147
用紙幅（連続紙）.....132
用紙番号ディスプレイ 25
用紙連量（封筒）.....147
容量（使用できる用紙の種類）.....189
余白の編集 62

ら

ラベルサイズ 140
ラベル紙のセット 171

ラベル重量 139
ランプが点灯していても
印刷できない 209
ランプが点灯しない 208

り

リアカバー 22
リアトラクタのページ長
（連続紙）.....176
リアプッシュトラクタ 22
リスト出力 269
リセットスイッチ 27
リボンカートリッジ 36, 37, 184
リボンカートリッジの交換 196
リボンカートリッジの取り付け 32
リボン寿命 245
リボンパックの交換 198
リモート設定機能 179
両側紙ホチキス綴じ
（ダブルギャザー）.....135
両側点のり綴じ （千鳥綴じ）.....135

れ

レイアウトダイアログ 60
連続紙から単票紙への切り替え 172
連続紙のセット 154
連続紙（後）ランプ 26
連続紙（前）ランプ 26
連続紙（連続複写紙）.....132
連続ラベル紙 139

ろ

ロジカルシーキング 240